

第2期子どもをみんなで育む計画 個別事業一覧

基本目標	事業番号	事業名	部	課
1 子育てを支援する地域づくり	★1	子育て及び家庭教育情報の提供	子ども家庭部	子ども家庭課
	★1	子育て及び家庭教育情報の提供	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課
	★1	子育て及び家庭教育情報の提供	生涯学習部	公民館
	★2	子育て支援総合窓口事業	子ども家庭部	子ども家庭課
	3	子育てガイドブックの発行	子ども家庭部	子ども家庭課
	4	各種相談	子ども家庭部	子ども家庭課
	4	各種相談	生涯学習部	公民館
	4	各種相談	学校教育部	指導課
	4	各種相談	健康福祉部	児童発達支援センター
	5	地域子育て相談	子ども家庭部	子ども家庭課
	5	地域子育て相談	子ども家庭部	保育課
	6	各種相談の連携	子ども家庭部	子ども家庭課
	6	各種相談の連携	健康福祉部	児童発達支援センター
	6	各種相談の連携	健康福祉部	健康増進課
	6	各種相談の連携	子ども家庭部	保育課
	6	各種相談の連携	教育総務部	教育総務課
	7	相談担当職員の充実及び適正配置	子ども家庭部	子ども家庭課
	7	相談担当職員の充実及び適正配置	健康福祉部	児童発達支援センター
	7	相談担当職員の充実及び適正配置	健康福祉部	健康増進課
	★8	保育所	子ども家庭部	子ども家庭課
	★8	保育所	子ども家庭部	保育課
	★9	送迎保育ステーション	子ども家庭部	保育課
	★10	地域子育て支援センター	子ども家庭部	子ども家庭課
	11	保育所の多機能化	子ども家庭部	保育課
	★12	幼保一元化	子ども家庭部	子ども家庭課
	★12	幼保一元化	学校教育部	指導課
	13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	子ども家庭部	子ども家庭課
	★14	児童館・児童センター	子ども家庭部	子ども家庭課
	★15	学童クラブ施設	教育総務部	教育総務課
	★16	療育施設	健康福祉部	児童発達支援センター
	17	市主催事業における託児サービス	子ども家庭部	子ども家庭課
	17	市主催事業における託児サービス	生涯学習部	公民館
	18	赤ちゃんほっとスペース	子ども家庭部	子ども家庭課
19	一時保育	子ども家庭部	保育課	
★20	ファミリー・サポート・センター	子ども家庭部	子ども家庭課	
21	子育てグループの支援	子ども家庭部	子ども家庭課	
22	児童扶養手当	子ども家庭部	子ども家庭課	
23	児童手当	子ども家庭部	子ども家庭課	
24	特別児童扶養手当	健康福祉部	障害者支援課	
25	障害児福祉手当	健康福祉部	障害者支援課	
26	子ども医療費の助成	子ども家庭部	子ども家庭課	
27	未熟児養育医療の給付	子ども家庭部	子ども家庭課	
27	未熟児養育医療の給付	健康福祉部	健康増進課	
28	ひとり親家庭等の医療費の助成	子ども家庭部	子ども家庭課	
29	保育所保育料負担の適正化	子ども家庭部	保育課	
30	実費徴収に係る補足給付を行う事業	子ども家庭部	保育課	
31	特別支援教育就学奨励費補助	学校教育部	学校教育課	
32	就学援助・奨学金	学校教育部	学校教育課	
33	入学準備金の貸付	教育総務部	教育総務課	

基本目標	事業番号	事業名	部	課	
2	子どもと母親（保護者）の健康づくり	★34	妊娠・出産・子育てサポート事業	健康福祉部	健康増進課
		35	母子健康教育	健康福祉部	健康増進課
		★36	乳幼児健康診査	健康福祉部	健康増進課
		37	母子健康相談	健康福祉部	健康増進課
		38	母子訪問指導	健康福祉部	健康増進課
		39	健診後のフォロー体制づくり	健康福祉部	健康増進課
		40	予防接種	健康福祉部	健康増進課
		★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供	子ども家庭部	子ども家庭課
		★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供	健康福祉部	健康増進課
		42	食に関する講座・体験学習	生涯学習部	公民館
		42	食に関する講座・体験学習	健康福祉部	健康増進課
		42	食に関する講座・体験学習	子ども家庭部	保育課
		43	食育指導・情報提供	健康福祉部	健康増進課
		43	食育指導・情報提供	学校教育部	学校教育課
		43	食育指導・情報提供	子ども家庭部	保育課
		44	乳幼児の食生活指導	健康福祉部	健康増進課
		45	栄養相談・栄養指導	健康福祉部	健康増進課
		45	栄養相談・栄養指導	子ども家庭部	保育課
		46	思春期相談体制の充実	子ども家庭部	子ども家庭課
		46	思春期相談体制の充実	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課
		46	思春期相談体制の充実	学校教育部	指導課
		46	思春期相談体制の充実	学校教育部	学校教育課
		46	思春期相談体制の充実	健康福祉部	健康増進課
		47	学校保健と地域保健の連携強化	学校教育部	学校教育課
		47	学校保健と地域保健の連携強化	健康福祉部	健康増進課
		48	救急医療体制の充実	健康福祉部	健康増進課

基本目標	事業番号	事業名	部	課	
3	子どもが健やかに成長できる教育環境づくり	49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	学校教育部	指導課
		49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	子ども家庭部	子ども家庭課
		49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	健康福祉部	障害者支援課
		49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	健康福祉部	健康増進課
		50	指導者の育成	学校教育部	指導課
		★51	相談・カウンセリング	子ども家庭部	子ども家庭課
		★51	相談・カウンセリング	学校教育部	指導課
		★51	相談・カウンセリング	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課
		52	小・中学生職場体験学習	学校教育部	指導課
		53	保育士研修	子ども家庭部	保育課
		54	子育て支援員研修	子ども家庭部	子ども家庭課
		★55	幼児教育に関する研究・研修	学校教育部	指導課
		56	心の教育	学校教育部	指導課
		57	環境教育	学校教育部	指導課
		58	国際社会への対応	学校教育部	指導課
		59	情報化社会への対応	学校教育部	指導課
		★60	特別支援教育	学校教育部	指導課
		61	世代間交流	健康福祉部	高齢者支援課
		61	世代間交流	子ども家庭部	保育課
		62	体験学習の推進	学校教育部	指導課
		62	体験学習の推進	生涯学習部	公民館
		62	体験学習の推進	生涯学習部	博物館
		★63	絵本のふれあい体験の支援	生涯学習部	図書館
		64	文化・芸術活動の支援	生涯学習部	公民館
		64	文化・芸術活動の支援	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課
		64	文化・芸術活動の支援	生涯学習部	図書館
		65	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室	生涯学習部	スポーツ振興課
		66	学童クラブと保育所の交流	子ども家庭部	保育課
		66	学童クラブと保育所の交流	教育総務部	教育総務課
		67	私立幼稚園への支援	子ども家庭部	保育課
		★68	家庭教育講座	生涯学習部	公民館
		69	子育てサロン	生涯学習部	公民館
		70	地域子ども活動の支援	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課
		71	ボランティアの育成・推進	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課
		71	ボランティアの育成・推進	市民生活部	コミュニティ課
		72	少年スポーツ団体の育成	生涯学習部	スポーツ振興課
		73	児童館・児童センターの活用	子ども家庭部	子ども家庭課
		74	学校体育施設の利用	生涯学習部	スポーツ振興課
75	青少年相談	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課		
76	街頭補導活動	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課		
77	青少年ふれあい運動	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課		
78	青少年主張大会	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課		
79	非行防止活動等ネットワークづくり	生涯学習部	文化芸術・生涯学習課		

基本目標	事業番号	事業名	部	課	
4	子どもの安全を守る生活環境・体制づくり	80	歩道の整備	土木部	道路建設課
		81	公共施設の整備	関係各課	関係各課
		★82	公園の整備・充実	まちづくり推進部	みどりの課
		83	駅施設の整備	まちづくり推進部	まちづくり推進課
		84	住環境の整備	まちづくり推進部	都市計画課
		84	住環境の整備	まちづくり推進部	建築住宅課
		★85	防犯対策の充実	市民生活部	コミュニティ課
		86	防犯灯の整備	市民生活部	コミュニティ課
		87	通学区域内の交通安全施設整備	土木部	道路管理課
		87	通学区域内の交通安全施設整備	学校教育部	学校教育課
		88	交通安全教室の充実	土木部	道路管理課
		89	チャイルドシートの貸出	土木部	道路管理課
		90	交通安全教室の普及・啓発	土木部	道路管理課
		★91	関係機関、団体との情報交換	市民生活部	コミュニティ課
		★91	関係機関、団体との情報交換	子ども家庭部	保育課
		92	安全マップ等の作成	学校教育部	指導課
		93	自主防犯活動の支援	市民生活部	コミュニティ課
		★94	安全管理の促進	市民生活部	コミュニティ課
		★94	安全管理の促進	子ども家庭部	保育課
		★94	安全管理の促進	学校教育部	指導課
95	防犯体制の充実	市民生活部	コミュニティ課		
96	防犯に関する普及啓発活動	市民生活部	コミュニティ課		
97	保護者・地域との連携による防犯活動	学校教育部	指導課		

基本目標	事業番号	事業名	部	課	
5	男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり	98	就労環境改善への支援	経済振興部	商工振興課
		99	就職情報の提供	経済振興部	商工振興課
		100	就職・再就職のための職業研修	経済振興部	商工振興課
		100	就職・再就職のための職業研修	総合政策部	企画政策課
		101	男女共同参画社会づくり	総合政策部	企画政策課
		102	育児への父親の参加	子ども家庭部	子ども家庭課
		102	育児への父親の参加	総合政策部	企画政策課
		102	育児への父親の参加	生涯学習部	公民館
		★103	延長保育	子ども家庭部	保育課
		104	小規模保育	子ども家庭部	子ども家庭課
		105	産休明け保育	子ども家庭部	保育課
		★106	病児・病後児保育	子ども家庭部	保育課
		107	休日保育	子ども家庭部	保育課
		★108	障害児保育	健康福祉部	児童発達支援センター
		★108	障害児保育	子ども家庭部	保育課
		★109	学童クラブの活用	教育総務部	教育総務課
		110	子育て短期支援（ショートステイ・トワイライトステイ）	子ども家庭部	子ども家庭課
		6	保護が必要な子どもへの支援体制づくり	★111	子ども家庭支援拠点（支援拠点事業）
112	児童虐待防止の啓発			子ども家庭部	子ども家庭課
112	児童虐待防止の啓発			学校教育部	指導課
★113	虐待予防と早期発見			健康福祉部	健康増進課
★113	虐待予防と早期発見			子ども家庭部	子ども家庭課
★113	虐待予防と早期発見			子ども家庭部	保育課
★114	虐待に関する相談の充実			子ども家庭部	子ども家庭課
★114	虐待に関する相談の充実			生涯学習部	文化芸術・生涯学習課
★114	虐待に関する相談の充実			学校教育部	指導課
★115	児童虐待防止のための連携強化			健康福祉部	障害者支援課
★115	児童虐待防止のための連携強化			健康福祉部	健康増進課
★115	児童虐待防止のための連携強化			健康福祉部	児童発達支援センター
★115	児童虐待防止のための連携強化			子ども家庭部	子ども家庭課
★115	児童虐待防止のための連携強化			子ども家庭部	保育課
★115	児童虐待防止のための連携強化			学校教育部	指導課
★116	社会的養育の推進			子ども家庭部	子ども家庭課
117	ひとり親家庭相談			子ども家庭部	子ども家庭課
118	母子家庭等就労促進費用の助成			子ども家庭部	子ども家庭課
119	ひとり親家庭等生活向上事業			子ども家庭部	子ども家庭課
120	相談体制の充実			健康福祉部	障害者支援課
120	相談体制の充実			健康福祉部	児童発達支援センター
121	就学相談・指導			学校教育部	指導課
★122	療育指導・機能訓練			健康福祉部	障害者支援課
★122	療育指導・機能訓練			健康福祉部	児童発達支援センター
123	在宅介護サービス			健康福祉部	障害者支援課
124	特別支援教育の推進			学校教育部	指導課
★125	居住訪問型児童発達支援	健康福祉部	児童発達支援センター		
126	子どもの貧困対策	子ども家庭部	子ども家庭課		

■事業評価シートの見方

【記載例】 ・黄色セル内の事項を入力してください。		※上記表中の記載及び数値については、 サンプルであり実評価のものではありません。											
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
21	子育てグループの支援(子ども家庭課)	地域子育て支援センターや児童館、児童センターなどを活用し、乳幼児グループの活動を支援し、親同士の交流を促進します。また、子育て支援に関心のある方々のネットワークづくりを支援します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
幼児グループの参加人数		4,515	4,658	4,700	↑	↑							
① 課題解決に向けた改善策 (R4年度実績)	・地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっていきます。					② R5年度の実績	SNSやホームページによる周知の実施により、前年比+42人の参加となりました。						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B	・SNS等の活用による周知徹底の実施によって前年比プラスの目標達成に至ったもの。				④ 今後の課題	・LINE、ホームページのように能動的に登録や閲覧をされる市民からの参加者数は増加しているものの、参加者数が伸び悩んでいます。						
⑤ 課題解決のための改善策	・現在の周知方法は、公式LINEやホームページ等能動的に登録をしている市民への通知が主であることから、Instagramの広告など、特定エリアに配信するSNS等の活用について検討します。												

評価区分

A：達成出来た

B：一部達成出来た

C：達成出来なかった（未実施や事業統合を含む）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を変更して実施した場合は、A評価に該当します。

【例】対面でのイベント実施を取り止め、オンラインを活用し実施した。

第2期子どもをみんなで育む計画 令和5年度事業評価集計(対象事業：全事業)

基本目標	事業番号	事業名	令和5年度
1	子育てを支援する地域づくり	★1 子育て及び家庭教育情報の提供(子ども家庭課)	B
		★1 子育て及び家庭教育情報の提供(文化芸術・生涯学習課)	A
		★1 子育て及び家庭教育情報の提供(公民館)	B
		★2 子育て支援総合窓口事業	B
		3 子育てガイドブックの発行	B
		4 各種相談(子ども家庭課)	A
		4 各種相談(公民館)	B
		4 各種相談(指導課)	A
		4 各種相談(児童発達支援センター)	A
		5 地域子育て相談(子ども家庭課)	B
		5 地域子育て相談(保育課)	B
		6 各種相談の連携(子ども家庭課)	A
		6 各種相談の連携(児童発達支援センター)	A
		6 各種相談の連携(健康増進課)	B
		6 各種相談の連携(保育課)	B
		6 各種相談の連携(教育総務課)	A
		7 相談担当職員の充実及び適正配置(子ども家庭課)	A
		7 相談担当職員の充実及び適正配置(児童発達支援センター)	A
		7 相談担当職員の充実及び適正配置(健康増進課)	B
		★8 保育所(子ども家庭課)	A
		★8 保育所(保育課)	A
		★9 送迎保育ステーション	A
		★10 地域子育て支援センター	B
		11 保育所の多機能化	B
		★12 幼保一元化(子ども家庭課)	B
		★12 幼保一元化(指導課)	B
		13 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	B
		★14 児童館・児童センター	B
		★15 学童クラブ施設	A
		★16 療育施設	A
		17 市主催事業における託児サービス(公民館)	C
		17 市主催事業における託児サービス(子ども家庭課)	B
		18 赤ちゃんほっとスペース	B
19 一時保育	B		
★20 ファミリー・サポート・センター	B		
21 子育てグループの支援	B		
22 児童扶養手当	B		
23 児童手当	B		
24 特別児童扶養手当	B		
25 障害児福祉手当	B		
26 子ども医療費の助成	B		
27 未熟児養育医療の給付(子ども家庭課)	B		
27 未熟児養育医療の給付(健康増進課)	B		
28 ひとり親家庭等の医療費の助成	B		
29 保育所保育料負担の適正化	B		
30 実費徴収に係る補足給付を行う事業	A		
31 特別支援教育就学奨励費補助	A		
32 就学援助・奨学金	A		
33 入学準備金の貸付	B		

基本目標		事業番号	事業名	令和5年度		
2	子どもと保護者の健康づくり	★34	妊娠・出産・子育てサポート事業	B		
		35	母子健康教育	B		
		★36	乳幼児健康診査	B		
		37	母子健康相談	B		
		38	母子訪問指導	A		
		39	健診後のフォロー体制づくり	B		
		40	予防接種	B		
		★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供（子ども家庭課）	B		
		★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供（健康増進課）	B		
		42	食に関する講座・体験学習（公民館）	B		
		42	食に関する講座・体験学習（健康増進課）	A		
		42	食に関する講座・体験学習（保育課）	B		
		43	食育指導・情報提供（健康増進課）	B		
		43	食育指導・情報提供（学校教育課）	B		
		43	食育指導・情報提供（保育課）	B		
		44	乳幼児の食生活指導	A		
		45	栄養相談・栄養指導（健康増進課）	B		
		45	栄養相談・栄養指導（保育課）	B		
		46	思春期相談体制の充実（子ども家庭課）	A		
		46	思春期相談体制の充実（公民館）	B		
		46	思春期相談体制の充実（文化芸術・生涯学習課）	A		
		46	思春期相談体制の充実（学校教育課）	B		
		46	思春期相談体制の充実（健康増進課）	B		
		47	学校保健と地域保健の連携強化（学校教育課）	B		
		47	学校保健と地域保健の連携強化（健康増進課）	B		
		48	救急医療体制の充実	A		
		3	子どもが健やかに成長できる環境づくり	49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発（子ども家庭課）	B
				49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発（指導課）	A
49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発（障害者支援課）			B		
49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発（健康増進課）			B		
50	指導者の育成			A		
★51	相談・カウンセリング（子ども家庭課）			A		
★51	相談・カウンセリング（文化芸術・生涯学習課）			B		
★51	相談・カウンセリング（指導課）			A		
52	小・中学生職場体験学習			A		
53	保育士研修			A		
54	子育て支援員研修			B		
★55	幼児教育に関する研究・研修			B		
56	心の教育			A		
57	環境教育			A		
58	国際社会への対応			A		
59	情報化社会への対応			B		
★60	特別支援教育			A		
61	世代間交流（高齢者支援課）			A		
61	世代間交流（保育課）			A		
62	体験学習の推進（指導課）			A		
62	体験学習の推進（公民館）			B		
62	体験学習の推進（博物館）			B		
★63	絵本のふれあい体験の支援			A		
64	文化・芸術活動の支援			B		
65	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室			A		
66	学童クラブと保育所の交流（保育課）			C		
66	学童クラブと保育所の交流（教育総務課）			C		
67	私立幼稚園への支援			A		
★68	家庭教育講座			B		
69	子育てサロン			B		
70	地域子ども活動の支援			A		
71	ボランティアの育成・推進（文化芸術・生涯学習課）			A		
71	ボランティアの育成・推進（コミュニティ課）			A		
72	少年スポーツ団体の育成			B		
73	児童館・児童センターの活用			B		
74	学校体育施設の利用			A		
75	青少年相談			B		

基本目標	事業番号	事業名	令和5年度	
	76	街頭補導活動	B	
	77	青少年ふれあい運動	B	
	78	青少年主張大会	A	
	79	非行防止活動等ネットワークづくり	B	
4	子どもの安全を守る生活環境・体制づくり	80	歩道の整備	A
		81	公共施設の整備	A
		★82	公園の整備・充実	A
		83	駅施設の整備	B
		84	住環境の整備（都市計画課）	A
		84	住環境の整備（建築住宅課）	A
		★85	防犯対策の充実	A
		86	防犯灯の整備	B
		87	通学区域内の交通安全施設整備（道路管理課）	B
		87	通学区域内の交通安全施設整備（学校教育課）	A
		88	交通安全教室の充実	B
		89	チャイルドシートの貸出	B
		90	交通安全教室の普及・啓発	B
		★91	関係機関、団体との情報交換（コミュニティ課）	B
		★91	関係機関、団体との情報交換（保育課）	B
		92	安全マップ等の作成	A
		93	自主防犯活動の支援	B
		★94	安全管理の促進（コミュニティ課）	B
		★94	安全管理の促進（保育課）	A
		★94	安全管理の促進（指導課）	A
95	防犯体制の充実	B		
96	防犯に関する普及啓発活動	B		
97	保護者・地域との連携による防犯活動	B		
5	男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり	98	就労環境改善への支援	A
		99	就職情報の提供	A
		100	就職・再就職のための職業研修（商工振興課）	A
		100	就職・再就職のための職業研修（企画政策課）	B
		101	男女共同参画社会づくり	B
		102	育児への父親の参加（子ども家庭課）	B
		102	育児への父親の参加（企画政策課）	B
		102	育児への父親の参加（公民館）	B
		★103	延長保育	A
		104	小規模保育	B
		105	産休明け保育	B
		★106	病児・病後児保育	B
		107	休日保育	C
		★108	障害児保育（保育園）	B
★108	障害児保育（児童発達支援センター）	A		
★109	学童クラブの活用	A		
110	子育て短期支援（ショートステイ・トワイライトステイ）	B		

基本目標	事業番号	事業名	令和5年度
6	★111	子ども家庭支援拠点（支援拠点事業）	A
	112	児童虐待防止の啓発（子ども家庭課）	A
	112	児童虐待防止の啓発（指導課）	A
	★113	虐待予防と早期発見（健康増進課）	B
	★113	虐待予防と早期発見（子ども家庭課）	B
	★113	虐待予防と早期発見（保育課）	B
	★114	虐待に関する相談の充実（子ども家庭課）	A
	★114	虐待に関する相談の充実（指導課）	A
	★115	児童虐待防止のための連携強化（障害者支援課）	B
	★115	児童虐待防止のための連携強化（健康増進課）	A
	★115	児童虐待防止のための連携強化（児童発達支援センター）	A
	★115	児童虐待防止のための連携強化（子ども家庭課）	A
	★115	児童虐待防止のための連携強化（保育課）	B
	★115	児童虐待防止のための連携強化（指導課）	A
	★116	社会的養育の推進	A
	117	ひとり親家庭相談	A
	118	母子家庭等就労促進費用の助成	B
	119	ひとり親家庭等生活向上事業	B
	120	相談体制の充実（障害者支援課）	A
	120	相談体制の充実（児童発達支援センター）	B
	121	就学相談・指導	A
	★122	療育指導・機能訓練（障害者支援課）	B
	★122	療育指導・機能訓練（児童発達支援センター）	A
	123	在宅介護サービス	B
	124	特別支援教育の推進	A
	★125	居宅訪問型児童発達支援	B
126	子どもの貧困対策	B	

基本目標1 子育てを支援する地域づくり																
(1) 情報提供・相談体制の充実																
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
★1	子育て及び家庭教育情報の提供 (子ども家庭課・文化芸術・生涯学習課・公民館)		<p>【子ども家庭課】子育てに関する各種情報・講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供できるよう努めます。(流山市市民便利帳(日本語・外国語)・マママップ・児童館・児童センター活動パンフレット)</p> <p>【文化芸術・生涯学習課】子ども・親子向けイベントを含む各種講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供できるよう努めます。</p> <p>【公民館】若い親が情報ツールとすることが多い、携帯電話のインターネット機能を駆使した情報発信などを視野に、さまざまなメディアを使って、よりの確かつ迅速に子育て情報を提供します。</p>													
	主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
① 課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やすために、窓口での案内等の強化に努めます。また他課に対し、LINEの周知をはかり、利用を促していきます。 【子ども家庭課】引き続き、広く市民に情報提供します。【文化芸術・生涯学習課】引き続き、適切な情報提供に努めてまいります。また、参加申込みをお断りだけでなく、代替案が出せるよう講座の充実に努めます。【公民館】 		② R5年度の実績		<ul style="list-style-type: none"> LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やすために、窓口での案内等の強化に努めました。また他課に対し、LINEの周知を回り、利用を促しました。【子ども家庭課】 おおたかの森ホール指定管理者が主催する「子ども・親子向けイベント」について、広報ながれやま及びホームページに掲載するなど、開催情報を提供しました。【文化芸術・生涯学習課】 ホームページへの掲載や、LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」での配信等、若い親でも受け取りやすく、目に触れやすいツールを用いて子育て情報を発信しました。【公民館】 											
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	B	<ul style="list-style-type: none"> LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数が増加したことから、より多くの子育て世代に対し、流山市の子育て支援サービスの情報を発信できました。 		④ 今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やしていくこと、子ども家庭課だけの情報ではなく、他課も含め、子育てに関する情報発信等を行うていく必要があります。【子ども家庭課】 子育て世代が増加する本市では、「子ども・親子向けイベント」の開催情報を継続的に提供する必要があります。【文化芸術・生涯学習課】 情報の受け手に対し、過度な情報発信とならないよう、状況に応じた発信ツールを柔軟に使用していく必要があります。【公民館】 									
⑤ 課題解決のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、LINEやホームページ等の情報発信ツールを活用し、必要な方への確な情報提供に努めるとともに、利用者の増加に対応した、LINEの発信方法等も検討を進めていきます。【子ども家庭課】 引き続き、「子ども・親子向けイベント」の情報提供に努めます。【文化芸術・生涯学習課】 引き続き、適切な情報発信ツールを用いることで、子育て情報を必要とする人に提供できるように努めていきます。【公民館】 															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
★2	子育て支援総合窓口事業 (子ども家庭課)		子どもや保護者が幼稚園や保育所、認定こども園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるように、情報の収集・提供を行い、必要に応じて相談・助言をするとともに、関係機関との連絡調整を行います。													
	主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
相談対応件数(延べ)			1,197	1,557	1,505	↑	↑									
① 課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> おやおあんしん相談窓口について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。 		② R5年度の実績		<ul style="list-style-type: none"> LINEやホームページ等を活用し、周知を図りました。また、転入による児童手当等の手続きに来庁された子育て世代の方々に対し、流山市の子育て支援サービスの案内をしました。 											
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B	<ul style="list-style-type: none"> 窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報の収集や提供、助言を行いました。また、相談内容によっては、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関に繋ぎました。 		④ 今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、おやおあんしん相談窓口について、転入者等を含め、窓口の案内を周知する必要があります。また、利用者支援の取組や、相談対応の仕方などについて、研修機会を増やす必要があります。 										
⑤ 課題解決のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> おやおあんしん相談窓口について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。また、利用者支援の取組や相談対応の仕方等について、千葉県主催する研修に参加します。 															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
3	子育てガイドブックの発行(子ども家庭課)		子育てに関係する様々な情報を提供し、子育て家庭を支援するため、「子育てガイドブック」を発行します。また、「子育てガイドブック」を発行し、祖父母世代にパパ・ママ世代の子育てについて理解を深めてもらえる機会の創出を図ります。													
	主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
ガイドブック配布数			7,495	2,300	12,875	↑	→									
① 課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 「子育てガイドブック」及び「孫育てガイドブック」について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。 		② R5年度の実績		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、「子育てガイドブック」と「孫育てガイドブック」の内容を更新しました。また、LINEやホームページ等を活用し、周知を図り、転入による児童手当等の手続きに来庁された子育て世代の方々に対し、子育てガイドブックや孫育てガイドブックを用いて、流山市の子育て支援サービスについて、案内しました。 											
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B	<ul style="list-style-type: none"> 転入者等に、流山市の地図とセットになっている「子育てガイドブック」の配布、また、祖父母世代の方に、「孫育てガイドブック」を配布することで、子育てに関する様々な情報を提供することができました。 		④ 今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> 子育てガイドブックの内容に関して、子育て世帯の声を聞き、子育て世帯が求めている情報を考慮し作成する必要があります。 										
⑤ 課題解決のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> 子育てガイドブックの内容に関するアンケートを実施し、その内容について、利用者が必要とする情報へ刷新します。また、引き続き「子育てガイドブック」及び「孫育てガイドブック」について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。 															

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	主な活動指標(事業実績)						主な成果指標													
			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標										
4	各種相談(子ども家庭課・公民館・指導課・児童発達支援センター)	<p>【子ども家庭課】児童虐待に関する相談を通じて、関係機関と連携を図りながらその防止に努めます。</p> <p>【公民館】子育て中のママのニーズを的確にとらえた子育てママのセミナー開催やコミュニティ形成ができるセミナーを実施します。</p> <p>【指導課】スクールカウンセラーを配置し、電話相談や面談、学校訪問による保護者や児童生徒、教職員の相談体制の充実に努めます。</p> <p>【児童発達支援センター】乳幼児の発達に関する保護者の相談内容に応じて、相談員や専門職(心理士、言語聴覚士、作業療法士など)が電話や来所による相談、専門職による検査や助言を行います。</p>	45.4	52	26	→	→	子ども発達相談(延べ相談件数) 【児童発達支援センター】	1,057	1,162	1,332	→	→									
	子育てママのセミナー実施回数【公民館】		18	18	18	18	18	延べ参加者数【公民館】	177	176	197	↑	↑									
	スクールカウンセラー配置数【指導課】		9	10	11	↑	↑	教育相談件数【指導課】	2,034	1,902	2,249	→	→									
① 課題解決に向けた改善策		<p>相談対応職員のスキルアップ研修等への積極的な参加など専門性の向上に努め、児童や家庭の状況に即した相談対応を行います。【子ども家庭課】</p> <p>参加者数が少ない地域には、チラシやLINE公式アカウント「なげれやま市子育てちゃんねる」を活用し子育て関連の事業の情報提供を行っています。【公民館】</p> <p>スクールカウンセラーと保護者の面談内容を、保護者の同意のうえで、より速やかかつ正確に伝えるようにします。【指導課】</p> <p>新規相談の申込みをホームページからできるようにすることで、保護者のスムーズな相談に努めます。また、感染症対策で利用できなかった相談スペースについては空調修繕とパーテーションでスペースを区切り利用できるように増やします。【児童発達支援センター】</p>																				
② R5年度の実績																						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	A	相談対応を行う専門職等のスキルアップを図るため、千葉県が主催する研修会や、外部の研修会など積極的な参加を行ったほか、関係機関を集めて児童虐待防止対策研修会を開催しました。					④ 今後の課題	<p>子育ての悩みや児童虐待などに関する相談に適切に対応できるよう相談対応職員のスキルアップを図ると共に、状況に応じてより専門的な機関と連携し対応しました。【子ども家庭課】</p> <p>全ての公民館で各3回ずつ子育てママのセミナーを実施しました。チラシやLINE公式アカウントの活用により、参加者は前年度比+21名となりました。【公民館】</p> <p>スクールカウンセラーを一人増員し、相談体制の充実に努めました。相談件数は過去最多となり、前年比+347件となりました。【指導課】</p> <p>相談の申請様式については、ホームページからダウンロードできるようにしたり、関係機関から必要な保護者に直接手渡をするなど、スムーズな相談申請に努めました。また、年度途中からは、保護者が早期に相談に繋がるよう相談体制の見直しを図りました。【児童発達支援センター】</p>													
	公民館	B	セミナーの実施回数、延べ参加者数ともに目標は達成となりました。一方、依然として地域によって参加者数に偏りがあります。																			
	指導課	A	定期的に配布しているパンフレットの内容を見直ししたり、キットメールを活用したり等、相談窓口の周知方法を工夫をすることができました。また、必要に応じて学校だけではなく関係機関とも連携を図りました。																			
	児童発達支援センター	A	スムーズな相談申請や、相談体制の見直しを図ることで、不安を抱える保護者が早期に相談につながるできるよう、初回面談までの待機期間の短縮を図りました。																			
⑤ 課題解決のための改善策			<p>相談対応職員のスキルアップ研修等への積極的な参加など専門性の向上に努め、児童や家庭の状況に即した相談対応を行います。【子ども家庭課】</p> <p>チラシの内容や配布時期を再考し、対象者が参加したくなるような情報の発信を行うことで参加者の獲得に努めます。【公民館】</p> <p>学校、家庭、市が連携し、主訴が好転するよう、カウンセラーの見立てや児童生徒、保護者の願いが、学校において実際に支障に当たる教職員まで正確に伝わるよう周知徹底していきます。また、年に3回行っている市の研修会を通して、スクールカウンセラーの役割や教育相談の方法等について研修する機会を提供します。【指導課】</p> <p>より複雑化する相談内容や変化する社会資源に対応するために、専門職や関係機関と連携し、よりよい相談体制の提供に努めます。【児童発達支援センター】</p>																			
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	主な活動指標(事業実績)						主な成果指標													
			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標										
5	地域子育て相談(子ども家庭課・保育課)	<p>【子ども家庭課】研修を通して各地域子育て支援センターの相談体制の充実に努めます。</p> <p>【保育課】園開放を行うことで、より身近な相談場所としての機能を果たすことができ、保護者の子育ての不安解消につながることから事業を継続していきます。</p>	1,029	2,149	2,508	→	→															
① 課題解決に向けた改善策		<p>地域子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催で研修を年3回開催したり、アンケート等を実施して、子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。【子ども家庭課】</p> <p>参加者を増やすため周知方法を検討します。【保育課】</p>																				
② R5年度の実績																						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	B	子育ての悩みなどを気軽に相談できるよう、地域子育て支援センターを核として相談体制を図れるよう、地域子育て支援センターの研修を行い、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートを実施しました。また、研修やアンケート等を通して地域子育て支援センターにおける子育て相談体制の充実に努め、保護者の育児に関する不安の軽減に寄りました。					④ 今後の課題	<p>地域子育て支援センターに就事する職員の異動等もあるため、職員の質が下がらないようにする必要があります。【子ども家庭課】</p> <p>保育所における相談機能の周知が必要です。【保育課】</p>													
	保育課	B	人数の偏りはあるものの、園開放に参加した保護者に、入所に向けた案内や相談を受けることが出来ました。																			
⑤ 課題解決のための改善策			<p>地域子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催の研修や関係機関との事例検討会を開催し、地域子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。【子ども家庭課】</p> <p>園開放の案内に、相談が受けられる機会であることを掲載します。【保育課】</p>																			

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	主な活動指標(事業実績)						主な成果指標					
			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標		
6	各種相談の連携(子ども家庭課・児童発達支援センター・健康増進課・保育課・教育総務課)	<p>【子ども家庭課】各種相談窓口をはじめ、保健所、児童相談所、民生・児童委員、学校や保育所、学童クラブなど関係機関等との連携の強化を図ります。また、関係機関によるケース検討会議を開催します。</p> <p>【児童発達支援センター】発達に心配のある子どもや保護者に対し、子どものよりよい支援につなげられるよう療育支援会議をはじめ各種会議等を通じ、保健センター、保育所、幼児教育支援センター、教育委員会、児童館、子ども家庭課、医療機関などの関係機関と連携を図ります。</p> <p>【健康増進課】各種相談窓口と松戸健康福祉センター(保健所)、児童相談所、民生・児童委員、地域子育て支援センターや保育所、学童クラブなど関係機関等との連携の強化を図ります。また、関係機関によるケース検討会議を開催します。 ・ケース検討部会(定例会、臨時検討会議)</p> <p>【保育課】公立保育所所長会議、民間保育所協議会等を活用して、情報を共有し、緊急時に速やかに対応できるよう関係機関との連携を強化します。</p> <p>【教育総務課】学童クラブ運営法人連絡協議会及び小学校・学童クラブ・教育総務課で開催する学童クラブに関する三者協議を活用して情報を共有し、児童の健全な育成が図られるよう関係機関との連携を強化します。</p>	24	24	24	→	→	療育支援方針(年間件数) 【児童発達支援センター】	320	370	595	→	→	
			11	12	12	12	12	関係課との連携強化 【健康増進課】	↑	↑	↑	↑	↑	
			34	34	27	→	→							
① 課題解決 に向けた 改善策		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の活動の周知を図り、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】 関係機関と多角的な意見や情報を踏まえ、地域資源の確認を丁寧なケースワークに繋げていきます。【児童発達支援センター】 必要な時に必要な機関と連携が取れるよう、日頃から関係機関との体制構築に努めました。また、緊急時には、電話連絡での情報共有や、役割分担を確認し、連携した支援を実施しました。あわせて、子ども家庭課との検討会を効率的に実施できるよう実施方法を見直しました。【健康増進課】 学童クラブごとに抱える問題は様々であり、教育総務課、学校、法人で問題について共有し、課題解決のための話し合いの場を持つことが重要です。【教育総務課】 						② R5年度 の実績						
③ R5年度 の取り組み 内容の 達成度の 評価及び 理由	子ども家庭課	A	・要保護児童対策地域協議会の代表者会議を1回、実務者会議を12回、個別支援会議を50回開催するなど、関係機関等との情報の共有や実態の把握の充実を図り、児童虐待の早期発見及び適切な支援の推進に努めました。					④ 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会の機能や役割に関する周知が不十分で、関係機関との連携に時間を要するケースがあります。【子ども家庭課】 ・相談者が早期に適切な支援に繋がるように、療育支援会議に係る待機日数を短くします。また、より複雑化する相談内容に適切に対応するため、関連機関と十分に連携を図る必要があります。【児童発達支援センター】 ・様々な背景や複雑な問題を抱えるケースも増加し、ケースの検討や共有に時間を要しています。【健康増進課】 ・会議などで得た情報を速やかに確実に共有することが必要です。【保育課】 ・同じような課題について、学童クラブごとに結論が異なるケースがあります。【教育総務課】 					
	児童発達支援センター	A	・相談者増加に伴い、検討ケースは増えていますが、事前の情報共有や検討方法を工夫し、会議を実施しました。											
	健康増進課	B	・毎月1回、子ども家庭課とのケース検討会議を開催し、情報共有と支援方針の検討など連携強化に努めました。											
	保育課	B	・会議に参加し、様々な機関の情報を共有することが出来ました。											
	教育総務課	A	・三者協議の場で、多くの課題や情報について共有するとともに、課題解決について話し合うことが出来ました。											
⑤ 課題解決 のための 改善策			<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の活動の周知を図るなど、更なる関係機関との連携強化を図ります。【子ども家庭課】 ・限られた時間で多くの検討をするために、検討内容を精査します。また、療育支援会議に参加する機関を増やし、関係機関との連携を強化します。【児童発達支援センター】 ・引き続き、効率的な検討会の開催ができるよう実施方法を検討します。より身近な地域で支援を実施できるよう、関係機関との連携強化に努めます。【健康増進課】 ・どのような方法で情報共有を図れば、速やかで確実になるかを検討します。【保育課】 ・共通の課題として結論が出せるものは、教育総務課主導で周知を行うようにします。【教育総務課】 											

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
7	相談担当職員の充実及び適正配置(子ども家庭課・児童発達支援センター・健康増進課)	<p>【子ども家庭課】相談担当職員のスキルアップを図るため、研修会等に積極的に参加していきます。また、担当職員の適正配置についても相談件数の増加を加味し、検討していきます。</p> <p>【児童発達支援センター】障害児相談支援を利用希望している方の受け入れができるよう、適正配置に努めます。</p> <p>【健康増進課】保護者の子育て相談に的確に対応できるように、相談担当職員(常勤職員だけでなく、非常勤職員も含め)の知識・能力の向上を図るとともに、職員の適正配置に努めます。</p>											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
相談支援従事者初任者研修修了者数【児童発達支援センター】		2	0	2	2	→							
養育支援家庭訪問事業等研修会開催数【健康増進課】		1	1	2	1	1	養育支援家庭訪問事業等研修会参加人数【健康増進課】		26	28	84	→	→
①課題解決に向けた改善策	<p>・増加する相談に迅速かつ適正に対応できるよう専門職の更なる増員配置に努めます。【子ども家庭課】</p> <p>・相談支援事業所と連携を図り、受け入れ先の情報提供を行いました。引き続き利用者のニーズに応えられるよう、医療的ケアコーディネーター養成研修などをおし、専門的な知識を基に相談にかかわるよう努めます。【児童発達支援センター】</p> <p>・公認心理士のアドバイスを受けながら振り返りを行う事例検討や、県や外部研修等を受け、日ごろの支援の振り返りと最新の情報及び知識の更新や相談技術の向上に努めています。【健康増進課】</p>					②R5年度の実績		<p>・令和5年4月から社会福祉士を1名、会計年度任用職員(心理士)を1名、会計年度任用職員(家庭児童相談員)を2名、8月から会計年度任用職員(家庭児童相談員)を1名、10月から精神保健福祉士を2名配置し体制の強化を図りました。【子ども家庭課】</p> <p>・55件の新規契約を締結しました。また、新たに相談員を配置できるよう、資格取得者を増やしました。【児童発達支援センター】</p> <p>・公認心理士のアドバイスを受けながら振り返りを行い、事例検討を通じ、ケースへの対応方法の知識やスキルを深めました。また、職員及び非常勤職員等を対象に乳児期の難聴に関する研修会を2回実施しました。【健康増進課】</p>					
③「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	A	・専門職の増員を図ったことで、専門性を活かした適切な相談対応を行うことができました。			④今後の課題	<p>・児童虐待相談対応件数に対する職員の配置基準には満たない状況であるため、虐待対応担当窓口の一層の体制強化を図る必要があります。【子ども家庭課】</p> <p>・障害児支援において、地域で中核的な役割を果たせるよう、障害児相談支援の充実を図ります。また、障害児相談支援を希望する方に必要な情報を提供します。【児童発達支援センター】</p> <p>・転入数の増加や、出生数の増加等により、相談件数が増加し、様々な背景や複雑な問題を抱えるケースも増えたことから、保護者からの相談内容も多様となり、様々な相談内容に対応できる知識とスキルが必要となっています。【健康増進課】</p>						
	児童発達支援センター	A	・障害児相談支援を希望する方の受け入れができるよう相談支援従事者初任者研修受講者を増やしました。また、民間の相談支援事業所と受け入れ状況を共有し、必要に応じて相談希望者に情報提供しました。										
	健康増進課	B	・公認心理士のアドバイスや、職員及び非常勤職員を対象とした研修の実施により、保護者の子育て相談に対応することができました。										
⑤課題解決のための改善策	<p>・引き続き、専門職の配置を含め、必要な人員の確保に努めてまいります。【子ども家庭課】</p> <p>・令和6年度より、相談支援専門員を増員するため、令和5年度後半から契約待機をさせていただき、順次契約を行います。【児童発達支援センター】</p> <p>・今年度は公認心理士の事例検討会ではなく、実際に事例対応をする際に必要な知識をさらに深めるため、外部機関の講師を招き事業把握に努めるとともに、事例を通して学びを深めていく予定です。【健康増進課】</p>												
(2)地域における子育て支援サービスの充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★8	保育所(子ども家庭課・保育課)	待機児童数ゼロを達成するため、認可保育所等を整備します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
認可保育所等整備数(定員数(3.31時点))		8,539	8,558	8,619	-	-	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)		3	0	0	0	0
認可保育所等施設数(3.31時点)		100	102	104	-	-							
①課題解決に向けた改善策	<p>・待機児童解消のために、保護者のニーズに合った入所調整を行うとともに、必要に応じて、新たに認可保育所の整備を行います。【子ども家庭課】</p>					②R5年度の実績		<p>・令和5年度は、認可保育所を新規に2施設(定員106人増)及び既存施設1施設(定員32名増)の整備及び保護者のニーズに合った入所調整に努め、令和6年4月1日現在、国基準の待機児童はゼロとなりました。【子ども家庭課・保育課】</p>					
③「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	A	・認可保育所の整備を行った結果、待機児童ゼロを達成できました。			④今後の課題	<p>・令和6年4月1日時点で、国基準の待機児童がゼロとなっていますが、保育所需要が増加した場合、ニーズに対応した取組が必要です。【子ども家庭課】</p> <p>・待機児童ゼロを継続できるように、施設整備や定員設定を検討します。【保育課】</p>						
	保育課	A	・認可保育所の整備及び入所調整を行った結果、待機児童ゼロを達成できました。										
⑤課題解決のための改善策	<p>・今後も、保護者のニーズに合った入所調整を行うとともに、各保育所の利用定員の見直しなどを行います。【子ども家庭課】</p> <p>・人口動態や入所率、社会情勢等を勘案し整備計画を行います。【保育課】</p>												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★9	送迎保育ステーション(保育課)	送迎保育ステーションを利用し、市内の保育所まで送迎することにより、待機児童の解消や保育所利用者の利便性の向上を図ります。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)		2	2	2	→	→	延べ利用数(人)		13,546	14,685	16,824	→	→
送迎バスの台数		8	8	7	7	7	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)		3	0	0	0	0
①課題解決に向けた改善策	<p>・令和5年6月末までに、国基準の置き去り防止を支援する安全装置を送迎バス全てに設置します。</p>					②R5年度の実績		<p>・新園開設の影響から送迎バスの台数を7台に減便し、その全てに国基準の置き去り防止を支援する安全装置を設置しました。</p>					
③「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A	<p>・熱中症を鑑み、令和6年3月末が基準となっていた国基準の置き去り防止を支援する安全装置について、令和5年6月末までにバス全台に設置しました。</p>			④今後の課題	<p>・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、減少した利用者数も回復傾向にありますが、一方で保育所整備が進んだことで、利用者数の大幅な増加は見込めないことが想定されます。</p>							
⑤課題解決のための改善策	<p>・引き続き、安全な運行を維持するとともに、利用者数の推移に応じた適正規模の事業とするため、常に事業の精査・検討を行います。</p>												

番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標																	
★10	地域子育て支援センター(子ども家庭課)		職員の資質向上を図り、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て世帯へのサポートを充実していきます。																	
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標					
子育て支援センター数			11	11	11	11	11	利用者数	34,770	48,337	52,393	↑	↑							
① 課題解決に向けた改善策	・地域子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催で研修を年3回開催し、地域子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。		② R5年度の実績						・地域子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催で研修や関係機関の職員との事例検討会を開催(各1回)したり、アンケート等を実施して、地域子育て支援センター全体の質が下がらないようにしました。											
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・子育ての悩みなどを気軽に相談できるよう、地域子育て支援センターを核として相談体制を図れるよう、地域子育て支援センターの研修を行いました。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートを実施しました。 ・研修やアンケート等を通して地域子育て支援センターにおける子育て相談体制の充実に努め、保護者の育児に関する不安の軽減に努めました。						④ 今後の課題						・子育て世代が増加している中で、全国平均、千葉県平均と比較し、身近な子育て支援の場の整備が追い付いていない地域が依然としてあることから、更なる量的拡充を行う必要があります。 ・地域子育てセンターに従事する職員の異動等もあるため、職員の質が下がらないようにする必要があります。また、市内の地域子育て支援センター等で情報を共有する共に、主体研修等を実施し、質向上に努める必要があります。					
⑤ 課題解決のための改善策	・地域子育て支援センターの必要性が高いと考えられる地域に、新たな施設の設置を進めます。 ・子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催の研修や関係機関との事例検討会を開催し、子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。 ・国・県から情報提供される地域子育て支援センター職員向けの研修について、案内し、参加を促していきます。																			
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標																	
11	保育所の多機能化(保育課)		身近な場所で子育てに関する相談や育児講座、子育て中の親の交流などを行う拠点として、園開放の実施等、保育所等の多機能化を推進します。																	
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標					
① 課題解決に向けた改善策			・参加者を増やすため周知方法を検討します。						② R5年度の実績			・コロナウイルス感染症により非開催としていた園開放を再開し、親子に参加してもらうことが出来ました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・人数の偏りはあるものの、園開放に参加してもらうことが出来ました。						④ 今後の課題						・限りある資源の中で、更なる多機能化に取り組みます。					
⑤ 課題解決のための改善策	・令和8年度から始まる、(仮称)誰でも通園制度の検討を行います。																			
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標																	
★12	幼保一元化(子ども家庭課・指導課)		【子ども家庭課】教育と保育の両方のニーズに対応できるよう、今後も認定こども園の整備を進めます。 【指導課】幼児教育支援センターにおいて、今後も国の動向を見ながら、幼保小関連教育の研究を進めています。																	
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標					
保幼小関連教育研究会開催回数			3	3	3	3	3	保幼小関連教育研究会参加延べ人数	214	276	302	215	215							
① 課題解決に向けた改善策	・地域ごとにグループ編成し、グループ協議を行ったり、小学校見学会や幼児見学会を通して幼児教育から小学校教育の接続について実際の指導場面を見合ったりすることで、研修を深めていきます。【指導課】		② R5年度の実績						・令和5年度は、認可保育所から幼保連携型認定こども園に1施設(1号認定15人定員増)及び保育所型認定こども園に2施設(1号認定12名定員増)、認定こども園化となりました。【子ども家庭課】 ・感染症拡大防止のため中止していた、小学校見学会・幼児見学会を再開させ、幼児教育・保育と小学校教育の相互理解を深めることができました。また、第3回保幼小関連教育研究会には、療育施設の職員も参加し、小学校に進学する子供達について、情報共有をすることができました。【指導課】											
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課 B 指導課 B		・保護者の教育と保育の両方のニーズに対応できるように対応しました。 ・小学校見学会・幼児見学会では、幼児教育・保育と小学校教育の職員が、そのつながりや違いを知ることができました。しかし、幼児期の子供たちと関わるすべての大人が、子供の学びや発達について理解を深め、特に配慮を要する子供たちが円滑に学校生活に接続できるように、今後も連携を深める必要があります。						④ 今後の課題						・保護者の教育と保育のニーズを把握する必要があります。【子ども家庭課】 ・幼児期の子供たちに関わる多くの大人が、特別な配慮を要する子供たちに対する理解を深められるよう、幼児教育・保育施設、小学校だけではなく、療育支援施設とともに学びを深められるよう、ともに研修できる場を設ける必要があります。【指導課】					
⑤ 課題解決のための改善策	・保護者等のニーズの状況に応じて、認定こども園化に向けて、認可保育所や幼稚園等と協議をしています。【子ども家庭課】 ・幼保小関連教育研究会で特別な配慮を要する子供たちの理解を深める研修を設定するとともに、療育機関にも案内し、より多くの関係機関の方々とともに研修できる場を設定します。【指導課】																			
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標																	
13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業(子ども家庭課)		特定教育・保育施設等への民間事業者の参入、多様な事業者の能力を活用した設置・運営を促します。																	
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標					
民間事業者による認可保育所整備数			4	1	2	→	→													
民間事業者による小規模保育事業所整備数			1	0	0	→	→													
① 課題解決に向けた改善策	・市内の保育需要の状況を注視しながら、多様な事業者が参入できる環境づくりを行います。		② R5年度の実績						・認可保育所等の整備にあたっては、幅広く保育事業者の参入を促すため、公募を実施しました。											
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・公募等を行い、多くの事業者が参入できる環境づくりを行いました。						④ 今後の課題						・保育施設の整備数は減少傾向であることに伴い、多様な事業者が参入できる環境が限られています。					
⑤ 課題解決のための改善策	・保育需要のあり方が変化してきている状況等を勘案しながら、多様な事業者が参入できる環境づくりを行います。																			

番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
★14	児童館・児童センター(子ども家庭課)		市内児童館・児童センターにおいて、地域の子育て活動の拠点施設となるような保護者・乳幼児の子育てをサポートするための事業を実施します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)			67	100	—	—	—	市内9施設利用者アンケート(%) 「施設を利用することで子育てを支えられていると感じる:あてはまる・だいたいあてはまる」平均			98.5	98.2	99.2	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	・既存児童館・児童センターにおける各種イベント等の再開に向け、参加方法や活動時の参加者の動きなどの検討を重ね対応していきます。						② R5年度の実績	・既存児童館・児童センターにおける各種イベント等が再開され、参加者数も増加しました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、各種イベント等が再開し、参加者数が徐々に回復しています。						④ 今後の課題	・引き続き、児童館・児童センターにおける各種イベント等の参加方法や活動時の参加者の動きなどの検討を重ね対応していきます。また、中高校生の居場所の提供として、中高生専用の空間等を整備するなど、利用しやすい環境づくりを検討する必要があります。					
⑤ 課題解決のための改善策	・参加者へ周知だけでなく、参加者を増やすことを念頭に取り組んでいきます。また、中高校生の居場所として提供できるように、施設内に専用スペースを設けたり、こども・若者の声を聞きながら、新たな事業等の実施に努めています。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
★15	学童クラブ施設(教育総務課)		放課後の留守家庭の児童の健全な育成を図るため、学童クラブの充実を図ります。学童需要が大幅に増加する中で、安全な育成支援が提供できる環境を整備していきます。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
整備後の定員数(人)			3,240	3,240	3,748	3,680	3,680	待機児童数(3月末)(人)			0	0	0	0	0
整備後の施設数(施設)			37	37	39	39	39								
① 課題解決に向けた改善策	・利用児童者数の増加が予想される地区において、児童数の推計をもとにあらかじめ学童クラブを整備することで、待機児童が出ないようにします。						② R5年度の実績	・新たに開校する学校に合わせて、定員280名の市野谷小学校区学童クラブと定員228名の南流山第二小学校区学童クラブの整備を行いました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		・関係機関との連携を行いながら、令和6年度の開所に合わせて整備を行うことが出来ました。						④ 今後の課題	・利用者が増加する中で、学校に学童クラブを整備するスペースがない場合があります。					
⑤ 課題解決のための改善策	・学校の空き教室を利用するなどして、育成支援の環境を整備します。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
★16	療育施設(児童発達支援センター)		障害のある児童の自立支援のため、児童発達支援センターの充実を図ります。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
つばさ学園 実人数			33	32	33	↑	↑	つばさ学園 延べ利用人数			3,676	4,117	5,089	↑	↑
児童デイつばさ 実人数			57	52	46	↑	↑	児童デイつばさ 延べ利用人数			2,111	2,429	2,610	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	・限られた環境の中でも、継続した療育が行えるよう、支援・行事の内容や実施方法を職員間で検討し工夫していきます。また、コロナ禍以降の感染症対策についても、引き続き他施設や保護者との連携を図ります。						② R5年度の実績	・保護者参加の行事や交流会を一部再開し、園児の発達、成長に必要な支援を実施しました。 ・つばさ学園・児童デイ共に延べ利用人数は前年より増加しました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		・園児の健康を第一に職員間で支援内容・行事の検討を行い園児一人一人の発達状況に合わせた支援を提供しました。						④ 今後の課題	・地域の障害児支援において中核的役割を果たすことが求められています。民間の児童発達支援センター等と連携し地域に必要な支援を把握した上で医療的ケア児の受け入れや低年齢の児童の受け入れをすすめ、今より幅広い障害種別や年齢の児童を支援していく必要があります。					
⑤ 課題解決のための改善策	・職員向け研修や、支援環境を改善する等して、専門的機能の強化を図ります。また、保育所や他事業所、医療機関などと情報共有の機会を設け、関係機関と連携しながら、園児と家族に対する専門的な支援を提供します。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
17	市主催事業における託児サービス(公民館・子ども家庭課)		【公民館】安全な託児を心がけ、子育て中の保護者が安心して講座へ参加できるよう努めます。 【子ども家庭課】乳幼児がいる親が、各種講座等、市の主催する事業へ参加できるよう、一時保育等の託児サービスを推進します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
保育ボランティア派遣件数【子ども家庭課】			12	27	28	↑	↑								
実施回数【公民館】			1	5	4	↑	↑	保育利用乳児数【公民館】			3	9	5	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	・新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、保育利用乳幼児数の増加が出来るよう、講座を企画していきます。【公民館】 ・保育ボランティアの質の向上のため、研修を開催したり、情報共有等を行います。【子ども家庭課】						② R5年度の実績	・託児サービスの実施回数は前年度比1回の減少となりました。また、利用乳児数も4人の減少となりました。【公民館】 ・保育ボランティアの質の向上のため、研修を開催するとともに、情報共有等を行いました。【子ども家庭課】							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	公民館 C		・新型コロナウイルス感染症がひと段落したにも関わらず、利用回数・利用者数ともに減少となりました。						④ 今後の課題	・受け入れ体制は整っていますが、利用乳児数が少なく、有効に活用されていません。【公民館】 ・引き続き、市民が安心して講座へ参加できるようにするため、保育ボランティアの質の向上を目指す必要があります。【子ども家庭課】					
	子ども家庭課 B		・市の主催する各種講座に、どなたでも参加しやすくするように、開催場所において、一時保育等の託児サービスを実施しました。												
⑤ 課題解決のための改善策	・他事業に付随して、本事業の周知を行い、気兼ねなくサービスを利用できるような広報活動を行います。【公民館】 ・保育ボランティアの質の向上のため、研修を開催したり、情報共有等を行います。【子ども家庭課】														

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	主な活動指標(事業実績)						主な成果指標									
			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
18	赤ちゃんほっとスペース(子ども家庭課)	安心して赤ちゃんと外出できるよう、オムツ替えや授乳等が気軽にできる場所(施設)を提供するため、保育所や児童館・児童センターなどの公共施設を中心に「赤ちゃんほっとスペース」を設置します。	65	66	67	↑	↑											
①	課題解決に向けた改善策	新規施設が開設する際には、赤ちゃんほっとスペースの設置に向けて働きかけを行います。利用促進を図るため、更なる周知を行います。							②	R5年度の実績	・令和5年度は、おおたかの森地区に1施設登録を追加しました。							
③	「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・新たに、おおたかの森地区に1施設登録できました。							④	今後の課題	・新規施設への設置への呼びかけとともに、利用促進の周知を図る必要があります。							
⑤	課題解決のための改善策	・外出する親子にやさしい街となるよう引き続き、新たな赤ちゃんほっとスペースの設置を進めていきます。																
19	一時保育(保育課)	保護者の病気等により、一時的に保育が必要な場合に対応できるよう、一時保育の充実を図ります。	主な活動指標(事業実績)						主な成果指標									
			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
			19	21	21	→	→	一時保育利用者数	4,453	6,648	7283	→	→					
①	課題解決に向けた改善策	・継続して補助金の交付を行います。							②	R5年度の実績	・補助金を交付して、一時保育の充実を図りました。							
③	「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・申請書を審査し、適正に補助金を交付しました。							④	今後の課題	・ニーズ調査や利用実態を踏まえて、一時保育の充実を図る必要がありますが、保育所での一時保育の実施は、保育所部分の定員まで児童が入所した際の児童一人当たりの床面積の基準や保育士の確保の課題があり、一部の保育所に限られます。							
⑤	課題解決のための改善策	・ニーズ調査や利用実態を踏まえ、既存保育施設への調査や勧奨を行い、実施箇所の増加を図ります。																
(3)子育て支援のネットワークづくり																		
★20	ファミリー・サポート・センター(子ども家庭課)	仕事と育児の両立のため、育児を必要とする市民が育児を提供できる市民から、子育て支援を受けられるファミリー・サポート・センター事業を推進します。	主な活動指標(事業実績)						主な成果指標									
			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
			641	658	691	↑	↑	マッチング件数	277	236	301	↑	↑					
			7,579	6,867	7,800	↑	↑											
①	課題解決に向けた改善策	・ファミリー・サポート・センターの会員登録手続きを拡充し、郵送でも手続きができるようにしました。提供会員になった後のフォローアップとして、提供会員向けLINEも運用しました。また、利用の対象年齢を6ヶ月から「原則」6ヶ月からとし、必要と認められた場合援助を行うことにしました。							②	R5年度の実績	・活動説明会は、12回予定のうち、12回を実施し、基礎研修会も予定通り4回実施しました。また、会員獲得のための紹介動画を作成して、ホームページに掲載したり、自治会への配付等を実施しました。							
③	「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・活動説明会は、12回予定のうち、12回を実施し、基礎研修会も予定通り4回実施しました。また、会員獲得のための紹介動画を作成して、ホームページに掲載したり、自治会への配付等を実施し、事業の周知に努めました。							④	今後の課題	・引き続き、利用会員数が増えているため、提供会員を増やす必要があります。また、利用会員が利用しやすい運用とする必要があります。							
⑤	課題解決のための改善策	・提供会員になった後のフォローアップとして、提供会員向けLINEを運用しています。また、利用の対象年齢を6ヶ月から「原則」6ヶ月からとし、必要と認められた場合援助を行っています。提供会員数を増やすため、紹介動画を作成してホームページに掲載したり、周知に努めています。																
21	子育てグループの支援(子ども家庭課)	地域子育て支援センターや児童館、児童センターなどを活用し、乳幼児グループの活動を支援し、親同士の交流を促進します。また、子育て支援に関心のある方々のネットワークづくりを支援します。	主な活動指標(事業実績)						主な成果指標									
			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
			4,515	4,658	5,586	↑	↑											
①	課題解決に向けた改善策	・地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。							②	R5年度の実績	・地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動について、LINEやホームページ等を活用し、周知しました。令和5年度については、5,586人の参加となり、前年度から928人増加しました。							
③	「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動について、LINEやホームページ等を活用し、周知しました。児童センターの幼児グループの参加人数が増加しました。							④	今後の課題	・地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動の参加者を増やす必要があります。幼児グループの活動について、利用者アンケート等を活用し、随時検討を行う必要があります。							
⑤	課題解決のための改善策	・地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。満足度調査等の結果を活用し、幼児グループの内容について、随時検討を進めていきます。																

(4)経済的支援の充実															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
22	児童扶養手当(子ども家庭課)		父母の離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進するため、当該家庭等の方に支給します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
児童扶養手当支給事業(受給件数)			732	714	723	↑	↑								
① 課題解決に向けた改善策	・現況届が未提出の方については、督促により提出を促し審査を進めてまいります。					② R5年度の実績	・現況届が未提出の方については、督促により提出を促すなどをして、適正かつ円滑な支給を実現できました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・現況届が未提出の方については、督促により提出を促すなどをして、適正かつ円滑な支給を実現できました。			④ 今後の課題	・令和6年11月からの拡充に向けて、適正に助成を行う必要があります。								
⑤ 課題解決のための改善策	・令和6年11月からの拡充に向けて、システム改修などの流れを円滑に実施し適正に助成を行います。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
23	児童手当(子ども家庭課)		家庭生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校3年生までの児童を養育している方に支給します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
児童手当支給事業(受給件数)			365,918	356,917	347,392	↑	↑								
① 課題解決に向けた改善策	・現況届が未提出の方については、督促により提出を促し審査を進めてまいります。					② R5年度の実績	・現況届が未提出の方については、督促により提出を促すなどをして、適正かつ円滑な支給を実現できました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・現況届が未提出の方については、督促により提出を促すなどをして、適正かつ円滑な支給を実現できました。			④ 今後の課題	・令和6年10月からの拡充に向けて、転入、出生等で児童手当の申請受付を行っている市民課各出張所に対し、より深く制度について周知が必要です。								
⑤ 課題解決のための改善策	・各出張所に対して、改めて制度の周知を図るため、さらにわかりやすい資料の作成を行うなど、周知方法の改善に努めます。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
24	特別児童扶養手当(障害者支援課)		20歳未満の心身に障害のある児童を監護している親、あるいは養育者に支給します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
受給者人数(人)			287	299	320	→	→	対象となる方に必要な案内が出来、支給に結び付けた			→	→	→	→	→
① 課題解決に向けた改善策	・個別のご案内や各種の媒体を通じて、必要な方の支給に結び付くよう努めていきます。					② R5年度の実績	・前年度から21人の増となりました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・障害者手帳のご案内時に、対象になると考えられる方に個別のご案内を行いました。また、市広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、広く周知を行いました。			④ 今後の課題	・個別のご案内や各種の媒体を通じて、支給が必要な方結びつくよう努める必要があります。								
⑤ 課題解決のための改善策	・引き続き、個別のご案内や各種の媒体を通じて、必要な方の支給に結び付くよう努めていきます。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
25	障害児福祉手当(障害者支援課)		20歳未満で心身に重度の障害があり、障害の程度が基準を満たす児童に支給します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
延べ支給人数(人)			954	962	1018	→	→	対象となる方に必要な案内が出来、支給に結び付けた			→	→	→	→	→
① 課題解決に向けた改善策	・個別のご案内や各種の媒体を通じて、必要な方の支給に結び付くよう努めていきます。					② R5年度の実績	・前年度から延べ56人の増となりました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・障害者手帳のご案内時に、対象になると考えられる方に個別のご案内を行いました。また、市広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、広く周知を行いました。			④ 今後の課題	・個別のご案内や各種の媒体を通じて、支給が必要な方結びつくよう努める必要があります。								
⑤ 課題解決のための改善策	・引き続き、個別のご案内や各種の媒体を通じて、必要な方の支給に結び付くよう努めていきます。														

番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
26	子ども医療費の助成(子ども家庭課)		中学校3年生までの子どもが病気などで保険診療を受けた場合、その医療費の一部を助成します。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
子ども医療費助成事業(受給件数)			438,184	503,501	670,627	↑	↑									
① 課題解決に向けた改善策	・県へ補助の拡充を要望していきます。						② R5年度の実績	・保護者の経済的負担の軽減を図るため、令和5年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生までから高校3年生までに拡充することについて、関係部署や関係機関との協議を行い、令和5年8月から対象を拡充した内容で適正に助成を行いました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B	・システム改修などの流れを円滑に実施し、高校3年生(18歳年度末)までの対象者に対して、適正に助成を行うことができました。						④ 今後の課題	・転入、出生等で子ども医療費の申請受付を行っている市民課各出張所に対し、より深く制度について周知が必要です。							
⑤ 課題解決のための改善策	・各出張所に対して、改めて制度の周知を図るため、さらにわかりやすい資料の作成を行うなど、周知方法の改善に努めます。															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
27	未熟児養育医療の給付(子ども家庭課・健康増進課)		【子ども家庭課】【健康増進課】乳児及び保護者の保健衛生の向上を図るため、入院養育が必要な未熟児に対して医療給付を行います。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
未熟児養育医療給付事業(受給件数)【子ども家庭課】			148	95	173	↑	↑									
給付申請受付数【健康増進課】			52	39	47	→	→									
受給者のフォロー訪問率%【健康増進課】			95	100	100	100	100									
① 課題解決に向けた改善策	・感染対策を徹底し、対象者が安心して相談できる相談体制づくりに努めます。【健康増進課】						② R5年度の実績	・保護者の経済的負担の軽減を図るため、適正に助成を行ってきました。【子ども家庭課】 ・保健センターに問い合わせがあった際には、申請内容について丁寧に案内するとともに、来庁時に地区担当保健師等が話を伺い、その後、訪問指導を継続して行っています。【健康増進課】								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	B	・保護者の経済的負担の軽減を図るため、適正に助成を行いました。						④ 今後の課題	・市民に対して制度の周知が必要です。【子ども家庭課】 ・引き続き対象者が安心して相談できる相談体制が必要です。【健康増進課】						
	健康増進課	B	・受給者のフォロー訪問率は100%です。													
⑤ 課題解決のための改善策	・市民に対して制度の周知に努めていきます。【子ども家庭課】 ・引き続き両課で情報を共有し、継続して適切な支援を継続していきます。【健康増進課】															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
28	ひとり親家庭等の医療費の助成(子ども家庭課)		18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育する母子、父子家庭等及びその児童が、医療費の保険給付を受けた場合、その自己負担額の一部を助成します。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
ひとり親家庭等医療費助成事業(受給件数)			27,870	29,136	34,467	↑	↑									
① 課題解決に向けた改善策	・県へ補助の拡充を要望していきます。						② R5年度の実績	・保護者の経済的負担の軽減を図るため、適正に助成を行ってきました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B	・適正に助成を行うことができました。						④ 今後の課題	・市民に対して制度の周知が必要です。							
⑤ 課題解決のための改善策	・周知方法の改善に努めます。															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
29	保育所保育料負担の適正化(保育課)		保護者等が適正な負担となるよう、低所得世帯等に配慮した、保育料の適正化を図ります。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
① 課題解決に向けた改善策	・国基準よりも細かい保育料の区分を設定し、低所得世帯等に配慮した保育料決定を継続して行います。						② R5年度の実績	・保育料の区分については、R4年度から継続しての区分設定としました。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保育料の滞付について、該当者に対する滞付作業を進めました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B	・市独自で設定している保育料の区分について継続し、保育料決定を行いました。						④ 今後の課題	・R4年度に多子軽減について市独自の基準を設けましたが、新たに独自の基準を設けた周辺市等もあり、動向を注視する必要があります。							
⑤ 課題解決のための改善策	・保育料区分が適正であるか、税制改正の影響も踏まえて検討していきます。また、多子軽減等について、独自の基準を設けている他市の状況を確認していきます。															

番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
30	実費徴収に係る補給給付を行う事業(保育課)		各施設事業者において実費徴収ができることとされている食事の提供に要する費用について、低所得世帯を対象に、費用の一部を助成します。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
申請件数			332	263	347	→	→									
① 課題解決に向けた改善策	・対象者に助成を行います。					② R5年度の実績	・対象者からの申請に基づき、助成を行いました。									
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		・遅滞なく、速やかに助成を行いました。			④ 今後の課題	・広く周知する方法が課題です。									
⑤ 課題解決のための改善策	・広報やHPに掲載するほか、施設を通じて案内をするなど周知方法を検討します。															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
31	特別支援教育就学奨励費補助(学校教育課)		特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者(申請に係る世帯の所得状況に応じて支給制限あり)の経済的負担を軽減するため、特別支援学級への就学のために必要な経費の一部を助成します。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
認定者数(人)								認定者数(人)			270	317	354	→	→	
① 課題解決に向けた改善策	・支給に必要な申請書及び添付書類に基づき、国が定める基準額以内または超える世帯かに区分します。					② R5年度の実績	・認定人数 小学校293人 中学校 61人 ・支給額 小学校9,686,277円 中学校3,596,191円									
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		・特別支援学級在籍の経済的困難世帯の児童・生徒が安心して学校生活を送るため、必要な家庭へ適正に就学奨励費を支給しました。			④ 今後の課題	・世帯所得が国の定める基準額を超えている場合は、通学費のみ支給しています。									
⑤ 課題解決のための改善策	・引き続き支援が必要な家庭へ就学奨励費を支給します。															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
32	就学援助・奨学金(学校教育課)		経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者への援助を行います。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
広報ながれやま掲載数(年何回)			3	3	3	→	→	認定者数(人)			958	962	957	→	→	
① 課題解決に向けた改善策	・行事に不参加の場合でも、キャンセル料等により保護者への負担が発生している場合には、保護者の負担分を支給することにしました。					② R5年度の実績	・認定人数 小学校594人 中学校363人 ・支給額 小学校53,122,528円 中学校44,149,625円									
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		・経済的困難者への支援と負担軽減を図るため、就学援助規則を一部改正し認定基準の見直しを行いました。			④ 今後の課題	・引き続き、支援が必要な家庭へ支給をします。									
⑤ 課題解決のための改善策	・広報ながれやまへの掲載を含め、引き続き必要な家庭へ周知できるよう努めてまいります。															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
33	入学準備金の貸付(教育総務課)		高等学校又は専修学校へ入学を希望する保護者に対して、無利子で貸付します。今後も入学準備金の貸付について、市のホームページや広報紙により情報提供に努めるとともに、入学準備金の調達が困難な保護者に対し、教育の機会均等を図ります。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
入学準備金に関する相談件数			1	1	0	→	→	入学準備金の申請数			0	1	0	→	→	
								入学準備金の貸付実施数			0	1	0	→	→	
① 課題解決に向けた改善策	・市内全中学校へのパンフレット配布や市のホームページ、広報紙での情報発信をできるだけ早い時期に行い、パンフレット内にも早めに申請を行うよう記載しました。					② R5年度の実績	0件									
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・R5年度は、結果的に実績は0件であったが、同制度の周知については、実際の募集期間よりも前に、校長会議、教頭会議等を通じ、周知徹底を図ることで、家庭への周知はできたものと認識しています。			④ 今後の課題	・社会情勢が著しく変化するなかにおいて、学校と連携を図り、支援が必要となる家庭への広報、周知に努めていく必要があります。									
⑤ 課題解決のための改善策	・今後も、学校と連携を図り、市内全中学校へ早めに周知を行うとともに、同制度について、広報紙での情報発信をできるだけ早い時期に行い、周知徹底を図っていきます。															

基本目標2 子どもと保護者の健康づくり													
(1)子どもや保護者の健康の確保													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★34	妊娠・出産・子育てサポート事業 (健康増進課)	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援計画をもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、解決に向けた支援をします。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
妊婦面談率(%)		100	100	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93	93	93.44	96.5	↑
産後ケア延べ利用人数(人)		94	97	58	↑	↑	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		82	76	79	88	↑
① 課題解決に向けた改善策	・保健センターと南流山センターの2つの「子育てなんでも相談室」において支援が必要な方への対応が早急にできるよう、関係機関とも連携し更なる支援体制の強化を図ります。						② R5年度の実績	・様々な社会的支援を必要とする妊婦に対しては、関係機関と連携し必要な時期に必要な支援を行うことができました。					
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・妊産婦が支援を要する要因は、産前産後のサポート不足や、周囲に知り合いのいない孤立感、初めての育児に対する不安感など様々であることから、母子健康手帳交付時面談や電話相談、妊娠7・8か月アンケート後の電話や面談で個々の妊婦の状況を把握し、支援が必要な妊産婦に対して支援を行いました。						④ 今後の課題	・妊産婦の個々の状況に応じた社会資源の情報提供や支援を行う必要があります。					
⑤ 課題解決のための改善策	産後ケア事業の対象者を拡充する等の支援の強化を図ります。また、妊産婦に対し、さまざまな社会資源を案内・提供するために、情報の収集及び把握に努め、関係機関と連携し、個々の状況に応じた支援を行います。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
35	母子健康教育 (健康増進課)	妊産婦、乳幼児の健康の保持増進のための育児手技や生活習慣などが身につけられるよう支援を行います。参加者数の増加やパートナー参加のニーズがみられるため、実施方法について検討し、市民が受講しやすい体制を整え、地域交流のきっかけの場を担えるような内容などを検討していきます。また、関係機関との連携を強化しながら、支援をしていきます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
ハローベビー開催回数		35	43	48	48	48	ハローベビー参加者数		685	901	1,088	1,200	1,200
むし歯予防教室開催回数		34	40	36	36	36	むし歯予防教室参加者数		935	977	768	1,400	1,400
① 課題解決に向けた改善策	・安心して受講できるよう、オンライン開催や、内容変更、感染症対策や人数制限を実施しました。必要に応じて、各種専門職が電話にて一人ずつ丁寧に相談指導を行い、不安を解消するよう努めます。						② R5年度の実績	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、各種事業において対面での開催及び人数制限を緩和しました。事業内容を感染症流行前から見直し及び改善を行いました。					
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・感染症対策で見合わせている実習等があるため、ニーズに合っていない部分もありましたが、子育てに不安を抱える方には、更に一人ずつ丁寧に相談指導を行い、対応しました。						④ 今後の課題	・この数年間は各種事業の、中止や延期、オンラインでの開催など多くの事業が、感染症対策の影響を大きく受けたため、今後は実習等を含めた対面での開催により、受講者のニーズに合わせた満足度の高い健康教育を行います。					
⑤ 課題解決のための改善策	・育児手技や適切な生活習慣を身につけられるよう各種事業において、感染症対策で見合わせていた専門職による実技指導や調理実習等をすべて再開し、健康教育の内容を充実させます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★36	乳幼児健康診査 (健康増進課)	乳幼児健康診査の充実を図ることで、疾病や発達障害の早期発見予防といった丁寧な健康診査に努め、子育て中の保護者の孤立化を防ぎます。また、マイナンバーを活用した他市町村との情報連携を行い、未受診者を把握することで、虐待の予防、早期発見に繋がります。 (参考)乳児健康診査(3～6か月児、9～11か月児)、3か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
乳児一般健康診査受診券交付者数(人)		2,656	2,647	2,457	→	→	1歳6か月児、3歳児健康診査受診率(%)		93.6	93.8	95.0	95	→
3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査受診券送付数(通)		7,334	7,034	6,994	7,100	→	3か月児健康診査受診率(%)		93.8	95.3	93.1	95	→
① 課題解決に向けた改善策	・3歳児健康診査における歯科健診の受診率の向上を目指し、令和5年度から歯科健診を個別健診から集団健診へ変更して実施します。新生児聴覚スクリーニング検査については、早期発見・治療に繋げる体制を整備します。						② R5年度の実績	・3歳児健康診査における歯科健診を集団健診へ変更したことで、受診率の向上に努めました。また、新生児聴覚スクリーニング検査については、様々な母子保健事業を活用したフォロー体制を整備しました。					
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・令和4年度の課題を改善することができ、電子カルテを活用したことで、妊産婦から乳幼児の情報を共有することで、切れ目のない支援を実施することが可能になりました。						④ 今後の課題	・各種健康診査後の相談体制を整備し、医療機関と連携し、情報を共有することでフォロー体制を強化します。また、未受診者については、全数把握のためのフローチャートを見直したので、適切に運用します。					
⑤ 課題解決のための改善策	各種健康診査後に安心して相談できるよう、医療機関との連携を図り、フォローが適切に実施できるような体制を整備します。また、未受診者への受診勧奨を行い、引き続き全数把握に努めます。												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
37	母子健康相談 (健康増進課)	保護者の育児不安の軽減を図り、子供が健やかに育つよう、育児や栄養、歯科等の相談について専門職がいつでも気軽に相談できる体制づくり に努めます。 ・フォローアップ相談(予約制)、すくすく相談(常設)											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
来所者数(延べ数)		302	412	1,163	450	550	相談件数(延べ数)		433	646	1,326	550	650
① 課題解決 に向けた 改善策	・保健センターのすくすく相談を利用できない地域の相談においては、南流山センター子育て なんでも相談室の予約枠を拡充します。保健センターで開催するフォローアップ相談は、乳幼 児健康診査の事後相談事業と同日で1日開催とすることで、相談可能な時間が増え、保護者 の様々なニーズに対応できると考えます。					② R5年度 の実績	・保健センターと東部公民館にて年間17回のフォローアップ相談を実施しました。 保護者が安心して相談することができるよう予約制とし、育児不安を軽減できる よう努めました。令和5年3月より南流山センター内に子育てなんでも相談室が 開設され、保護者の方が気軽に相談できる体制づくりができたことで、すくすく 相談の相談件数が大きく増加しました。						
③ 「R5年度 の取組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・乳児家庭全戸訪問や新生児訪問の際にすくすく相談の周知に努めた結果、 利用者が増加しました。また、南流山センター内にある子育てなんでも相 談室では、常設相談の他、月に1~2回各専門職による相談の機会を設ける ことで、保護者の様々なニーズに対応することができました。					④ 今後の課 題	・乳幼児の人口増加に伴い、相談内容も様々のため、個々のニーズに合わせ、必要 な支援を適切な時期に提供する必要があります。また、相談件数が増加してい ることから、保護者が相談できる場を十分に確保する必要があります。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	今後も保健センターや東部公民館、南流山センターの子育てなんでも相談室にて、各専門職が保護 者に寄り添いながら相談できる体制づくりに努めます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
38	母子訪問指導 (健康増進課)	訪問指導によって、妊娠・出産・育児の不安解消を図り、健康の保持、増進に努めます。今後も、他事業や関連機関との連携強化及び、早期に支援 へつなげる体制づくりを行います。また、対象者の増加が予想されることから、訪問従事者の確保に努めます。 ・妊娠婦、新生児訪問指導 ・乳幼児訪問指導											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
乳幼児家庭全戸訪問実数		1,987	2,067	2,002	→	→	乳幼児家庭全戸訪問実施率(%)		94	97	99	98	98
① 課題解決 に向けた 改善策	・妊娠・育児サポート係との連携により事前に対象家庭の状況や予測される問題などの情報を得て、 早期に必要な支援につなげていきます。 出産子育て応援給付金の開始に伴い、申請書を乳児家庭全戸訪問時に直接渡すことにより、訪問 実施率の向上につなげます。					② R5年度 の実績	・対象者は出生届から抽出しており、届出後短期間のうちに転出した乳児以外は全 数訪問を実施し、実施率は増加しました。						
③ 「R5年度 の取組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A ・出産子育て応援給付金の開始に伴い、訪問拒否世帯が無く、転出した 家庭以外には全数訪問ができました。					④ 今後の課 題	・支援を必要とする家庭も増加傾向にあり、相談内容も多様化しているため、引き 続き、必要な支援を適切なタイミングで提供する必要があります。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	妊娠・育児サポート係との緊密な連携により、事前に対象家庭の状況や予測される問題などの 情報を得て、早期に必要な支援につなげていきます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
39	健診後のフォロー体制づくり(健康増進課)	発達等、心配のある乳幼児への専門的アドバイスと支援に努めます。今後も各乳幼児健康診査・心理相談員による発達等の相談・幼児グループ等 の場でも関係職種と情報共有し、支援を要する対象児に対し、適切な時期につなげていきます。 ・発達・健康・心理相談 ・幼児グループ指導 ・乳幼児ケース検討											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
幼児グループ実施回数		15	22	22	→	→	幼児グループ参加人数		43	40	38	→	→
おやこ相談実施回数		140	118	132	↑	↑	おやこ相談利用数		665	732	869	↑	↑
① 課題解決 に向けた 改善策	・適切な時期に相談を実施し支援につなげられるよう、実施回数を増やさず、相談日の相談時間を 工夫することで、相談枠を増やしました。					② R5年度 の実績	・幼児グループについては、毎回4~10名が参加していました。 ・おやこ相談については、相談枠を増枠し相談件数も増えました。						
③ 「R5年度 の取組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・幼児グループについては、関係職種と情報を共有し、適切な時期に支援 できるよう努めました。 ・おやこ相談については、相談ニーズの高まりがみられ、相談件数が増加 しています。適切な時期に支援ができるよう関係機関との情報共有に 努めました。					④ 今後の課 題	・おやこ相談は、相談ニーズの高まりがみられ、キャンセル待ちの 状況が生じました。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	引き続き、必要に応じて関係機関と連絡をとりながら支援を必要とする児童に対して、適切な時期 に支援を行っていきます。 おやこ相談は、相談につなげるタイミングを見極め、必要な方が必要な時期に受けられるように事 業の見直しをしながら対応します。												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
40	予防接種 (健康増進課)	予防接種による疾病予防の啓発普及に努めるとともに、接種率の向上に努めます。今後も国の動向や感染症の流行状況をみながら、事業を継続してまいります。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
麻しん風しん1期予防接種個別勧奨通知		1/年	1/年	1/年	→	→	接種率(A類:麻しん風しん1期)(%)		92.22	97.0	95.4	95.0	95.0
麻しん風しん2期予防接種個別勧奨通知		2/年	2/年	2/年	→	→	接種率(A類:麻しん風しん2期)(%)		96.75	97.3	96.7	95.0	95.0
① 課題解決 に向けた 改善策	麻しん・風しん混合ワクチンを含め、接種率向上のため、事業を活用した接種勧奨を行い、新型コロナウイルス感染症流行前の接種率を目指しました。					② R5年度 の実績	麻しん・風しん第1期については、1歳6か月児健康診査の個別通知を利用した接種勧奨を行い、接種率の向上に努めました。また、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種に9価ワクチンが追加されたため、対象の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、個別通知等で周知を行いました。その他の定期予防接種についても、個別勧奨等で接種に関する周知を行いました。						
③ 「R5年度 の取組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B 麻しん・風しんワクチンについては風しん抗体検査を含め、安全で適切な実施や接種勧奨に努めることで、接種率は目標値を上回っています。また、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の標準的な接種年齢を迎える方と、キッズアップ対象者へ個別通知を送付することにより、接種率向上に努めました。					④ 今後の課 題	令和6年度に新しく定期接種化されたワクチンや終了となる事業があるため、対象の方が安心して接種できるよう、また、対象期間までに接種が完了するよう周知を徹底する必要があります。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	対象の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、LINE、個別通知等で対象期間や接種方法、副反応が出た場合の相談先について十分な周知を行います。また、医療機関と連携し、安全に予防接種を受けられるよう努めます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供 (子ども家庭課・健康増進課)	【子ども家庭課】産後、親族等の支援が難しい方等を中心に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、利用者の適切な支援計画を作成し、安心して産後の生活ができるよう支援します。 【健康増進課】養育支援が特に必要な家庭に対し、専門職等による訪問を実施し、養育に関する指導・助言・必要なサービスの情報提供等を行うことで、保護者等が適切な養育を行えるよう支援してまいります。今後は支援体制の見直しを関係機関と行い、事業の充実を図ります。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
養育支援訪問実数【健康増進課】		7	6	10	→	→	ヘルパーサービス利用実数【健康増進課】		4	7	13	→	→
養育支援訪問延数【健康増進課】		18	11	15	→	→	ヘルパーサービス利用延べ数【健康増進課】		18	46	185	→	→
① 課題解決 に向けた 改善策	関係機関と連携し、支援の必要性が高い家庭に適切にサービス提供が行えるよう情報提供を行うとともに、利用希望者には支援計画を作成し、安心して子育てができるよう支援します。 【子ども家庭課】 課内や関係部署との検討会やケース会議を実施し、必要なサービスを実施できるよう、関係機関と連携してまいります。また、その様な機会を活用し、個々のケースの支援検討だけでなく、支援体制の整備や連携強化についても検討してまいります。【健康増進課】					② R5年度 の実績	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭について、積極的にサービスの周知や利用を促し、家庭や養育環境を整え、虐待リスクを未然に防ぎました。【子ども家庭課】 乳児全戸家庭訪問の結果や健診、関係機関からの情報等で把握した、支援が必要な家庭について、健康増進課内で検討を行い、必要な家庭に養育支援訪問を実施しました。また、関係機関と連携が必要な場合は随時情報共有し、評価しながら対応や役割を明確にして対応しました。【健康増進課】						
③ 「R5年度 の取組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A 子ども家庭課 当該サービスを利用してもらうことで、家庭や養育環境が整い、安心した生活をして過ごしてもらうことができました。		B 健康増進課 関係機関と連携をしながら支援が必要と判断した家庭に対し、養育支援訪問を実施しました。			④ 今後の課 題	提供しているサービスは食事準備、洗濯、掃除等の家事援助が中心となっています。今後は、育児支援(沐浴等)についても提供できるようにしたい。 【子ども家庭課】 乳幼児の人口増加に伴い、支援が必要な家庭も増加傾向にあります。相談内容も様々であり、引き続き支援を適切なタイミングで提供する必要があります。【健康増進課】						
⑤ 課題解決 のための 改善策	当該事業の目的を理解してもらい、提供できる事業所の開拓をしていきたいと考えています。 【子ども家庭課】 養育支援訪問の適応があっても保護者の利用に繋がらない場合があります。適切なタイミングで必要な支援を展開できるよう、事例検討等を行い、事業への理解を深めていくとともに、研修を通して指導・助言の質の向上、情報の更新に努める必要があります。【健康増進課】												

(2)食育の推進														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標											
42	食に関する講座・体験学習(公民館・健康増進課・保育課)		<p>【公民館】地元で作られる野菜などの食材を活かした食育体験等、地産産業の振興と健康づくりを兼ねた講座の展開に努めます。</p> <p>【健康増進課】生涯にわたり健康の維持増進のための適切な食生活の習慣や技術が身につけられるよう支援を行います。</p> <p>・親子クッキング ・健康づくり推進員の活動の支援 等</p> <p>【保育課】地元で作られる食材を活かした食育体験や保育参観を通じて、保護者に給食を体験する機会を設けます。</p>											
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
ハローベビー(調理実習等)実施回数【健康増進課】			8	12	12	12	12	ハローベビー(調理実習等)参加人数【健康増進課】		66	116	165	→	→
親子クッキング実施回数【健康増進課】			0	1	1	↑	↑	親子クッキング参加人数【健康増進課】		0	16	33	↑	↑
保育所給食参観件数【保育課】			0	0	46	4	4	保育給食参観参加人数【保育課】		0	0	732	300	300
開催回数【公民館】			0	3	4	↑	↑	参加者数【公民館】		0	26	30	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	<p>・新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、食に関する講座を企画し、実施回数を増やしていきます。【公民館】</p> <p>・参加者のニーズに関する情報収集を行い、適切な情報提供をしていきます。【健康増進課】</p> <p>・地元で作られる食材をできるだけ身近に感じることが出来るような媒体を作成し、子どもたちだけでなく保護者にも発信していきます。【保育課】</p>		② R5年度の実績		<p>・開催回数は前年度比+1回となり、それに伴って参加者数も僅少ながら増加しました。【公民館】</p> <p>・親子クッキングを令和4年度に続き実施し、地産地消や調理の楽しさなど食に関する情報提供を行うことができました。【健康増進課】</p> <p>・公立保育所では、新型コロナウイルス感染症により中止していた給食参観を、令和5年度より再開することができました。【保育課】</p>									
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	公民館	B	・開催回数を増やしたため、参加者数は増加しましたが、1回あたりの参加者数は減少しています。		④ 今後の課題	<p>・食に関する知識だけでなく、地元の食材を使った講座等を開催することで、地域の食材の特色などについても学べるような機会を創出します。【公民館】</p> <p>・ハローベビーの調理実習について、新型コロナウイルス感染症対策で中止していましたが、より実践的な情報提供を行えるよう再開に向けて準備をする必要があります。親子クッキングについては参加者数を維持できるよう、引き続きLINEの活用など周知方法や日程について検討していく必要があります。【健康増進課】</p> <p>・給食参観を実施する対象を増やしていくことが課題です。【保育課】</p>								
⑤ 課題解決のための改善策	<p>・開催テーマや目的を講座ごとに分けて設定したうえで、開催回数および参加者数の増加を図ります。【公民館】</p> <p>・ハローベビーについては調理実習を再開し、参加者のニーズに応えられるような講座内容となるようアンケートを実施するなど改善に努めます。【健康増進課】</p> <p>・地元で作られる食材をできるだけ身近に感じることが出来るような媒体を作成し、子どもたちだけでなく保護者にも発信していきます。【保育課】</p>													
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標											
43	食育指導・情報提供(健康増進課・学校教育課・保育課)		<p>【健康増進課】関係機関と連携し、保育所、学校など様々な場や機会を通して、子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組が行えるよう総合的な体制づくりと事業の推進を行います。</p> <p>【学校教育課】子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組を推進します。</p> <p>【保育課】地産地消の観点から、地元の野菜を増やし、食育の推進を図ります。</p>											
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
食育推進会議【健康増進課】			3回/年	3回/年	3回/年	→	→	出席率(%)【健康増進課】		75.8	84.2	71.7	100	100
食育パネル展示【健康増進課】			3会場	3会場	4会場	↑	↑	関係課との連携強化【健康増進課】		→	→	→	→	→
食に関する指導計画の作成(校)【学校教育課】			26	27	27	27	29							
地元の野菜数(米を含む)【保育課】			3	5	6	5	5	地元の野菜を使用した献立の回数【保育課】		281	295	276	340	350
① 課題解決に向けた改善策	<p>・より多くの市民に食育に関心をもってもらえるよう、ホームページの掲載内容や食育パネル展示等、活動内容の見直しを行います。【健康増進課】</p> <p>・地元の野菜や果物について学び、増やしていきます。【保育課】</p>		② R5年度の実績		<p>・予定していた会議を実施し、他課と連携し展示パネルの作成等を行いました。食育のパネル展示については、健康増進課で行った健康イベントの際に展示を行い、展示の機会を増やすことができました。【健康増進課】</p> <p>・児童・生徒が正しい食習慣を身につけることができる指導に努めることができました。【学校教育課】</p> <p>・地元農家から公立保育所に流山産野菜を納品してもらう機会が増えました。【保育課】</p>									
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	健康増進課	B	・食育推進会議を実施し、他課と連携し食に関する情報提供を展示パネルの作成等とおして行うことができました。食育のパネル展示については、健康増進課で行った健康イベントの際に展示を行い、展示の機会を増やすことができました。		④ 今後の課題	<p>・関係課と連携をとり、引き続き取り組むことや、情報提供の機会を増やすよう努める必要があります。【健康増進課】</p> <p>・全国的な朝食を欠食する児童生徒の増加が問題となっており、正しい食習慣の指導・啓発が必要です。【学校教育課】</p> <p>・新たに公立保育所に流山産の野菜や果物を納品してくれる農家を探すことが難しい状況です。【保育課】</p>								
⑤ 課題解決のための改善策	<p>・食育推進会議において意見を出し合い活動内容を検討していきます。また、より多くの市民に情報提供できるよう、食育展示パネルを掲示する機会を増やしたり、情報提供の方法について検討していきます。【健康増進課】</p> <p>・朝食を食べる習慣の確立とバランスのいい食習慣を身につけることの大切さについて指導計画をたて、より一層の指導啓発に努めています。【学校教育課】</p> <p>・地元の野菜や果物について学び、増やしていきます。【保育課】</p>													

番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
44	乳幼児の食生活指導 (健康増進課)		乳幼児が適切な食習慣を身につけるとともに、むし歯を予防するため、保護者を対象にして、離乳食の進め方や、調理実習、歯磨きの指導などを行い、生涯にわたる健康な身体を基礎をつくるための正しい情報提供を行います。 ・もぐもぐ教室(離乳食初期) ・カムカムキッズ(離乳食後期) ・むし歯予防教室 ・乳幼児健診の場を通じた情報提供												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
もぐもぐ教室(離乳食初期)実施回数			28	39	39	39	39	もぐもぐ教室(離乳食初期)参加人数			770	1,074	1,265	→	→
カムカムキッズ(離乳食後期)実施回数			14	24	24	24	24	カムカムキッズ(離乳食後期)参加人数			256	500	601	→	→
① 課題解決に向けた改善策	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことに伴い、位置づけの変更に伴い、試食を再開します。また、より多くの方に正しい情報提供をし、適切な支援をしていきます。申込方法は、申し込みしやすい電子申請等の方法を検討していきます。					② R5年度の実績	・年度の途中からではありませんでしたが、試食を再開し、情報提供することができました。また申込方法についても電子申請を取り入れました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		・試食を再開し、より理解しやすく情報提供を行うことができました。申し込み方法に電子申請を導入したことにより、利用者のサービス向上につながったと考えます。					④ 今後の課題	・参加者のニーズの把握に努めたり、参加や理解がしやすい支援内容となるよう努める必要があります。						
⑤ 課題解決のための改善策	・アンケートなど利用者のニーズの把握に努め、より充実した健康教育となるよう実施内容について検討していきます。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
45	栄養相談・栄養指導 (健康増進課・保育課)		【健康増進課】各事業を通し、乳幼児健診や乳幼児相談において、栄養士による相談及び乳幼児の家庭での食事を通した生涯にわたる健康づくりの支援を行います。 【保育課】アレルギー等の乳幼児に対し、個別相談を行い、適切な給食を提供するなど、事業の継続に努めます。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
各種乳幼児健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)、フォローアップ相談実施回数【健康増進課】			77	84	127	→	→	各種乳幼児健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)、フォローアップ相談栄養相談回数【健康増進課】			2,159	2,250	2,212	↑	↑
個別相談人数【保育課】			10	17	11	→	→	適切な給食の提供【保育課】			100%	100%	100%	100%	100%
① 課題解決に向けた改善策	・電話相談ができる体制を整備し、保護者の不安やニーズの把握に努め、情報提供の方法等、検討していきます。保健師と情報共有をし、連携していきます。【健康増進課】 ・適切な給食の提供ができるように、様々な職種と連携しています。【保育課】					② R5年度の実績	・電話相談や来所相談について、保健師等と連携し実施することができました。【健康増進課】 ・食物アレルギー児等に個別面談を行い、安心安全な給食の提供を行いました。【保育課】								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	健康増進課	B	・予約制ではない来所相談の機会を設けたことにより、相談実施回数が増加しました。保護者の不安の軽減を図ることができました。					④ 今後の課題	・保護者の不安やニーズの把握に努め、情報提供の方法等について、引き続き検討する必要があります。【健康増進課】 ・既に食物アレルギー面談済の児童に対しても、再度個別相談を行い、適切な給食の提供ができるようにしていきます。【保育課】						
	保育課	B	・食物アレルギー児等に個別面談を行い、安心安全な給食の提供を行いました。												
⑤ 課題解決のための改善策	・保護者の不安を軽減できるよう、他職種と連携し、情報提供に努めます。【健康増進課】 ・適切な給食の提供ができるように、様々な職種と連携しています。【保育課】														

(3) 思春期保健対策の充実														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標											
46	思春期相談体制の充実 (子ども家庭課・文化芸術・生涯学習課・指導課・学校教育課・健康増進課)		<p>【子ども家庭課】学童期、思春期等の相談に様々な角度で対応できるよう、関係機関と連携を図りながら、引き続き、相談体制を強化してまいります。</p> <p>【文化芸術・生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】子ども専用ホットラインの電話相談やいじめ報告・相談アプリの導入により、今後も継続して相談体制の充実に努めます。</p> <p>【学校教育課】松戸健康福祉センターなど、関係機関との連携を高め、思春期相談活動の充実に努めます。</p> <p>【健康増進課】学童期、思春期における悩みや性の問題に関し、松戸健康福祉センター(保健所)、学校保健との連携を強化し、相談しやすい体制づくりに努めます。</p>											
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
相談件数(件)【文化芸術・生涯学習課】			57	55	61	—	—							
保健士部会参加回数【健康増進課】			1/年	2/年	1/年	→	→	市民からの相談対応の有無【健康増進課】		有り	有り	有り	有り	有り
電話相談・アプリ相談件数【指導課】			電話14件 アプリ24件	電話17件 アプリ50件	電話15件 アプリ62件	→	→	相談アプリ登録率【指導課】		7.2%	2.4%	4.3%	↑	↑
松戸保健所による思春期講演会の実施【学校教育課】			1	1	1	→	→							
① 課題解決に向けた改善策			<p>各種研修に参加し相談スキルの向上を目指すと共に、必要に応じてスクールカウンセラーや医療機関等関係機関と連携し、学童期や思春期の悩みに対応してまいります。【子ども家庭課】関係諸機関との情報共有を密にし、継続的な支援を目指します。また、相談室だより「はなみずき」や青少年指導センターだよりなどで、相談窓口の更なる周知に努めます。【文化芸術・生涯学習課】市内各小中学校で実施しているいじめ防止授業において、相談先の周知を行っています。【指導課】今後も学校保健と地域における母子保健の課題と現状とを共有し、講義内容を検討します。【健康増進課】</p>				② R5年度の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・各部署の相談窓口、児童相談所、警察、学校等関係機関との連携の強化を図りました。また、要保護児童対策地域協議会の機能や役割の継続的な周知に努めました。【子ども家庭課】 ・平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設しました。これに加え、令和5年度は平日の時間外に計6回、特別相談窓口を開設しました。【文化芸術・生涯学習課】 ・流山小中学生専用なやみホットラインは15件、相談アプリは62件の利用がありました。【指導課】 ・松戸保健所保健師を養護教諭部会に招致し、思春期の児童生徒における諸課題について講演いただきました。【学校教育課】 ・学校からの依頼に基づき、性教育を行いました。生徒の実情や理解度に合わせた講義内容になるよう打ち合わせを行い、内容を検討しました。【健康増進課】 					
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由			子ども家庭課	A	・要保護児童対策地域協議会の代表者会議を1回、実務者会議を12回、個別支援会議を50回開催するなど、関係機関等との情報の共有や実態の把握の充実を図り、児童虐待の早期発見及び適切な支援の推進に努めました。				④ 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会の機能や役割に関する周知が不十分で、関係機関との連携に時間を要するケースがあります。【子ども家庭課】 ・より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じた窓口を適切に案内できるよう、青少年専門相談員の相談力を向上させる必要があります。【文化芸術・生涯学習課】 ・相談先の周知に努めていく必要があります。また、悩みや困りごとを抱える児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるとともに、適切な支援に繋がるよう、関係部局・関係機関との連携を一層強化していく必要があります。【指導課】 ・思春期児童生徒の相談内容は多様化しており、関係機関との連携が不可欠な状況です。【学校教育課】 ・学校と連携し、学校と母子保健の課題を照らし合わせながら、その年代に応じた思春期教育を実施していく必要があります。【健康増進課】 				
			文化芸術・生涯学習課	B	・平日の時間外に計6回、特別相談窓口を開設しましたが、大幅な相談件数の増加には結びつきませんでした。									
			指導課	A	・流山小中学生専用なやみホットライン周知のため、連絡先が記載されたカード等を市内全小中学生に配布するとともに、中学生への相談アプリを提供し、悩みの早期発見と早期対応に努めました。									
			学校教育課	B	・松戸保健所との連携を通じ、思春期相談活動体制の充実を図ることができました。									
			健康増進課	B	・学校からの依頼に基づき、生徒の実情に合わせた性教育を実施しました。また、随時思春期の相談に応じ、学校や保健所と課題を共有しました。									
⑤ 課題解決のための改善策			<p>関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の活動の周知を図るなど、更なる関係機関との連携強化を図ります。【子ども家庭課】</p> <p>・スキットメールの活用やポスターを作成し、相談室の周知に努めます。また、県や関係機関が開催する研修会へ積極的に参加し、青少年専門相談員の相談力の向上に努めます。【文化芸術・生涯学習課】</p> <p>・引き続き、流山小中学生専用なやみホットラインや相談アプリの周知に努め、幅広く相談を受け止めるとともに、個々の相談の内容に応じて教育委員会内の各専門職の知見を活かしながら子どもたちが抱える悩みや困りごとの解決に向け支援してまいります。【指導課】</p> <p>・松戸保健所をはじめとする関係機関との連携をより一層強化し、思春期児童生徒の多様な相談に対応してまいります。【学校教育課】</p> <p>・引き続き、随時思春期の相談に応じ、学校や保健所と現状と課題を共有し、性教育の講義内容の検討、思春期相談への対応を行ってまいります。【健康増進課】</p>											

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										
47	学校保健と地域保健の連携強化(学校教育課・健康増進課)	【学校教育課】関係機関との連携を高め、保健指導の充実に努めます。 【健康増進課】学校保健と地域保健のそれぞれの情報の共有化を行いながら、学校保健と地域保健との連携を図っていきます。										
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
学校保健主事部会での健康増進課保健師による指導助言【学校教育課】		2	2	2	→	→						
市内学校での健康教育の有無【健康増進課】		有り	有り	有り	→	→	性教育実施回数【健康増進課】	2	2	2	→	→
①課題解決に向けた改善策	保健主事部会での研修内容を充実させ、教職員の専門性を高める。【学校教育課】学校保健主事部会に参加し、学童期、思春期における悩みや性的問題等、学校保健の思春期における課題を把握し、共有しました。【健康増進課】					②R5年度の実績	保健主事部会における健康増進課保健師との連携を通じ、保健指導の充実に努めることができました。【学校教育課】 ・学校保健主事部会に保健師が参加し、学校における保健の現状や課題を把握し、地域保健や母子保健の取り組みを共有しました。また、学校より依頼を受け、性教育の講義を実施しました。【健康増進課】					
③「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	学校教育課	B	健康増進課等との連携を通じ、学校保健体制の充実に努めることができました。			④今後の課題	学校保健をめぐる諸課題に対処するため、関係機関等とのより一層の連携強化が必要となっています。【学校教育課】 ・学校保健の現状や課題を把握、共有し、母子保健と学校保健、地域保健の課題を照らし合わせながら、各々の事業に反映させていく必要があります。【健康増進課】					
	健康増進課	B	学校保健主事部会に参加し、学校における保健の現状や課題を把握し、解決策や取り組みの方向について共有できました。									
⑤課題解決のための改善策	健康増進課との更なる連携等を通じ、保健主事部会での研修内容の充実させ、教職員の専門性を高めていきます。【学校教育課】 引き続き学校保健主事部会等に参加し、学校保健と地域保健のそれぞれの情報共有を行いながら、連携を強め、事業内容の充実を図ります。【健康増進課】											
(4)小児救急医療の充実												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										
48	救急医療体制の充実(健康増進課)	平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急による初期診療・応急処置(第1次救急)を継続するとともに、こども急病電話相談などの周知を図り、夜間・休日における小児の急病の際にも安心できる体制を確保していきます。										
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
利用者数		2,317	2,752	5,002	→	→						
①課題解決に向けた改善策	流山市平日夜間・休日診療所については、流山市医師会等と緊密な連携を図り、新型コロナウイルス感染症流行期においても必要な1次救急が提供されるよう取り組みました。					②R5年度の実績	平日夜間・休日診療所に発熱外来用のプレハブを設置するなど、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も感染対策と医療体制の維持に努めました。					
③「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、増加する発熱患者等への対応として、平日夜間・休日診療所の施設整備に努めました。			④今後の課題	令和6年4月から医師の働き方改革が開始したことにより、医療体制への影響が見込まれることから、本市の今ある医療資源を守る必要があります。						
⑤課題解決のための改善策	医師会等と緊密な連携を図り、状況の把握と共有を行い、限られた医療資源を守るため、上手な医療のかかり方等について、市民へ周知啓発を行います。											

基本目標3 子どもが健やかに成長できる環境づくり																	
(1)子どもの人権の擁護																	
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標														
49	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発 (子ども家庭課・指導課・障害者支援課・健康増進課)		<p>【子ども家庭課】児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため、児童の権利に関する理念の普及、啓発に努めます。</p> <p>【指導課】人権週間等で意識を高めるだけでなく、子どもの権利や人権意識の定着のため今後も周知・啓発に努めます。また、流山市いじめ防止対策推進条例及び流山市いじめ防止基本方針を踏まえ、こどもたちがいじめに対する考え方を身に付けられるように、スクールロイヤー等による「自他ともに人権を守る大切さ」をテーマに『いじめ防止授業』を実施します。</p> <p>【障害者支援課】関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。</p> <p>【健康増進課】子どもの権利条約について、条約の主要な条文をイラストなどとともにわかりやすく記載したリーフレットを母子健康手帳とともに交付し周知に努めます。</p>														
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標		
権利擁護に関する普及啓発【指導課】			↑	↑	↑	↑	↑	関係課との連携強化【指導課】			↑	↑	↑	↑	↑		
スクールロイヤーのいじめ防止授業(校)【指導課】			26	27	27	27	29	いじめ防止授業実施数【指導課】			26	27	27	27	29		
権利擁護に関する普及啓発【障害者支援課】			→	→	→	↑	↑	関係課との連携強化【障害者支援課】			→	→	→	↑	↑		
① 課題解決 に向けた 改善策	<p>・スクールロイヤーによるいじめ防止授業実施学年以外のいじめ防止授業資料を考案し、各学校で実施できるように調整中です。【指導課】</p> <p>・児童本人及び保護者への相談対応を行う中で、児童の権利に関する意識の啓発・周知を図ります。【子ども家庭課】</p> <p>・母子健康手帳やリーフレットを通じて子どもの権利条約や児童憲章について妊娠期からの周知啓発に努めます。【健康増進課】</p>					② R5年度 の実績	<p>・流山市子育てネット主催の「流山市に子どもの権利条約を広めるプロジェクト」のイベントについて、後援を行いました。また、初めて、こどもの意見を直接聴取することも会議を開催しました。【子ども家庭課】</p> <p>・市内小中学校27校全校において、いじめ防止授業を実施しました。【指導課】</p> <p>・令和4年度に引き続き、個別の相談支援を行う中で、関係課等と連携し、子どもの権利擁護を意識した支援を行いました。【障害者支援課】</p> <p>・子どもの権利条約についてわかりやすく書かれたリーフレットを、母子健康手帳交付の際にお渡ししています。また、児童憲章の掲載がある母子健康手帳を交付しています。【健康増進課】</p>										
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	子ども家庭課	B	<p>・流山市子育てネット主催の「流山市に子どもの権利条約を広めるプロジェクト」に職員自ら参加し、啓発のための準備をすることができました。また、初めて、こども会議を開催することができました。</p>					④ 今後の課 題	<p>・(仮称)流山市こども計画において、「こども基本法」にも規定されている4つの一般原則を基本理念の中にとり位置付けて、各般の子ども・子育て施策の共通理念として反映させていく必要があります。また、計画を策定する中で、子どもの権利についての認識を深め、こどもが一人の人間であることを大人が理解し、施策にも反映させるプロセスを踏んでいくことが重要です。【子ども家庭課】</p> <p>・中学校1年生に対しては、スクールロイヤーによるいじめ防止授業のほか、相談アプリ提供事業者によるいじめ脱傍観者授業を実施している一方で、2年生及び3年生に対して、いじめ防止授業が実施できていないことが課題です。【指導課】</p> <p>・こどもの権利擁護に関する周知啓発を行う必要があります。【障害者支援課】</p> <p>・引き続き、こどもの権利条約・児童憲章の周知、啓発が必要です。【健康増進課】</p>								
指導課	A	<p>・市内小中学校27校の小中学校5年生、中学校1年生を対象にスクールロイヤーによるいじめ防止授業を実施しました。また小学校5年生以外の小学生については、教育委員会で作成した資料及び指導案をもとに、各学校において、いじめ防止授業を実施しました。</p>															
障害者支援課	B	<p>・個別の相談支援を行う中で、関係課等と連携し、こどもの権利擁護を意識した支援を行いました。</p>															
健康増進課	B	<p>・母子健康手帳やリーフレットを通じ、妊娠期からこどもの権利に関する周知をすることができました。</p>															
⑤ 課題解決 のための 改善策	<p>・(仮称)流山市こども計画の策定過程において、こどもや子育て当事者、よりきめ細やかな支援を必要とする若者の声などを十分に聴き、それを踏まえて、計画に反映させていきます。また、(仮称)流山市こども計画の実効性を高め、「こども基本法」に4つの一般原則を具現化していくため、他の自治体の事例なども参考にしながら、子どもの権利保障の具体化に向けて取り組んでいきます。【子ども家庭課】</p> <p>・全ての学年でのいじめ防止授業を実施できるように、調整していく必要があります。【指導課】</p> <p>・関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。【障害者支援課】</p> <p>・児童憲章が掲載されている母子健康手帳の交付を行います。また、子どもの権利条約に関するリーフレットを引き続き交付し、周知啓発を行います。【健康増進課】</p>																
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標														
50	指導者の育成 (指導課)		教職員・保護者等の人権意識の高揚を図るため、人権に関する研修を更に推進し、指導者の育成に積極的に努めます。														
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標		
人権教育、道徳教育に係る研修会への参加や情報発信を促す			35	35	35	→	→	道徳教育推進研修会実施回数			1	1	1	→	→		
① 課題解決 に向けた 改善策	<p>・教職員の研修会の中で、児童生徒への授業方法や、各学校での取り組みを具体的に示していきます。また、学校だより等で、人権教育に関する話題を提示するように周知していきます。</p>					② R5年度 の実績	<p>・道徳教育推進教師を対象とした研修会を実施することができました。また、人権擁護委員協議会流山支部による人権講演会を中学校にて1校開催し、人権教室を小学校2校で開催しました。</p>										
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A	<p>・市内小中学校に在籍する教職員に対して人権教育研修会を実施し、道徳教育の重要性について啓発、普及することができました。また、児童生徒を対象とした人権講演会や人権教室を実施しました。</p>					④ 今後の課 題	<p>・研修によって、教職員の人権意識を高めることはできましたが、そのことを人権教育として児童生徒にどのように伝えていくか、具体的な方法を提示することが課題です。また保護者の人権意識を高める工夫についても考える必要があります。</p>									
⑤ 課題解決 のための 改善策	<p>・教職員の研修会の中で、児童生徒への授業方法や、各学校での取り組みをより具体的に示していきます。また学校だより等で、人権教育に関する話題を提示するように周知していきます。</p>																

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★51	相談・カウンセリング (子ども家庭課・文化芸術・生涯学習課・指導課)	<p>【子ども家庭課】児童・生徒・保護者がいるいろいろな問題について気軽に相談できるよう、相談事業の充実を図るとともに、必要であれば、カウンセリングが受けられるよう、関係機関との連携を強化します。 子ども家庭課に心理士を配置し、カウンセリング等には至らないが心理的な側面からの相談にも対応できるようにします。</p> <p>【文化芸術・生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】スクールカウンセラーを配置し、支援・相談体制の充実を図ります。</p>											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
相談件数(件)【文化芸術・生涯学習課】		57	55	61	—	—							
相談対応件数(延べ)【子ども家庭課】		18,366	26,906	27,875	—	—							
相談件数【指導課】		2,034	1,902	2,294	→	→	教育支援センター活用人数(見学・体験含む延べ人数)【指導課】		52	86	100	→	→
① 課題解決に向けた改善策	関係諸機関との情報共有を密にし、継続的な支援を目指します。また、相談室だより「はなみずき」や青少年指導センターだよりなどで、相談窓口の更なる周知に努めます。【文化芸術・生涯学習課】保護者や児童生徒の話を丁寧に聞いた上で、スクールソーシャルワーカー等関係機関との連携を強めながら、支援方法の検討を進めていきます。【指導課】					② R5年度の実績 ・子育ての悩みや児童虐待などに関する相談に適切に対応できるよう相談対応職員のスキルアップを図ると共に、状況に応じてより専門的な機関と連携し対応しました。【子ども家庭課】 ・平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設しました。これに加え、令和5年度は平日の時間外に計6回、特別相談窓口を開設しました。【文化芸術・生涯学習課】 ・スクールカウンセラーを1名増員するとともに、勤務時間を増やすことにより相談体制の強化を図りました。相談件数は、前年比+347件でした。【指導課】							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	A	児童・生徒・保護者の多様化する問題について教育委員会等とも連携し、必要に応じて子ども家庭課の心理士を派遣するなど柔軟に対応しました。			④ 今後の課題 ・児童や保護者の家庭背景や課題が複雑多岐にわたるため、個々の状況に即した相談対応が必要です。また、関係機関等と連携を図りながら子ども虐待の発生を未然に防止することが重要です。【子ども家庭課】 ・より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じた窓口を適切に案内できるよう、青少年専門相談員の相談力を向上させる必要があります。【文化芸術・生涯学習課】 ・相談者のかかえるなやみが好転するためには、学校や関係機関との連携が重要であり、カウンセリングの内容をより正確に支援機関に伝える必要があります。【指導課】							
	文化芸術・生涯学習課	B	平日の時間外に計6回、特別相談窓口を開設しましたが、大幅な相談件数の増加には結び付きませんでした。										
	指導課	A	相談窓口が記載されているパンフレット等を定期的に発行することに加え、スキットメールを利用し全家庭に窓口の周知を図りました。また初回の電話予約から1回目の相談までの期間をできる限り短くし、迅速に対応するようにしました。										
⑤ 課題解決のための改善策	今後も児童・生徒・保護者の多様化する問題について関係機関と連携し、必要に応じて子ども家庭課の心理士を派遣するなど柔軟に対応します。【子ども家庭課】スキットメールの活用やポスターを作成し、相談室の周知に努めます。また、県や関係機関が開催する研修会へ積極的に参加し、青少年専門相談員の相談力の向上に努めます。【文化芸術・生涯学習課】心理の面からアセスメントしたことを家庭と教育委員会だけでなく、学校をはじめとした支援機関も周知できるよう、相談の趣旨や助言内容を迅速かつ正確に支援機関に伝えていきます。また教育相談の意義やスクールカウンセラーの役割について、教職員の理解が深まるよう、年3回の研修会で教職員に指導してまいります。【指導課】												
(2)次代の親の育成													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
52	小・中学生職場体験学習(指導課)	「職場体験学習」として、乳幼児と小・中学生がふれあう機会を得られる体験先を設けます。今後も継続して受け入れを依頼していきます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
体験学習先として提供された幼稚園及び保育園の数		0	20	25	→	→	体験学習を含めたキャリア学習を通して満足感を得た児童生徒の割合(%)		70	70	70	→	→
① 課題解決に向けた改善策	健康観察はもちろんのこと、学級内や園内で感染が発生した場合には、体験を中止にします。そのための連絡を密にすることが大切だと考えています。					② R5年度の実績 ・中学校7校が、職場体験を行いました。幼稚園や保育園の園児とのふれあいが非常に貴重な体験となりました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A	学校と事業所で連絡調整をして、充実した職場体験を実施することができました。			④ 今後の課題 ・教員や児童生徒の事業所とのやりとりの難しさ(時間との制約も含む)や児童生徒や乳幼児の安全面の確保が課題です。								
⑤ 課題解決のための改善策	乳幼児、児童生徒の安全面を確保し、体験内容を精査しながら実施に向けて取り組んでいきます。												

(3)教育環境の充実															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
53	保育士研修 (保育課)		保育に関する新しい課題に応じた保育内容や保育手法に関する研修や勉強会を実施し、保育士の資質向上に努めます。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
① 課題解決 に向けた 改善策	様々な手段で研修に参加できる機会を増やします。					② R5年度 の実績	オンラインのみでなく対面研修にも参加することが出来ました。								
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A		各ステージに見合った研修に参加することが出来ました。			④ 今後の課 題	職員が多くいる中で、研修を受ける機会を確保することです。								
⑤ 課題解決 のための 改善策	オンライン研修などを活用し、一度に複数の職員が受けられるような研修を検討します。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
54	子育て支援員研修 (子ども家庭課)		地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得していただくために、研修を実施します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
子育て支援員研修受講者数			44	47	33	↑	↑								
① 課題解決 に向けた 改善策	子育て支援員研修について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。					② R5年度 の実績	子育て支援員研修を実施し、地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得する機会を提供しました。								
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B		子育て支援員研修を実施し、地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得する機会を提供しました。			④ 今後の課 題	引き続き、子育て支援員研修の参加者を増やす必要があります。また、支援員研修のコース内容について、検討を進めていきます。								
⑤ 課題解決 のための 改善策	子育て支援員研修について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
★55	幼児教育に関する研究・研修 (指導課)		質の高い幼児教育が望まれているため、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行われるよう、その研究・研修活動の支援の一層の充実を図ります。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
保幼小関連研究会回数			3	3	3	3	3	研究会参加人数(延べ人数)			214	276	302	→	→
① 課題解決 に向けた 改善策	令和5年度は「幼保小の接続と動きの工夫」をテーマに研修会を実施し、発達段階に応じた運動の位置づけや多様な動きにつながるような遊びの事例について、研修を深めていきます。					② R5年度 の実績	令和5年度には、幼稚園・保育所(園)・小学校の教職員、のべ302名が参加し、幼児教育・保育と学校教育の相互理解を深めることができました。また、小グループを構成し、グループ協議を行うことで、教職員の連携の基盤をつくることができました。								
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B		市内の幼児教育・保育施設、小学校が、公私の枠組みを超えて、ともに研修する機会を提供することができました。しかし、本研修の内容を踏まえ、それぞれの園や学校で、どのように生かされているのか、実感を把握するには至っていません。			④ 今後の課 題	市内には多くの幼児期養育・保育施設があり、それぞれの経験が異なります。そのため、幼児教育・保育から小学校教育へ円滑に移行するために、架け橋期のカリキュラムの作成に、園や学校が取り組んでいく必要があります。								
⑤ 課題解決 のための 改善策	市内の幼稚園・保育所(園)・小学校が協働し、架け橋期の実践について見直すために、今後、市として「架け橋期カリキュラム作成の手引き」を作成し、市内の幼児教育・保育施設、小学校に対して、架け橋期カリキュラムの必要性について発信・啓発していきます。														

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
56	心の教育(指導課)	「特別の教育 道徳」の時間を「要」として、学校の教育活動全体を通して道徳教育が進められるよう「道徳教育推進研修会」等、学びの機会を広げていきます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
「特別の教科 道徳」の研究授業を実施させ、実践を積ませる		→	→	→	→	→	道徳教育推進研修会開催		—	1	1	→	→
① 課題解決に向けた改善策	今年度は人権教育に関する研修会を夏季休業中に実施します。教職員の人権意識を高め、道徳の授業に生かせるようにします。					② R5年度の実績	道徳教育、人権教育と、隔年で研修を実施しています。令和5年度は、人権教育推進研究会を夏季休業中に実施することができました。多文化共生社会を目指す教育支援について市内教職員が深く学ぶことができました。						
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A 道徳教育推進教師を中心として研修会を実施し、人権思想の普及高揚に努めました。					④ 今後の課題	児童生徒の悩みは多岐にわたっているため、学校における道徳の授業が一層重要になっています。そのため、より深く考え、議論する道徳の授業の実践に向けて、更に深い学びとなる研修内容になるよう工夫することが急務です。また、文科省指定の人権教育推進校の研究や、福祉教育推進校による実践について、広く市内小中学校に発信、共有することも課題として挙げられます。						
⑤ 課題解決のための改善策	人権教育に関する研修会を実施するほか、先進的な取組を行う学校の実践を広く周知し、道徳教育や人権教育を推進するための様々な情報を発信していきます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
57	環境教育(指導課)	学校周辺の自然や、校内に設置されたビオトープを利用して、社会・理科・総合的な学習の時間における環境教育の推進を行います。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
環境教育を取り入れている学校数		26	27	27	27	29	研修会への参加		26	27	27	27	29
① 課題解決に向けた改善策	各教科を越えて、SDGsの取組が進められています。身近にできることを増やしていくことももちろん、中学生では、地球規模で参加できることを総合的な学習の時間を通して、学び深めていきます。					② R5年度の実績	理科では、ビオトープ周辺の植物の観察や、生活科での身の回りの生き物を見つけることができました。中学校の理科、技術、総合的な学習の時間では、SDGsに関する取り組みについて、生徒が調べ、まとめ、発表するなど主体的な活動を行いました。						
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A 各学校内だけでなく、地域と連携して、環境教育を進めることができました。ビオトープ周辺の植物の観察や生活科での身の回りの生き物を見つけること、SDGsに関する学習で、より環境への意識を高めることができました。					④ 今後の課題	どうやって自然と共生していくかという意識を持たせることや、身近なところから環境を守るという行動にどう結び付けるかが課題です。						
⑤ 課題解決のための改善策	自然や環境について学んだことを共有し、さらに新聞・レポート作成、プレゼンテーション等を行い、主体的に発信することの大切さを気づかせるような教育を行います。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
58	国際社会への対応(指導課)	新学習指導要領の改訂による、外国語の教科化や外国語活動の導入に伴い、学級担任を主としたティームティーチングによる授業作りを推進するために全小学校に外国語指導助手と英語活動指導員を配置します。また、外国籍の児童生徒が増加傾向にあります。日本語での日常会話が多い児童生徒への日本語指導を今後も継続して実施します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
教師の外国語指導力向上に取り組む		↑	↑	↑	↑	↑	小学校ALTの人数		11	11	11	11	12
							英語活動指導員及び小学校ALT研修会回数		2	2	2	2	2
① 課題解決に向けた改善策	小学校外国語及び外国語活動の指導にあたり、学級担任の不安を払拭するため、授業の流れや、授業で使用する英語表現について研修を行います。日本語指導については、指導の要望があった際に、スムーズに指導者の派遣に繋がれるよう努めます。					② R5年度の実績	ALTスーパーバイザーが各校を訪問し、授業の流れの統一や指導内容の質の向上に努め、入門期の児童が意欲的に取り組める授業づくりを行いました。日本語指導については、学校からの要望があった際に、派遣元と連携し、スムーズに指導者を派遣することができました。						
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A ALTスーパーバイザーの派遣や研修の実施により、小学校外国語の授業の流れが統一されつつあります。日本語指導については、派遣要件数は前年度より減少したものの、スムーズに指導者を派遣することができました。					④ 今後の課題	児童が授業をとおしてより多くの英語に触れられるよう、ALTや英語活動指導員が学級担任と連携して効果的なティームティーチングを行う必要があります。日本語指導については、希望者の増加にスムーズに対応していくことです。						
⑤ 課題解決のための改善策	学校訪問や研修会をとおして日常的な授業づくりへのアドバイスを行い、ALTや英語活動指導員のスキルアップを図ります。												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
59	情報化社会への対応(指導課)	今後予想されるICTの進展に対応するため、新しい機器の調査研究に努め、更なる環境の充実に努めます。また同時にネットモラルに係わる指導も適切に行います。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		1	1	1	1	1	学校及び家庭での端末利用率(%)		100	100	100	→	→
①課題解決に向けた改善策	情報活用能力の向上や、情報モラルを高めるために、教職員に対する研修を行ったり、情報モラル教育のカリキュラム作成を進めています。					②R5年度の実績	情報活用能力向上に向けて、ICT教育推進リーダーを対象に年間3回の研修を実施し各校で実践内容共有やディスカッションを行いました。						
③「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・市で導入している学習支援ソフトは、県内でも最上位の活用率となっています。情報モラル教育においては、個人に付与されているアカウント情報の管理について、不十分なところがあったので、再度指導することで意識を高めていきます。					④今後の課題	情報活用能力について、系統的な指導をしていくとともに、デジタル・シティズンシップ教育を推進していく必要があります。						
⑤課題解決のための改善策	市で情報活用能力育成指標の作成を進め、系統的な指導ができるようにしていきます。合わせて、デジタル・シティズンシップ教育の目的等について周知していきます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★60	特別支援教育(指導課)	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を一層伸ばせるよう、交流教育を積極的に進めます。また、市のカウンセラーや関係機関と連携しながら障害の程度や本人・保護者の願いに沿った就学相談を行い、フォローをしっかりと進めます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
就学相談件数		413	401	403	→	→	面談を重ね、本人・保護者の願いに沿った就学支援につなげた割合(%)		100	100	100	→	→
①課題解決に向けた改善策	令和4年度より始めた流山市就学説明会は、令和5年度は昨年を上回る人数の出席がありました。就学相談を希望している保護者の把握及びスムーズな就学相談を進めます。					②R5年度の実績	流山市就学説明会について、広報ながれやま市ホームページに掲載しました。説明会を2回実施し、昨年を上回る出席がありました。保護者の願いに沿った就学相談を行えるよう、カウンセラーとの連携を図りながら進めることができました。						
③「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A ・障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばせるよう教育環境の充実に努めました。より良い就学相談の在り方を目指して業務内容について見直しを図ってきました。					④今後の課題	障害のある児童生徒に対して、個に応じた教育課程を編成していきます。カウンセラーや関係機関との連携を深め、より適切な就学相談を目指します。						
⑤課題解決のための改善策	流山市就学説明会について広報ながれやまへ掲載したり、小学校6年生の保護者対象にスクリーンメールを配信したりしました。また、幼稚園等においてもお知らせを配布したことで、昨年より出席人数が増加しました。就学相談を希望している保護者へのスムーズな就学相談を行っていくことが課題です。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
61	世代間交流(高齢者支援課・保育課)	【高齢者支援課】地区社会福祉協議会、高齢者ふれあいの家等地域において、高齢者と子どもたちとの交流の場の拡大を図ります。世代間交流を通じて、子どもが高齢者と触れ合うことにより、高齢者の生きがいの創出及び子どもの「高齢者を大切する気持ち」「人のことを思いやる気持ち」を育みます。 【保育課】核家族化が進む中、世代間交流及び地域交流を行うことにより、世代間の隔たりをなくし、子育ての良き理解者を増やすことに努めます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
地区敬老行事参加者【高齢者支援課】		9,715	16,659	集計中	11,000	12,000	ふれあいの家での高齢者と子ども達の交流(延実施か所)【高齢者支援課】		61	69	72	70	70
①課題解決に向けた改善策	流山市ボランティアセンター等と協力し、活動を実施する人員の確保に努めます。【高齢者支援課】					②R5年度の実績	ふれあいの家では、4か所のふれあいの家が新規開設されました。地区社会福祉協議会では、全17団体が見守り等の福祉活動を行いました。【高齢者支援課】 ・地域の高齢者の方とふれあう機会がありました。【保育課】						
③「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A 高齢者支援課		ボランティアセンターが主催している生活支援サービス従事者研修等にて、ふれあいの家について説明し活動を実施する人員の確保に努めました。			④今後の課題	地域ごとに活動頻度や参加人数等に差が生じていることから、高齢者ふれあいの家の活動について多くの方に参加していただけるよう周知が必要です。【高齢者支援課】 ・継続的に交流する機会を設けることです。【保育課】						
	A 保育課		昔遊びの会が開催され、高齢者の方と交流することが出来ました。										
⑤課題解決のための改善策	広報の掲載やポスター等を作成し世代間交流の場の周知拡大を図ります。【高齢者支援課】 ・日頃から地域活動に目を向け交流の機会を捉えていきます。【保育課】												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
62	体験学習の推進 (指導課・公民館・博物館)	<p>【指導課】数多くの体験学習の場を設定し、児童生徒の感性を磨き、情操面を養うことに努めます。</p> <p>【公民館】高校や大学、NPO法人など地域の教育資源を活かし、親子や家族で、達成感が得られるような体験学習の場の創出に努めます。</p> <p>【博物館】博物館子ども教室の内容を充実させて、継続していきます。外部団体等とも協働して、子ども向けの事業を展開していきます。</p>											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
体験学習事業所数【指導課】		175	175	175	176	176	体験学習を含めたキャリア学習を通して満足感を得た児童生徒の割合(%) 【指導課】		70	70	70	→	→
博物館子ども教室【博物館】		174	284	243	↑	↑							
開催回数【公民館】		4	9	9	↑	↑	延べ参加者数【公民館】		64	125	163	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援コーディネーターの尽力により、地域の体験先事業所を新たに開拓していきます。【指導課】 チラシ等を活用し、対象となる親子や家族に講座の情報提供を行っていきます。【公民館】 電話申し込みからネットでの電子申請を導入し、参加申し込みの公平性を図ります。【博物館】 					② R5年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内中学校7校が職場体験を行うことができました。また小学生は地域の方々とのつながりで体験学習を行うことができました。【指導課】 前年度と同じ開催回数となりましたが、有効な情報提供が奏功し、延べ参加者数は前年度比+38名となりました。【公民館】 電子申請を導入により、参加申し込みの公平性を確保できました。【博物館】 						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	指導課	A	各学校が、実態に応じた計画を立て、充実した体験活動を行うことができました。			④ 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域によって体験先が少ない、受け入れが難しい等の差が生じています。【指導課】 さらなる地域の教育資源を発掘、連携を行うことで、様々なテーマの体験学習を提供していくことが必要と考えます。【公民館】 低調であった参加者数を改善することです。【博物館】 						
	公民館	B	有効な情報提供により延べ参加者数は増加しました。										
	博物館	B	電子申請の導入を進めていますが、参加者数は前年度比マイナスで伸び悩みました。										
⑤ 課題解決のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地域の体験先事業所を新たに開拓するとともに、職業に関する講話や体験を行い、さらなる体験活動の充実を図っていきます。【指導課】 開催回数を増やすことで、さらなる機会創出に努めます。【公民館】 子ども教室の内容、公式LINEやホームページ等の周知・活用方法を検討していきます。【博物館】 												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★63	絵本のふれあい体験の支援 (図書館)	乳幼児や保護者、子育てにかかわる方が、絵本を通してふれあう場をつくることで、これからの子育てに役立つように支援します。また、ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱしんこう！」として、乳幼児がいつでも、どこでも、色々な絵本を楽しめるように、子育て関連施設へ乳幼児向けおすすめ本セットを設置していきます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
ブックセット設置施設数		14	14	70	↑	↑	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数		15,648	16,570	19,573	↑	↑
絵本の購入冊数		924	922	2,464	↑	↑							
① 課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ブックセットを既に設置した子育て関連施設を対象にアンケートを実施した結果、子どもの読書環境の整備に対する継続的な支援を求める要望が多かったため、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置する予算を計上しました。 配慮を必要とする子どもへの取組として、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、設置しているブックセットの対象に障害児通所支援事業所を含め実施していきます。 					② R5年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> 基本のブックセットを新設保育所、障害児通所支援事業所等の30施設に、ブックセット第2便を未設置の保育所、児童センター、児童発達支援センター等の40施設に設置しました。 						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A	乳幼児がいつでも、どこでも、色々な絵本を楽しめる環境づくりを支援することができました。			④ 今後の課題	今後も子育て関連施設への乳幼児向けブックセットの設置を継続しつつ、乳幼児の読書活動をより推進していくための取り組みを広げていくことが課題です。							
⑤ 課題解決のための改善策	基本のブックセット、ブックセット第2便に加え、新たにブックセット第3便を子育て関連施設に設置する予算を計上しました。また、子育て関連施設等で子どもに読み聞かせをする機会がある人を対象に「紙芝居講習会」を開催し、読書活動の推進を図ります。												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標													
64	文化・芸術活動の支援 (公民館・文化芸術・生涯学習課・図書館)	<p>【公民館】地元の文化諸団体の発表の場として、さらに、全国で活躍されているアーティストを招へいし、芸術文化に触れることができる場として、ホールの活性化に努めます。</p> <p>【文化芸術・生涯学習課】子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、市内の文化・芸術活動団体と活動成果を発表する場の提供に努めます。</p> <p>【図書館】ブックスタート関連事業の拡充事業として、乳幼児向け「赤ちゃんおはなし会」を実施し、絵本の他にわらわらたを通して乳幼児と楽しくコミュニケーションを行う機会を増やします。また、南流山地域図書館は、子育て支援施設との複合施設になるため、この特性を活かし事業拡充を進めていきます。</p>													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
活動成果を発表する場の確保 【文化芸術・生涯学習課】			2	3	4	↑	↑	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数【図書館】			15,648	16,570	19,573	↑	↑
赤ちゃんおはなし会の実施回数 【図書館】			38	58	88	↑	↑	参加者数【公民館】			355	578	487	↑	↑
赤ちゃんおはなし会の参加人数 【図書館】			326	680	1,154	↑	↑								
① 課題解決 に向けた 改善策	<p>引き続き広報等を活用し、事業の情報提供を行います。【公民館】 小・中学校並びに文化・芸術活動団体と連絡・調整しながら、事業を実施します。 【文化芸術・生涯学習課】 参加人数に定員を設ける等の新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら、赤ちゃんおはなし会を実施します。【図書館】</p>								② R5年度 の実績	<p>・ホールの改修工事により、事業開催期間に制限があったため、例年複数回行って いた子育てコンサートの開催数が減少しました。それに伴い、参加者数も減少し ました。【公民館】 ・市役所1階「市民ギャラリー」において、8月1日から8月31日まで「市内中学校生 徒作品展」、令和6年3月4日から3月29日まで「流山少年少女俳句大会入選者作 品展」を開催したほか、毎月開催しているサロンコンサートでは、8月25日に生涯 学習センターで「学校コンサート ～輝け！流山の子どもたち！～」を開催しました。 また、11月23日に生涯学習センターで開催された「青少年健全育成推進大会」 (流山市青少年育成協議会主催)では、市内小学校吹奏楽部・合唱部に出演の機会を 提供しました。【文化芸術・生涯学習課】 ・中央図書館・森の図書館・木の図書館・南流山地域図書館・おおたかの森こども図 書館で「赤ちゃんおはなし会」を開催しました。また、中央図書館では、手遊び・ わらわらたを交えた「赤ちゃん楽しむ絵本とわらわらたの会」を開催しました。 【図書館】</p>					
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	公民館	B	<p>市内高等学校軽音楽部の出演による新規事業を実施しました。 初回のため参加者数は伸び悩みましたが、今後の本事業の支柱 となり得るものを発掘できました。</p>				④ 今後の課 題	<p>・ホールの収容可能人数に対して、参加者数が低迷しています。【公民館】 ・学校行事に影響しない範囲内で、児童・生徒が活動成果を発表できる場を提供 する必要があります。【文化芸術・生涯学習課】 ・「赤ちゃん楽しむ絵本とわらわらたの会」の開催を増やし、より多くの乳幼 児と保護者に参加していただくことが課題です。【図書館】</p>							
	文化芸術・生涯学習課	A	<p>・前年度と比較して、小・中学生が活動成果を発表できる場を 拡充できました。</p>												
	図書館	A	<p>・「赤ちゃんおはなし会」に加え、「赤ちゃん楽しむ絵本とわ らわらたの会」を開催し、乳幼児とコミュニケーションを行う 機会を増やすことができました。</p>												
⑤ 課題解決 のための 改善策	<p>・広報活動の推進により、より多くの人に情報が伝わるよう取り組み、文化・芸術活動への関心を 高めていきます。【公民館】 ・文化・芸術活動団体と連携・調整を図りながら、小・中学生が活動成果を発表できる場を提供し ます。【文化芸術・生涯学習課】 ・引き続き「赤ちゃんおはなし会」や「赤ちゃん楽しむ絵本とわらわらたの会」を開催し、乳幼 児が言葉や絵本への興味を育む機会を充実に努めます。【図書館】</p>														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標													
65	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室 (スポーツ振興課)	今後も各種スポーツイベントを実施し、子どもたちがいつでもどこでもスポーツに親しめる環境づくりを継続します。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
コミュニティスポーツフェスティバル、コミュニティス ポーツのつどい、流山市スポーツレクリエーション祭、 流山ロードレース大会(ファンラン含む)の参加者数 (合計)			1,231	2,975	4,123	→	→	スポーツで健康・体力の維持・増進を 行っている市民の割合(%)			35	32	32	↑	↑
① 課題解決 に向けた 改善策	<p>イベント開催にあたり、多くの参加者を募るための周知方法やアフターコロナにおける運営方法を 検討します。</p>								② R5年度 の実績	<p>・令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となったこ とから、イベント開催時においても対策を講じる必要がなくなったことから参加 者が増加した。特に流山ロードレース大会参加者は、前大会よりも1,003人 の増加となりました。</p>					
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A	<p>・SNSによるイベントの周知やロードレース大会においては小学4年生 以上から参加できるファンラン2キロを種目に加え参加者を増やしました。</p>							④ 今後の課 題	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響で離れたしまったスポーツ人口を増やすことが 課題となっています。</p>					
⑤ 課題解決 のための 改善策	<p>ロードレース大会をはじめとしたイベントでは参加者を増やすために常に新たな試みを実施して 行く必要があります。</p>														

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
66	学童クラブと保育所の交流 (保育課・教育総務課)	【保育課】【教育総務課】保育所から小学校進学に伴う学童クラブへの円滑な移行を図るため、必要な情報交換・交流を行います。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
① 課題解決に向けた改善策	・どのような情報共有や交流が出来るかを検討していきます。【教育総務課】					② R5年度の実績	・情報交換や交流をすることが出来ませんでした。【保育課】 ・学童クラブの園庭を保育所の運動会等で利用するなど、交流を行った。【教育総務課】						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	保育課	C	・情報交換や交流をすることが出来ませんでした。			④ 今後の課 題	・保育所から学童クラブへ円滑な移行ができるように、双方の職員間の連携が必要となります。【保育課】 ・保育所と学童クラブの情報共有については、必ずしも利用者が一致しないことや、個人情報の取扱いの問題があり、難しい部分がある。【教育総務課】						
	教育総務課	C	・保育所との交流がないとは言えないものの、範囲は限定的である。										
⑤ 課題解決のための改善策	・現在検討されている幼・保・小連携における施設職員向けの研修等の機会を活用し、職員間の連携、情報共有を図ります。【保育課】 ・気軽に交流できる場所やイベントを引き続き検討していく。【教育総務課】												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
67	私立幼稚園への支援 (保育課)	私立幼稚園との情報共有や市民への園情報の提供などを行い、私立幼稚園を支援し、園との連携を深めます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
私立幼稚園自動体外式除細動器(AED)設置費補助事業の対象施設数		8	8	8	↑	↑							
私立幼稚園心身障害児指導補助金の対象児童数		17	26	72	—	—							
① 課題解決に向けた改善策	・補助金等の交付を行います。					② R5年度の実績	・施設に対し補助金の交付を行いました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A	・自動体外式除細動器設置費補助金や心身障害児指導補助金の交付を行いました。			④ 今後の課 題	・配慮を要する児童に対する幼稚園への支援が課題となります。							
⑤ 課題解決のための改善策	・心身障害児指導補助金の見直しを行います。												
(4)家庭の教育力の向上													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★68	家庭教育講座 (公民館)	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。さらに、企画運営への市民の参加を推進します。 ・乳幼児期の家庭教育講座											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
小中学校の講座実施回数		13	16	16	↑	↑	小中学校の講座参加者数		2,453	2,050	2,418	↑	↑
乳幼児期の講座実施回数		54	53	49	↑	↑	乳幼児期の講座参加者数		1,063	1,238	962	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、引き続き市内各小中学校のPTAから選出された家庭教育準備委員と生涯学習専門員が講座を企画・運営し、親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による家庭教育講座を開催しました。また、乳幼児の講座を企画し、充実させるよう努めます。					② R5年度の実績	・小中学校については、インフルエンザの流行等の影響を受け中止となった講座等がありました。実施回数は前年度と同数になりました。スキットメール等の情報提供ツールの活用により、参加者数は増加しました。 ・乳幼児期については、講座の実施回数が減少したことにより、参加者数も減少しました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B	・例年の家庭教育講座に加え、家庭教育事業講演会を開催し好評をいただくことができました。乳幼児期の講座実施回数および講座参加者数の減少については、ホールの改修工事による開催機会の制限が主な要因となっています。			④ 今後の課 題	・家庭教育講座は、PTA組織率低下の背景やPTA役員の負担が大きいとの声もあり、令和6年度は市内で2校の小中学校が開校することから、これまで以上に開催が難しいと考えられます。							
⑤ 課題解決のための改善策	・令和6年度は公民館の生涯学習専門員が主体となり、全小中学校の児童生徒とその保護者を対象とした講演会を2回程度試行的に開催することとしました。												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標													
69	子育てサロン (公民館)	乳幼児期の子どもを持つ方の交流の場を提供します。保育ボランティア、地域ボランティア等の協力により事業を展開します。 ・双子や三つ子のために「さくらんぼくらぶ」を実施 ・子育てサロンの実施													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
開催回数			34	33	30	↑	↑	延べ参加者数			499	484	419	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	流山市のホームページ及び公式LINE「ながれやま子育てちゃんねる」を活用し、参加者に周知だけではなく、参加者を増やす事も取り組んでいます。								② R5年度の実績	企画はしたが参加申込がない回もあり、開催回数及び参加者数は減少となりました。					
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・子育てサロン開催についての周知を各種ツールを用いて行いましたが、申し込みにつなげることができませんでした。参加回数の減少がそのまま参加者数に反映されることとなりました。								④ 今後の課題	開催回数、参加者数を増加させるために、情報提供の再考をする必要があります。					
⑤ 課題解決のための改善策	本事業に関連性のある事業を開催する際に、他にも参加可能な子育てサロンのチラシを配布するなど、さらに情報提供の手法を増やすなどして周知を図ります。														
(5)地域活動の充実															
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標													
70	地域子ども活動の支援 (文化芸術・生涯学習課)	青少年健全育成団体による事業を通して、子ども同士や子どもと地域の方々の交流が図れるよう、各種団体の活動を支援します。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
青少年健全育成補助金交付団体数			4	4	4	→	→								
① 課題解決に向けた改善策	各種団体の活動を支援するため、引き続き補助金を交付します。								② R5年度の実績	7月29日から7月31日まで国立妙高青少年自然の家で実施した「チャレンジキャンプ(2泊3日)」をはじめ、学校や学年が異なる子ども同士が交流する「チャレンジゲーム」や、創作・野外活動を行う「めざせ！あそびの達人(全8回)」、「少年の日」に合わせて令和6年1月20日に開催した「親子たこあげ大会」など、青少年健全育成団体の活動に補助金を交付し、事業の推進を図りました。					
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A ・青少年健全育成団体(4団体)が実施した各種イベントにおいて、定員数を上回る参加申込みがありました。								④ 今後の課題	子育て世代が増加する本市では、青少年健全育成団体の活動を継続的に支援する必要があります。					
⑤ 課題解決のための改善策	引き続き、青少年健全育成団体の活動に補助金を交付するとともに、広報ながれやま及びホームページで各種イベントの開催情報を広く周知します。														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標													
71	ボランティアの育成・推進 (文化芸術・生涯学習課・コミュニティ課)	【文化芸術・生涯学習課】中学・高校生を中心としたジュニアリーダーを育成している子ども会育成連絡協議会の活動を支援します。 【コミュニティ課】市民活動団体の運営・活動の支援に努めます。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
市民活動団体の相談件数【コミュニティ課】			20	602	284	↑	↑	市民活動推進センターの団体登録件数【コミュニティ課】			203	224	234	↑	↑
ジュニアリーダー初級講習会募集人数(人)【文化芸術・生涯学習課】			30	30	30	→	→	ジュニアリーダー初級講習会参加人数(人)【文化芸術・生涯学習課】			28	24	30	→	→
① 課題解決に向けた改善策	引き続き、子ども会育成連絡協議会の活動を支援します。【文化芸術・生涯学習課】令和5年4月に交流サロンの改修を行い、居心地の良い空間・足を運びたくなる空間の創出を行うことで、より多くの相談件数・登録団体件数の上昇に努めます。【コミュニティ課】								② R5年度の実績	子ども会育成連絡協議会の活動に補助金を交付し、同協議会が主催する研修会等を通して、児童健全育成の分野で活動する中学・高校生を中心としたジュニアリーダー(ボランティア)の育成を推進しました。【文化芸術・生涯学習課】市民活動推進センターと連携をとりながら、多様な主体同士のコーディネートや各団体の活動情報発信強化を図り、市民活動団体支援に努めました。【コミュニティ課】					
③ 「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	文化芸術・生涯学習課	A ・ジュニアリーダー初級講習会では、募集人数を超える応募がありました。							④ 今後の課題	子育て世代が増加する本市では、子ども会育成連絡協議会の活動を継続的に支援する必要があります。【文化芸術・生涯学習課】市民活動団体と自治会の関連性が弱いいため、活動の機会損失に繋がっています。【コミュニティ課】					
	コミュニティ課	A ・市民活動団体登録数、市民活動推進センターの利用者は増加しており、市民が活動するための支援ができたものと考えています。													
⑤ 課題解決のための改善策	引き続き、子ども会育成連絡協議会の活動に補助金を交付するとともに、広報ながれやま及びホームページで研修会等の開催情報を広く周知します。【文化芸術・生涯学習課】地域での活動の幅を広げるために、市民活動推進センターで市民活動団体と自治会がマッチングする機会を設けるなど、関連性を強化していきます。【コミュニティ課】														

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
72	少年スポーツ団体の育成 (スポーツ振興課)	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間作りのため、指導者、団体の育成を図ります。(少年野球連盟・少年サッカー連盟・スポーツ少年団)また、ジュニアスポーツ団体指導者は毎年入れ替わることから、今後もジュニア期の正しいトレーニング方法の普及に努めていきます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
少年スポーツ指導者講習会参加者数		60	40	37	→	→	学校開放利用参加者数(人)		443,624	546,559	495,825	→	→
① 課題解決 に向けた 改善策	健全なジュニアスポーツ指導者育成の為、学校体育施設利用団体におけるジュニアスポーツ指導者や市内中学校の部活動指導者に参加依頼を送付し、講習会への参加を促します。					② R5年度 の実績	・ジュニアスポーツ指導者講習会については、各団体に参加依頼を行いました。前年度比-3名の減となりました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・令和5年度は、前年に引き続きジュニアスポーツ指導の専門家をお招きし、「少年期におけるメンタルコンディショニングと指導者の関わり方」と題し講習会を開催しましたが前年度より参加者が減ってしまいました。					④ 今後の課 題	・例年開催しているジュニアスポーツ指導者講習会に、実際に現場で指導に当たっている指導者の方に広く参加していただくことが課題です。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	講習会の内容を毎年変えており、よりジュニアスポーツの指導に役立つ内容のものを検討し参加者の増加に努めます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
73	児童館・児童センターの活用 (子ども家庭課)	子どもの居場所、遊びの場となる児童館・児童センターにおいて、利用者の意見を取り入れたイベント等を通じての仲間づくりや、また利用したいと思う企画の充実を進めます。また、インクルージョンの考え方を取り入れながら、地域における子育ての支援の拠点となるよう事業推進に努めます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
							児童館・児童センター利用者(数)		96,490	143,210	218,950	↑	↑
① 課題解決 に向けた 改善策	・児童館・児童センターの事業について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっています。					② R5年度 の実績	・児童館・児童センターの事業について、LINEやホームページ等の他、地元学校と協力して情報を活用し、周知を図りました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・児童館・児童センターの事業について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図りました。					④ 今後の課 題	・児童館・児童センターの事業について、引き続きLINEやホームページ等を活用し、地元学校と協力して周知を図っていきます。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	・居心地の良い場所・足を運びたいような場所になるよう努めます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
74	学校体育施設の利用 (スポーツ振興課)	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校施設の開放を進めていきます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
学校体育施設開放校数		25	26	27	27	→	学校開放利用参加者数(人)		443,624	546,559	495,825	↑	↑
① 課題解決 に向けた 改善策	学校体育施設利用調整会議の際に、利用の際のルールについて周知徹底を行い、安心・安全な利用の継続に努めます。					② R5年度 の実績	・学校開放利用参加者については、全小中学校の体育館エアコン設置工事の期間中利用することができなくなったため前年度比-50、734名の減となりました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A ・特に大きな問題もなく、利用団体がルールを順守し団体間で利用調整を行い、円滑に活動することができました。					④ 今後の課 題	・令和6年度に、移転や新設した学校の施設開放を行い市民のスポーツ環境の拡充に努める必要があります。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	・新設校、移転校と運営について協議し、施設開放を進めるとともに職員が会議に参加し既存校を含め利用団体にルールの徹底を図ります。												

(6)子どもを取り巻く有害環境対策の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
75	青少年相談 (文化芸術・生涯学習課)	青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、窓口での相談の充実を図ります。※46,51,114に同相談業務を掲載。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
相談件数(件)		57	55	61									
① 課題解決に向けた改善策	関係諸機関との情報共有を密にし、継続的な支援を目指します。また、相談室だより「はなみずき」や青少年指導センターだよりなどで、相談窓口の更なる周知に努めます。					② R5年度の実績	平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設しました。これに加え、令和5年度は平日の時間外に計6回、特別相談窓口を開設しました。						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		平日の時間外に計6回、特別相談窓口を開設しましたが、大幅な相談件数の増加には結び付きませんでした。			④ 今後の課題	より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じた窓口を適切に案内できるよう、青少年専門相談員の相談力を向上させる必要があります。						
⑤ 課題解決のための改善策	スキットメールの活用やポスターを作成し、相談室の周知に努めます。また、県や関係機関が開催する研修会へ積極的に参加し、青少年専門相談員の相談力の向上に努めます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
76	街頭補導活動 (文化芸術・生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、地域や子どもたちの実態に合わせ、計画的に適切なパトロールを実施します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
街頭補導活動実施回数(回)		564	656	731	→	→	街頭補導従事者延べ人数(人)		1,752	1,816	1,838	→	→
① 課題解決に向けた改善策	センターだよりや合同パトロールなどを通じ、市民や学校へ速やかな情報提供を呼びかけます。					② R5年度の実績	効率の良い補導活動を展開するため、センターだよりなどを通じ、市民や学校へ速やかな情報提供を呼びかけました。						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		情報提供の中には、確認が不十分なものも多数あり、事実確認に時間がかかるものもありました。			④ 今後の課題	確かな情報提供を行うこと、補導員の高齢化やPTAの解散等に伴う新規補導員の人材確保が課題です。						
⑤ 課題解決のための改善策	引き続き、センターだよりなどを通じ、情報提供の仕方の周知と補導員の人材確保に努めます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
77	青少年ふれあい運動 (文化芸術・生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、保護者をはじめ市民を対象に啓発を行い、地域・家庭の教育力の向上を図り、同時に関係機関と連携しながら青少年にとって有害な社会環境の浄化を推進します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
実行委員会・実行活動実施回数(回)		3	3	3	→	→	実行委員会参加人数(人)		453	425	350	→	→
							店舗調査・店舗利用状況調査対象店舗数(店)		99	109	98	→	→
① 課題解決に向けた改善策	各地域に合った活動を地域主体で展開していけるよう、関係機関との連携を強化します。					② R5年度の実績	地域の実態に応じた活動を展開するため関係機関へ協力を要請しましたが、協力を得られない団体が多数ありました。						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		参加を辞退する団体が多数あり、地域主体の活動を完全に整備するには至りませんでした。			④ 今後の課題	関係機関の会員の高齢化や解散等により、活動に参加していただける方が減少傾向にあります。						
⑤ 課題解決のための改善策	活動を継続していくために、参加者の状況に応じて柔軟に活動できるよう対応します。												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										
78	青少年主張大会 (文化芸術・生涯学習課)	青少年が日頃考えている抱負や意見を発表し、広く伝えることで、青少年への理解と関心を深めます。										
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
青少年主張大会発表者(人)		9	13	13	→	→	発表者を含む来場人数(人)	0	415	74	↑	↑
① 課題解決 に向けた 改善策	発表者が在学する市内の中学校及び高等学校等に、当日のライブ映像を配信します。					② R5年度 の実績	10月6日、生涯学習センターで開催した「令和5年度流山市青少年主張大会」では、中学生10人、高校生3人が参加し、抱負や意見等を発表しました。文化会館ホールの改修工事に伴い、今年度の会場となった生涯学習センターは収容人員数が少ないため、各校の応援生徒の来場なしでの開催となりましたが、発表者の在籍校に当日のライブ映像を配信しました。					
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A ・前年度と同様、高校生3人を含む13人の発表者で開催できました。					④ 今後の課 題	同世代の青少年はもとより、一般の方にも青少年への理解と関心を深めていただけるよう、青少年主張大会を継続して開催する必要があります。					
⑤ 課題解決 のための 改善策	市内中学校、高等学校等に積極的な参加を呼びかけるとともに、広報ながれやま及びホームページで青少年主張大会の開催情報を広く周知します。											
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										
79	非行防止活動等ネットワークづくり (文化芸術・生涯学習課)	青少年の健全育成及び非行防止を図るために、関係団体の支援及び連携を深めることで、活動の充実を図ります。										
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
学校警察連絡協議会の開催(回)		4	4	4	→	→						
① 課題解決 に向けた 改善策	書面開催で対応できる会議等については内容を見直し、情報交換や研修の時間に充てます。					② R5年度 の実績	年4回開催する協議会のうち1回、総会を書面開催にし、会場へ足を運ぶ回数を減らしました。					
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・総会を書面開催にした分を、追加で情報交換や研修のための時間に充てることはできませんでした。					④ 今後の課 題	学校現場において、生徒指導全般に対する対応力の低下が課題です。					
⑤ 課題解決 のための 改善策	研修会を開催し、適切な講師を選択することで、生徒指導全般に対する対応力の向上を図ります。											

基本目標4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり															
(1)安全なまちづくりの推進															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
80	歩道の整備 (道路建設課)		歩行者の安全性向上のため、現在行っている新設・改良工事において歩道整備等を行います。歩道の整備等においては、交通弱者といわれる方々に配慮した道路整備に努めています。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
歩道整備実績件数(件)			4	0	1	→	→	快適に移動できる道路網の整備がされていると感じている市民の割合(%)			71	73	73	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	各事業では、関係権利者や近隣住民の生活に支障が生じないよう、あるいは最小限に留められるよう、最大限配慮する必要があることから、説明会や個別に事業説明を行いました。						② R5年度の実績	名都借線橋道路拡幅改良事業では、R9年度の完成に向け工事を進めました。交差点改良事業では、踏ヶ崎交差点(市道107号線)の工事が完了し、前ヶ崎交差点(250・251号線)では工事着手しました。東小学校前通学路道路拡幅整備事業では概略設計に着手しました。区画道路改良事業では、西深井や中野久木、東深井、三輪野山、踏ヶ崎、向小金1・2丁目の各路線において用地測量や用地取得、概略設計などを行いました。都市計画道路の改良事業では、用地取得を行い地元説明会を開催しました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		各事業は完成まで数年を要するため、関係権利者や近隣住民、地元自治会に説明を行い事業を進めました。				④ 今後の課題	自治会等の地域から要望のある歩道のない道路や幅員の狭い歩道の改良について、自治会や関係権利者の協力を得て、歩行者の安全向上のため、新設、改良工事にて対応していきます。							
⑤ 課題解決のための改善策	各事業では、関係権利者や近隣住民の生活に支障が生じないよう、あるいは最小限に留められるよう、最大限配慮する必要があることから、適時説明を行います。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
81	公共施設の整備 (関係各課)		既存の公共施設については、子どもをはじめすべての市民が安全で利用しやすいよう整備に努めます。また、新たに公共施設を建設する際には、ユニバーサルデザインの観点から建設を推進します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
								市内在がバリアフリーだと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)			47.8	47.0	45.1	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	おおたかの森小学校校区の児童数の増加に対応するため、新設小学校を建設するにあたり、ユニバーサルデザインの観点から建設を推進します。						② R5年度の実績	新設の小学校を建設するには、千葉県福祉のまちづくり条例に基づき、バリアフリー等の整備を行いました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		児童が安全で利用しやすい環境整備に努めました。				④ 今後の課題	公共施設の整備を行う際には、すべての市民が安全で利用しやすい施設整備に努める必要があります。							
⑤ 課題解決のための改善策	引き続き、公共施設の整備を行う際には、すべての市民が安全で利用しやすいような施設整備に努める必要があります。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
★82	公園の整備・充実 (みどりの課)		子どもが遊びを通して、健やかに成長できるよう、防犯面にも配慮した公園等の遊び場の整備・充実を図ります。公園施設の長寿命化計画を策定し、公園遊具施設の更新をはじめとした公園等の維持管理を計画的に行います。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
								公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)			84	81	80.9	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	既存公園の安全点検結果を踏まえて、遊具の更新、及び補修を行いました。						② R5年度の実績	既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。また、公園内の除草や剪定を適切に行い、安全で快適に利用できるよう維持管理を行いました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		遊具等の点検を適切に実施し、補修・更新を適切に行ったことから目標達成に至りました。				④ 今後の課題	公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の更新や補修を計画的に行う必要があります。							
⑤ 課題解決のための改善策	既存公園の安全点検結果を踏まえて、遊具の更新、及び補修を行いました。また、長寿命化計画に基づいて、計画的な遊具の更新を行いました。														

番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
83	駅施設の整備 (まちづくり推進課)		鉄道事業者と連携して、駅施設の利便性向上を推進します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
初石駅施設整備事業(駅東側から改札にアクセス可能とするための駅舎橋上化及び自由通路整備)の事業進捗率(事業費ベース:%)			1	3	7	50	72	公共交通機関の利用について満足と感じる市民の割合(まちづくり達成度アンケート:%)			83.1	83.9	81	85.0	86.0
① 課題解決に向けた改善策	自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向け、東武鉄道と施行協定を締結します。					② R5年度の実績	東武鉄道と施行協定を締結し、近隣住民への工事説明会の開催を経て、自由通路及び橋上駅舎の工事に着手しました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		東武鉄道との協議を重ね、施行協定を締結しました。多くの住民が参加できるように工事説明会を平日と休日に開催しました。			④ 今後の課題	完成時期に遅延が生じないように計画的に工事を進めます。								
⑤ 課題解決のための改善策	毎月、工事定例会を開催し、工事進捗の管理を行います。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
84	住環境の整備 (都市計画課・建築住宅課)		良好な住環境の維持、形成を図るため、地区計画や建築協定など、住民主体によるまちづくりを推進します。【都市計画課】建築協定の締結に向けて協議をしていきます。【建築住宅課】												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
								良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)			83.8	84.3	82.7	77.5	78.0
① 課題解決に向けた改善策	窓口において案内資料等を用いて迅速かつ丁寧な説明を心掛けます。また、届出等の手続きについては、郵送で行うことも可能とするなど、状況に応じて柔軟な対応ができるよう努めます。【都市計画課】【建築住宅課】					② R5年度の実績	景観シンポジウムを開催し、市民に本市の景観形成について理解や興味を抱いていただけるよう努めました。【都市計画課】 ・建築協定の運用により、住民主体によるまちづくりを推進するよう説明しました。【建築住宅課】								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	都市計画課	A	景観シンポジウムに約150人が参加され、市内の良好な景観の周知を行うことができました。			④ 今後の課題	良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き、流山市景観計画の周知や啓発を図る必要があります。【都市計画課】 ・住民主体のまちづくりを推進するため、継続して、建築協定の運用について、説明を行う必要があります。【建築住宅課】								
⑤ 課題解決のための改善策	建築計画や開発計画における景観協定に加え、景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。【都市計画課】 ・住民主体のまちづくりを推進出来るよう、継続して、建築協定の運用について、丁寧な説明を心掛けます。【建築住宅課】														
(2)安心して外出できる環境の整備															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
★85	防犯対策の充実 (コミュニティ課)		防犯対策及び防犯の広報・啓発に努めます。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
市内の防犯カメラ設置数(台)			115	135	147	155	175	刑法犯認知件数(件)			778	807	930	750	750
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)			72	73	77	74	75								
① 課題解決に向けた改善策	新設した自治会に自主防犯パトロール隊が設立できるように努めます。					② R5年度の実績	警察との協議により、防犯カメラが必要と判断された箇所に設置し、地域の犯罪抑制に努めました。 ・また、市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊と協力し、地域の見守り活動に努めたほか、自主防犯意識向上を目指し、広報ながれやまに啓発記事を掲載するなどした結果、新たな自主防犯パトロール隊が設立されました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		市内の犯罪発生状況を考慮し、必要な箇所に防犯カメラを設置したことにより、犯罪抑止力の向上を図ることができました。 ・また、自主防犯パトロール隊が増加したほか、自主防犯パトロール隊に対して装備品等の貸与を行い、活動を支援しました。			④ 今後の課題	限られた財源の中で、市内全体の犯罪発生状況を考慮して、いかに効率的に防犯カメラを設置していくかや、自主防犯パトロール隊の設立や加入数をどのように増やしていくかが課題となっています。								
⑤ 課題解決のための改善策	限られた財源の中で、必要な箇所に効率的に防犯カメラを設置していくために、引き続き警察と連携・協議していきます。 ・また、警察をはじめとした関係機関と連携し、地域の見守り活動を継続して行い、犯罪被害の未然防止に努めます。														

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
86	防犯灯の整備 (コミュニティ課)	防犯灯を整備し、夜間における通行者の安全確保に努めます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
新規設置防犯灯数(灯)		403	105	92	400	400	刑法犯認知件数(件)		778	807	930	750	750
① 課題解決に向けた改善策	市民等からの情報を元に、老朽化や腐食が進んだ支柱や故障等により不点灯となった防犯灯については随時交換していきます。					② R5年度の実績	各自治会に対し、防犯灯の新規設置や不具合等を発見した場合の連絡方法等を記した防犯灯マニュアルを作成・配布し、各自治会のご協力のもと、防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合対応を適切に行うことができました。また、電柱がなく防犯灯を共架できない箇所については、関係機関と調整を行い、鋼管ポールを建柱した上で防犯灯を設置することで、夜間の安全を確保しました。						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		防犯灯については、自治会からの要望や通学路合同点検で要望があった箇所に新規設置を行い令和5年度は92灯となっています。また、新規設置の他に、老朽化した防犯灯を348灯交換しており、新設交換の合計は440灯となっています。			④ 今後の課題	平成27年度にLED灯へ一括交換した防犯灯が今後、故障等により不点灯となる可能性があり、そうした状況への対応が課題となっています。						
⑤ 課題解決のための改善策	防犯灯マニュアルに基づき自治会のご協力をいただきながら、不点灯箇所へのすみやかな対応を図ります。												
(3)子どもの交通安全を確保するための活動の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
87	通学区域内の交通安全施設整備 (道路管理課・学校教育課)	通学路における危険箇所の改善や安全施設の設置等、交通安全対策を図ります。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
通学路合同点検箇所数 【道路管理課・学校教育課】		93	88	146	↓	↓							
① 課題解決に向けた改善策	通学路の危険な箇所について関係機関と現地点検を行い、路面標示や車止めポスト等の安全施設の新設・補修を行いました。【道路管理課】 警察、道路管理課など関係機関と現地点検を行い、児童生徒が安全安心に登下校できるように対策を講じました。【学校教育課】					② R5年度の実績	通学路の危険な箇所について関係機関と現地点検を行い、路面標示や車止めポスト等の安全施設の新設・補修を行いました。【道路管理課】 令和5年度の通学路合同点検は、5月中旬から6月上旬にかけ146箇所の点検を実施しました。【学校教育課】						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	道路管理課	B	通学路の危険な箇所について関係機関と現地点検を行い、道路管理者として実施可能な安全対策を行った。			④ 今後の課題	各学校から通学路における危険箇所を集約し、通学安全推進会議にて危険箇所についての協議を行い、点検箇所を決定して行きます。【道路管理課】 引き続き、児童生徒が安全安心に登下校できる環境を整備していく必要があります。【学校教育課】						
	学校教育課	A	令和6年4月開校の市野谷小学校及び南流山第二小学校、並びに南流山中学校移転に伴う通学路の安全対策を実施しました。										
⑤ 課題解決のための改善策	引き続き、通学路の危険箇所の改善と安全施設の新設及び維持管理を行います。【道路管理課】 関係機関と連携し、通学路の危険箇所について必要な対策を講じていきます。【学校教育課】												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
88	交通安全教室の充実 (道路管理課)	幼稚園・保育所、小学校等において交通安全教室を開催し、交通事故防止に努めます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
交通安全教室の開催件数		0	7	23	↑	→							
交通安全啓発DVDの貸出件数		6	6	0	↑	→							
① 課題解決に向けた改善策	広報への掲載やホームページの改訂により、申請方法をわかりやすくし、多くの施設で交通安全教室が開催できるように努めます。					② R5年度の実績	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、コロナ前の開催件数と同程度の交通安全教室を開催しました。						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		開催希望のあった保育園等については、施設にあった内容で交通安全教室を行い、交通事故防止に努めました。			④ 今後の課題	より多くの保育園等で交通安全教室が開催されるよう、広く周知を行います。						
⑤ 課題解決のための改善策	広報への掲載やホームページにて周知を行います。												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
89	チャイルドシートの貸出 (道路管理課)	チャイルドシート・ジュニアシートを貸出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
チャイルドシート稼働率(乳幼児用)		33	39	47	→	→							
チャイルドシート稼働率(児童用)		58	38	31	→	→							
① 課題解決 に向けた 改善策	・チャイルドシートやジュニアシートを貸出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。					② R5年度 の実績	・乳幼児用チャイルドシートの貸出は、毎月約40～50%前後の稼働率で推移し、乳幼児の安全確保に努めました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・チャイルドシートとジュニアシートの貸出により、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与しました。					④ 今後の課 題	・申請方法が分からないとの問い合わせがありました。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	・ホームページをわかりやすく改訂します。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
90	交通安全教室の普及・啓発 (道路管理課)	市内小中学校を対象に、交通安全意識の向上を図ります。また、新1年生を対象に、ランドセルカバーを配布する等、普及・啓発に努めます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
ランドセルカバー配布枚数		2,650	2,600	2,600	→	→							
① 課題解決 に向けた 改善策	・流山警察や交通安全協会をはじめとする関係団体と協力しながら幅広く啓発活動を行い、交通安全意識の向上を図ります。					② R5年度 の実績	・年4回開催されている交通安全運動を中心に、啓発活動を行いました。また、新1年生を対象にランドセルカバーを配布しました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・流山警察や交通安全協会をはじめとする関係団体と協力しながら、啓発活動を行いました。					④ 今後の課 題	・毎年、同様の啓発活動を行うのみとなっています。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	・関係団体と協力し、新たな啓発活動を行います。												
(4)子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★91	関係機関、団体との情報交換 (コミュニティ課・保育課)	【コミュニティ課】子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めます。 【保育課】子どもの安心安全の確保を図るため関係機関との連携を強めていきます。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
新規設置防犯灯数(灯) 【コミュニティ課】		420	105	92	400	400	刑法犯認知件数(件) 【コミュニティ課】		778	807	930	750	750
流山市学校警察連絡協議会(回) 【コミュニティ課】		4	0	0	0	0							
① 課題解決 に向けた 改善策	・市民等からの情報を元に、老朽化や腐食が進んだ支柱や故障等により不点灯となった防犯灯については随時交換していきます。【コミュニティ課】					② R5年度 の実績	・市民等からの情報を元に、老朽化や腐食が進んだ支柱や故障等により不点灯となった防犯灯については随時交換をおこないました。 ・通学路合同で要望のあった箇所に防犯カメラや防犯灯の設置を行いました。【コミュニティ課】 ・保育園に情報を提供するとともに、安心メールの登録を促し、情報の共有が図れるようにしました。【保育課】						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	コミュニティ課		B ・各自治会に対し、防犯灯の新規設置や不具合等を発見した場合の連絡方法を記した防犯灯マニュアルを作成・配布し、各自治会のご協力のもと、防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合対応を適切に行うことができました。 ・防犯灯については、自治会からの要望や通学路合同点検で要望があった箇所に新規設置を行い、令和5年度は92灯となっています。また、新規設置の他に老朽化した防犯灯を440灯鋼管設置しており、新設交換の合計は440灯となっています。			④ 今後の課 題	・平成27年度にLED灯へ一括交換した防犯灯が今後、故障等により不点灯となる可能性があり、そうした状況への対応が課題となっています。【コミュニティ課】 ・情報を確実に伝える手段を検討します。【保育課】						
⑤ 課題解決 のための 改善策	保育課		B ・保育園に情報を提供するとともに、安心メールの登録を促し、情報の共有が図れるようにしました。										
⑤ 課題解決 のための 改善策	防犯灯マニュアルに基づき自治会のご協力をいただきながら、不点灯箇所へのすみやかな対応を図ることで、引き続き地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めます。【コミュニティ課】 緊急時には複数の手段で情報の共有を図ります。【保育課】												

番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
92	安全マップ等の作成(指導課)		安全マップや通学路マップ等を作成し、子どもが安心・安全に生活できるよう情報提供を図ります。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
地域マップ・危険箇所マップ作成数			26	27	27	27	29	地域マップ・危険箇所マップ作成数			26	27	27	27	29
① 課題解決に向けた改善策	安全マップ、通学路マップは、各学校で地域の実情に応じて作成し、安全教育に利用しました。		② R5年度の実績					安全マップ、通学路マップは、各学校で地域の実情に応じて作成し、安全教育に利用しました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A	各学校で作成されている安全マップ、通学路マップは、各学校の実態に応じて活用されています。	④ 今後の課題					各学校で作成したマップは、地域にも周知し、安全・防災に活用することが課題です。							
⑤ 課題解決のための改善策	各学校に、校内掲示やHPへの掲載などを依頼し、来校者や地域・保護者等が見られるような手立てを講じていきます。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
93	自主防犯活動の支援(コミュニティ課)		各自治会等で実施する防犯活動や地域に設立された自主防犯パトロール隊の活動を支援します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
防犯啓発用品購入費(円)			628,111	620,431	619,932	650,000	650,000	刑法犯認知件数(件)			778	807	930	750	750
① 課題解決に向けた改善策	自主防犯パトロール隊への支援として貸与する装備品等については、限られた財源の中で費用対効果が高く、使い勝手の良い装備品を検討していきます。		② R5年度の実績					自主防犯パトロール隊へ貸与する装備品等について、限られた財源の中で費用対効果が高く、使い勝手の良い装備品を検討し提供しました。							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B	自主防犯パトロール隊への支援として貸与する装備品等について、限られた財源の中で費用対効果が高く、使い勝手の良い装備品を検討し提供しました。	④ 今後の課題					各自治会や自主防犯パトロール隊ごとの支援ニーズが多様化してきています。							
⑤ 課題解決のための改善策	パトロール隊の活動内容の中から各隊の活動に支援ニーズ把握し、提供する物品のラインナップを適宜変更して対応していきます。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
★94	安全管理の促進(コミュニティ課・保育課・指導課)		【コミュニティ課】市民の安全管理を図るため、啓発活動を推進します。(安心メールの発信・犯罪発生状況の提供) 【保育課】子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。 【指導課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を実施します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
安心メール(防犯)配信実績(件)【コミュニティ課】			118	114	88	90	90	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%)【まちづくり達成度アンケート】【コミュニティ課】			63.1	62.4	62.7	61.0	61.0
① 課題解決に向けた改善策	安心メールの登録推進について、市内公共施設へチラシの配架や登録相談会を実施すること等により登録推進に努めます。【コミュニティ課】 様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を行い、迅速に情報を共有します。【指導課】		② R5年度の実績					警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等を安心メールで配信したほか、各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。【コミュニティ課】 定期的に保育所内で避難訓練や不審者対応の研修を行いました。【保育課】 様々な災害、事故、犯罪に対して、児童生徒の安全確保のために、交通安全教室に関する情報提供のように、学校等への啓発活動を行うとともに、身体接触のあった不審者情報については、迅速に情報の共有を行いました。【指導課】							
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	コミュニティ課	B	警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等の共有があり次第、安心メールでの配信を心がけ、警察の情報提供から市民への素早い情報配信ができました。また、安心メールの他各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。	④ 今後の課題					昨今、市民の市の情報取得方法に変化が生じており、安心メール登録者数が減少傾向にある一方で、流山市LINE公式アカウントの登録者数が増加傾向にあるなど、市民動向に応じた情報配信方法を考える必要があります。【コミュニティ課】 安全対策のマニュアルの見直しは課題です。【保育課】 様々な災害、事故、犯罪に対して、児童生徒の安全確保のために正確で適切に情報提供を行うこと、災害や事故が発生した際には、迅速に対応することが課題です。【指導課】						
	保育課	A	定期的に保育所内で避難訓練や不審者対応の研修を行いました。												
	指導課	A	児童生徒の安全確保のために、学校への啓発活動を行うとともに、交通安全教室等の情報提供を行ったり、児童生徒の安全確保に努めます。また、犯罪に対しては、生命に関わる不審者情報(身体接触、刃物等)については、学校及び保護者にスキットメールにて迅速に周知し、注意喚起を行うことで、児童生徒の安全確保を行っています。【指導課】												
⑤ 課題解決のための改善策	市民動向に応じた方法で防犯情報を配信するとともに、警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して犯罪防止に努めます。【コミュニティ課】 各種あるマニュアルの見直しを進めます。【保育課】 事故や災害に対しては、未然に防ぐことができるものについては、各学校に文書での通知を行ったり、交通安全教室等の情報提供を行ったりし、児童生徒の安全確保に努めます。また、犯罪に対しては、生命に関わる不審者情報(身体接触、刃物等)については、学校及び保護者にスキットメールにて迅速に周知し、注意喚起を行うことで、児童生徒の安全確保を行っています。【指導課】														

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
95	防犯体制の充実 (コミュニティ課)	流山警察署をはじめとする関係機関及び防犯団体等と連携し、防犯体制の充実を図ります。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
防犯協定(新規締結)事業者数		1	0	0	1	1	刑法犯認知件数(件)		778	807	930	750	750
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		72	73	77	74	75							
① 課題解決 に向けた 改善策	・新設した自治会に自主防犯パトロール隊が設立されるよう啓発・情報提供に努めます。					② R5年度 の実績	・自主防犯パトロール隊へ貸与する装備品等について、限られた財源の中で費用対効果が高く、使い勝手の良い装備品を検討し提供しました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・自主防犯パトロール隊への支援として貸与する装備品等について、限られた財源の中で費用対効果が高く、使い勝手の良い装備品を検討し提供しました。					④ 今後の課 題	・自主防犯パトロール隊の設立や加入数を、今後どのように増やしていくかが課題となっています。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	・警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して自主防犯意識向上に努めます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
96	防犯に関する普及啓発活動 (コミュニティ課)	安心メール等を活用し、防犯の啓発を行います。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
安心メール登録者数(実人数)		41,025	40,910	40,020	44,310	46,010	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		64.0	62.4	62.7	65.0	65.0
① 課題解決 に向けた 改善策	・安心メールの登録推進について、市内公共施設へチラシの配架や出張登録会及び登録相談会を実施することにより登録推進に努めます。					② R5年度 の実績	・警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等を安心メールで配信したほか、各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等の共有があり次第、安心メールでの配信を心がけ、警察の情報提供から市民への素早い情報配信ができました。また、安心メールの他各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。					④ 今後の課 題	・昨今、市民の市の情報取得方法に変化が生じており、安心メール登録者数が減少傾向にある一方で、流山市LINE公式アカウントの登録者数が増加傾向にあるなど、市民動向に応じた情報配信方法を考える必要があります。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	・警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等の共有があり次第、市民動向に応じた方法で防犯情報を迅速に配信するよう努めます。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
97	保護者・地域との連携による防犯活動 (指導課)	保護者や地域、学校が連携し、登下校の見守りを行うなど、子どもたちの安全を守る活動を推進します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
地域学校協働本部の数		9	10	10	10	10	登下校の見守り活動		↑	↑	↑	↑	↑
① 課題解決 に向けた 改善策	・令和3年度より、中学校区ごとにコミュニティ・スクールの導入が始まっているので、学校運営協議会にて、登下校の安全についても議論をしていただくとともに、地域学校協働本部との連携も推進していきます。					② R5年度 の実績	・新たに3中学校区でコミュニティ・スクールが導入され、各学校運営協議会にて、地域の特色を生かした協議や取り組みが行われました。登下校の安全について話題になった地域もあり、より一層の連携を図りながら、子どもたちの安全を見守る必要があります。						
③ 「R5年度 の取り組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B ・学校運営協議会で話題にあがったことで、協議会委員が実際に見守りに参加したり、関係者へ依頼・周知を図ったことにより、当事者意識をもって子どもたちの安全を見守ることにつながりました。					④ 今後の課 題	・登下校の見守り活動については、人員の確保が課題となっています。						
⑤ 課題解決 のための 改善策	・さらなる人員の確保のため、ホームページや広報ながれやまによる周知を図ったり、地域と学校の橋渡し役でもある学校支援コーディネーター等との連携を密にしたりしながら、対応していきます。												

基本目標5 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり															
(1)多様な働き方のできる環境の整備															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
98	就労環境改善への支援 (商工振興課)		少子高齢化に伴う労働力不足を補うために必要な短時間労働や在宅ワークをはじめとする国の制度改革を促進させるため、事業者への周知に努めます。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
① 課題解決に向けた改善策	国などで実施する「働き方改革」への支援や各種情報について、ホームページ等で引き続き周知に努めます。		② R5年度の実績				国の施策である「働き方改革」や「ワークライフバランス」、「テレワーク」を推進するため、ホームページ等により事業者への周知に努めました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A	・ホームページ等により周知に努めたため。	④ 今後の課題				・新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、「在宅ワーク」、「テレワーク」など非接触型の働き方が進展しました。一方で、対面の働き方を希望する人も増えています。そのため、男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくりへの配慮が求められています。								
⑤ 課題解決のための改善策	引き続き国の支援をはじめ、各種情報をホームページ等で周知します。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
99	就職情報の提供 (商工振興課)		市民に対する職業相談及び求人情報の提供等を行うことにより、就労の機会の拡大を図ります。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
相談室利用件数			3,779	3,146	3,131	3,700	3,700	就職件数			257	262	272	250	250
職業紹介件数			1,687	1,232	1,336	1,700	1,700								
① 課題解決に向けた改善策	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、対面を避ける傾向が強まり、ジョブサポート流山の利用者が減少しました。それに対し、パーテーションの設置、定期的な消毒の実施、アルコール消毒液の設置など感染症対策を徹底し、利用者が安心して利用できるように施設の運営を継続しました。		② R5年度の実績				・ハローワーク松戸と共同運営するジョブサポート流山において、求職者への就職情報の提供に努めました。また、ハローワーク松戸などと共催で「就職面談会」を実施し、市内で働きたい求職者と市内企業のマッチングの機会を創出するとともに、ジョブサポート流山の周知を図り、利用者数の向上に努めました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A	・就職情報の適切な提供が図れたため。	④ 今後の課題				・民間の就職・転職サイトが普及し、求人情報をスマートフォンやPCで気軽に取得できるようになりました。ただし、企業側の雇用条件や処遇、業界の傾向や噂など、あらゆる情報があふれる情報過多となってしまうケースが見受けられます。								
⑤ 課題解決のための改善策	求職者のやりたいことや実際にできること、向いている職種や働き方など就職に真に必要な情報を提供できるよう引き続き相談員の資質向上を図ります。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
100	就職・再就職のための職業研修 (商工振興課・企画政策課)		【商工振興課】働き方改革の進展に伴い、正規雇用化に向けた取り組みや就職困難者及び外国人雇用に関する支援を行うため、体制を強化し、市民が安定した生活を送るための支援に努めます。 【企画政策課】働きたいと考える女性を対象とした、就職・再就職のための講座を開催します。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
就職個別相談相談者数【商工振興課】			110	105	143	100	100	就職個別相談就職者数【商工振興課】			89	75	52	80	80
女性のキャリア形成支援講座実施回数(回)【企画政策課】			全3回	全4回	全3回	2	2	女性のキャリア形成支援講座参加人数(人)【企画政策課】			延べ39	延べ83	延べ42	40	40
① 課題解決に向けた改善策	今後の社会経済の動向を注視し、求職者に対する支援に努めます。【商工振興課】職務や業務に応じた履歴書や職務経歴書の書き方のポイント解説、特にオンライン面接のマナーやポイントについて解説し、事例や参加者の実践の情報交換をしました。【企画政策課】		② R5年度の実績				・ジョブサポート流山では、専門のキャリアカウンセラーを配置した「就職個別相談」と「就職支援セミナー」を実施したほか、相談者が就職した後もカウンセラーから電話やメール等によるフォローアップを実施し、職場での不安解消により職場定着が進むよう支援を図りました。なお、様々な理由で求職が困難な求職者も参加できるようにオンライン方式も導入しました。【商工振興課】 ・再就職を希望する女性を対象に、子育てと仕事の両立が図られる働き方、就職活動を行うための仕事探しのための振り返りを行い、延べ42名が参加しました。【企画政策課】								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	商工振興課	A	・「就職個別相談」及び「就職支援セミナー」について周知を図った上で、求職者の不安解消と就職に向けたスキル習得及び意識向上に努めたため。	④ 今後の課題				・「就職支援セミナー」の開催では、就職活動に必要な内容及び現在の雇用情勢を考慮した内容が求められ、求職者に有益な情報や制度を収集する必要があります。【商工振興課】 ・再就職活動自体の最新の学びとともに、女性のキャリアをめぐる社会構造の変化に対応した新たな課題に対応する講座としていくことを検討します。【企画政策課】							
	企画政策課	B	・アンケートでは全員が「大変満足」又は「満足」と回答しており、「再就職に向けてとて学びが深まり具体的にやることを整理できた」、「自分の将来に向けてワクワクすることができた」などの回答を得ることができました。												
⑤ 課題解決のための改善策	相談者と受講者からの感想を基に、より求職者に寄り添った手法を模索し、就職や正社員への転換に至るまでの継続的な個別指導や、就職後の職場定着へのフォローアップなど、きめ細やかな就職・就労支援に努めます。【商工振興課】 他自治体の事例を参考にしながら、委託業者と検討したい。【企画政策課】														

(2)仕事と子育ての両立の推進														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標											
101	男女共同参画社会づくり (企画政策課)		男女とも多様な生き方が尊重され、誰もが個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現のため、流山市男女共同参画プランに基づき、施策の展開を図ります。 ・男女共同参画社会づくり啓発講座											
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)			18	17	18	18	18	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)		43.5	44.0	43.7	45.0	45.0
								審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く附属機関等)(%)		40.4	38.7	39.3	40.0	40.0
① 課題解決に向けた改善策	改選予定の審議会等の担当課に対し、女性委員の比率向上の具体的な方策を検討する機会を設け、改選後には結果を検証します。						② R5年度の実績		・予定通り講座を実施することができました。また、成果指標においては目標達成ができていませんでした。					
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・講座回数は目標を達成することができ、成果指標の「審議会等委員に女性委員が占める割合」においては目標を達成できなかったものの微増になりました。				④ 今後の課題		・成果指標の目標を達成できるように取組みます。					
⑤ 課題解決のための改善策	改選予定の審議会等の担当課に対し、女性委員の比率向上の具体的な方策を検討する機会を設け、改選後には結果を検証します。また、男女共同参画について市民に広く周知してまいります。													
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標											
102	育児への父親の参加 (子ども家庭課・企画政策課・公民館)		【子ども家庭課】父親が育児に参加できる機会を提供するために、今後も父親が参加しやすいイベントを企画します。 【企画政策課】父親が育児の知識や技術を身につける機会を提供するため、各種教室、講座を開催します。また、父親の参加しやすい環境づくりに努めます。 【公民館】父親の育児参加、祖父母の育児参加、地域の子育て力のアップなどを考慮し、講座の企画充実に努めます。											
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
男性を対象とした講座実施回数(回) 【企画政策課】			1	全3回	1	1	1	男性を対象とした講座参加人数(人) 【企画政策課】		14	延べ98	13	14	14
開催回数【公民館】			2	2	1	↑	↑	父親を含む参加者数【公民館】		10	6	13	↑	↑
① 課題解決に向けた改善策	・父親が参加しやすいように、土曜日のフロア開放を実施する施設を増やします。また、イベントは、父親が参加しやすい内容を検討し、実施していきます。【子ども家庭課】 ・広報やホームページ及びチラシに加え、子育て世代向けのSNSを利用し周知を行いました。【企画政策課】 ・チラシ及び公式LINEアカウント「ながれやま市子育てちゃんねる」にて、情報提供を行います。また、講座の内容を検討し参加者が参加しやすい内容になるようにします。【公民館】						② R5年度の実績		・地域子育て支援センターにおいて、父親も参加できるように、土曜日もフロア開放等を実施してもらいました。【子ども家庭課】 ・父親が子育て中の母親の状況をより理解し、パートナーシップの向上を図ることで父親の育児参画を推進するとともに、地域でのパパ同士の交流を図ることができました。【企画政策課】 ・開催回数は減少となりましたが、広報活動が奏功し参加者数は約2倍に増加、託児サービスの利用もありました。【公民館】					
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	B	・地域子育て支援センターにおいて、父親も参加できるように、土曜日もフロア開放等を実施してもらいました。				④ 今後の課題		・子育て関連イベントは、父親が参加しづらい雰囲気があるので、父親も参加しやすいように、イベント内容等を工夫していく必要があります。【子ども家庭課】 ・子育て中の男性に当講座をより周知できるように取組んでいきます。【企画政策課】 ・講座の募集人数に対して、参加者数が少ないことから、広報活動の見直しや内容の再考が必要だと考えます。【公民館】					
	企画政策課	B	・アンケートでは参加者全員が参考になったと回答していました。											
	公民館	B	・事業内容を前回の「体験活動」から「セミナー」に変更したことで、より参加しやすい内容となったことも、参加者数の増加に寄与したものと考えています。											
⑤ 課題解決のための改善策	引き続き、父親が育児に参加できる機会を提供するために、父親が参加しやすいイベントを企画します。【子ども家庭課】 ・広報ながれやま及び市HPだけでなく、市SNS等を活用して、講座の周知を図っていきます。【企画政策課】 ・市内全域から参加していただけるように、各種ツールを活用した広報活動を行います。父親が参加したくなるような、母親が参加を勧めたくなるような充実した内容を企画します。【公民館】													

(3)保育サービスの充実と多様化															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
★103	延長保育 (保育課)		就労形態の多様化や、通勤時間の長時間化に対応できるよう、保育時間の延長及び延長保育実施園の拡大を図ります。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
延長保育を実施している施設数			91	101	102	100	100								
① 課題解決に向けた改善策	・新設の保育所について延長保育の実施を推進します。					② R5年度の実績	・新設の保育所においても延長保育を実施しました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A		・全ての保育所が延長保育を実施しています。			④ 今後の課題	・引き続き、延長保育の実施を推進します。								
⑤ 課題解決のための改善策	・引き続き、延長保育の実施を推進します。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
104	小規模保育 (子ども家庭課・保育課)		0歳から2歳までの保育需要の状況を踏まえ、今後も小規模保育事業所の整備を進めます。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
整備定員数			18	0	0	-	-	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)			3	0	0	0	0
① 課題解決に向けた改善策	・多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。					② R5年度の実績	・令和5年度は、保育需要の状況を勘案した結果、認可保育所等を整備することで多様な保育需要に対応できたため、小規模保育事業所の整備は実施しませんでした。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・保育需要の状況を勘案した結果、整備を実施しなかったが、待機児童ゼロを達成はできました。			④ 今後の課題	・令和6年4月1日時点で、国基準の待機児童がゼロとなっていますが、保育所需要が増加した場合、多様なニーズに対応した取組が必要です。								
⑤ 課題解決のための改善策	・今後も、多様な保育需要の状況等を把握しながら、保護者のニーズに合った入所調整を行うとともに、各保育所の利用定員の見直しなどを行います。														
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標												
105	産休明け保育 (保育課)		女性の就労の促進を図るため、産休明け保育の充実に努めます。												
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
① 課題解決に向けた改善策	・今後開設される保育施設についても産休明けからの受け入れを働きかけ、保護者の選択肢を増やします。					② R5年度の実績	・産休明けに対応する園が1園開設しました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B		・産休明けに対応する園が1園開設しました。			④ 今後の課題	・育児休業制度が普及していくなかで、産休明け保育のあり方の検討が必要です。								
⑤ 課題解決のための改善策	・入所状況等を勘案しながら検討を進めます。														

番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標														
★106	病児・病後児保育 (保育課)		病氣中及び病氣回復期の乳幼児を一時的に預かる事業を推進します。														
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標		
病児及び病後児保育実施回数			4	3	3	→	→	利用者数(延べ人数)			72	173	531	→	→		
① 課題解決に向けた改善策	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げされたことに伴い、受け入れ対象を拡大します。						② R5年度の実績	・前年度利用者数より約3倍利用者数が増加しました。									
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B	・令和4年度の改善策をもとに、新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限を解除し、より多くの方が利用できるような環境づくりに努めた結果、前年度利用者数より約3倍に増加したと考えられます。						④ 今後の課題	・利用者からは予約の取りにくさについて複数のご意見を頂いています。また、現在、開設している3施設は保育所併設型であることから、児童の発症日に利用できないことが課題となっています。								
⑤ 課題解決のための改善策	・供給量の拡大と利用者の利便性の向上のため、医療機関併設型施設の開設を検討していきます。																
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標														
107	休日保育 (保育課)		社会状況や利用者からの保育ニーズを踏まえ、休日保育の実施を検討します。														
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標		
① 課題解決に向けた改善策			・利用者からのニーズを踏まえ引き続き検討します。				② R5年度の実績	・認可保育施設は、休日保育を実施していません。									
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	C	・休日保育を実施している認可保育施設はありません。						④ 今後の課題	・保育士等の確保が課題です。								
⑤ 課題解決のための改善策	・利用者からニーズがあれば検討します。																
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標														
★108	障害児保育 (児童発達支援センター・保育課)		【児童発達支援センター】保育所等を利用している子どもやその施設の職員に対して、集団生活適応のため専門のスタッフが直接的、間接的な支援を行います。 【保育課】保育所を利用する園児がお互いの理解を深め協力しながら共に育っていくよう、統合保育や児童発達支援センターにおける保育所等訪問支援事業の推進に努めます。また、医療的ケア児受入体制の整備に努めます。														
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標		
児童発達支援センター保育所等訪問支援契約者数			0	0	2	→	→	延べ利用人数			0	0	2	→	→		
統合保育の実施回数【保育課】			1	1	1	→	→										
① 課題解決に向けた改善策	・(保育所等訪問支援)お子さんの発達状況、所属する環境等を適切に評価し、効果的な支援につながるよう努めていきます。【児童発達支援センター】						② R5年度の実績	・要配慮児童の受入基準の見直しを行いました。【保育課】 ・サービスを必要としている児童の発達状況によって、適切な支援を行える専門職を見極め、支援を行いました。【児童発達支援センター】									
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	保育課	B	・保育を必要とする要配慮児童について、先行審査を行い保育施設への受入れ促進を図りました。						④ 今後の課題	・要配慮児童の受入れに当たって、加配職員の配置や施設整備を行い、保育環境の充実を図る必要があります。【保育課】 ・引き続き、療育支援会議で、児童の発達状況を専門職を交えて検討し、必要な支援を提供します。【児童発達支援センター】							
	児童発達支援センター	A	・療育支援会議で十分に検討し、当サービスが適切な児童を見極め、必要な支援を提供しました。														
⑤ 課題解決のための改善策	・補助金等により、保育環境の充実を図ります。【保育課】 ・児童の発達状況によって最も適切な支援内容や支援者を検討し、必要な支援を提供します。【児童発達支援センター】																

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										
★109	学童クラブの活用 (教育総務課)	児童の受け入れ体制を拡充します。市主催の支援員研修を開催するほか、各種研修会への参加支援に努め、質の向上を図ります。										
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
研修会開催件数		1	2	2	2	2	学童クラブの延べ利用人数	26,499	33,638	39,025	30,000	30,000
							支援員の処遇改善のために支払った額 (千円)	26,992	50,983	69,775	27,000	27,000
① 課題解決 に向けた 改善策	市主催で研修を開催するほか、ベースアップによる処遇改善と、経験等に応じた処遇改善の支払いを行っています。					② R5年度 の実績	市主催研修として、食物アレルギー研修と保護者とのコミュニケーションについての研修を実施しました。 ・支援員の処遇改善として、職員全体のベースアップを図る処遇改善と、経験年数等に応じたキャリアアップ処遇改善を行いました。					
③ 「R5年度 の取組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	A 市や運営法人が課題と感じているテーマの研修を実施することが出来た。また、支援員に対する処遇改善額は過去最高額となりました。					④ 今後の課 題	利用者が増えるにつれて、学童クラブへのニーズが多様化しています。					
⑤ 課題解決 のための 改善策	研修内容について、事前に運営法人と良く検討してテーマを決定していきます。											
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										
110	子育て短期支援(ショートステイ・トワイライトステイ) (子ども家庭課)	保護者が疾病や出産等により家庭での養育が困難となった場合に、児童を一時的に市が指定する施設で預かります。										
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
ショートステイ利用者数(日帰り・夜間)		131	125	190	→	→						
ショートステイ利用者数(宿泊)		67	217	405	→	→						
① 課題解決 に向けた 改善策	ショートステイの手続きがわかりやすくなるように、ホームページ等を活用し、案内を行います。					② R5年度 の実績	令和4年度と比較し利用者数は増加しました。保護者の疾病や出産の利用の他、レスパイトを理由とした対応や休日の仕事等の利用に対応しました。 ・新たに里親家庭によるショートステイを検討しました。					
③ 「R5年度 の取組み 内容の 達成度」 の評価及 び理由	B 令和4年度と比較し利用者数は増加しました。保護者の疾病や出産の利用の他、レスパイトを理由とした対応や休日の仕事等の利用に対応しました。					④ 今後の課 題	制度案内の充実のほか、家庭での養育が困難となった方や緊急的にショートステイを利用する必要が生じた方などに対して、迅速に対応できるよう、ショートステイの利用枠について、増加を検討する必要があります。 ・里親ショートステイに関する説明会等を開催し、協力里親の数の増加を目指すとともに、救急救命講習等の研修会を開催し、協力里親の質の維持・向上を行う必要があります。					
⑤ 課題解決 のための 改善策	ショートステイの仕組みや手続き等がわかりやすくなるよう、ホームページ等を活用した案内の充実に努めます。また、令和6年度から事業を開始した里親家庭によるショートステイについては、さらなる周知を図るとともに、里親家庭と利用者への理解促進に努めます。 ・定期的に、里親ショートステイの説明会を開催するほか、協力里親家庭向けの救急救命講習等の研修会も実施します。											

基本目標6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり																
(1)児童虐待防止対策の充実																
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
★111	子ども家庭支援拠点(支援拠点事業) (子ども家庭課)		子育てに問題を抱える家庭を支援していくために、専門職を配置した支援拠点の整備に努めます。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
心理担当支援員の配置			3	3	5	4	4									
① 課題解決に向けた改善策	・児童虐待予防のため、心理担当支援員による適切な親子関係形成のための支援を図ります。						② R5年度の実績	・令和5年4月より、心理担当支援員は2名、社会福祉士を1名、10月からは精神保健福祉士を2名配置し、増員を図りました。								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A	・児童虐待に対応していくための専門職の配置ができた。						④ 今後の課題	・子ども家庭センターの設置に向けて、子育て等に問題を抱える家庭支援に的確に対応できるよう、「子ども家庭センターガイドライン」に則した専門職等を確保する必要があります。							
⑤ 課題解決のための改善策	・子ども家庭センターの設置に向けて必要な人員の確保に努めるほか、できる限り、市町村内の人事ローテーションにおいて、教育・福祉・保健医療等の業務経験を有する者を、センターの職員として積極的に配置に努めます。															
番号	事業名(担当課)		事業内容・事業目標													
112	児童虐待防止の啓発 (子ども家庭課・指導課)		【子ども家庭課】児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、関係機関の連携を強化し、啓発活動に努めます。 ・パンフレットの配布 ・ホームページ・広報紙等の活用 【指導課】児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、学校や保護者への啓発活動に努め、関係機関との連携強化に努めます。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	
啓発活動の実施(パネル展示) 【子ども家庭課】			-	1	1	→	→									
啓発活動の実施【指導課】			2	2	2	→	→	学校の虐待対応の迅速化【指導課】			↑	↑	→	→	→	
① 課題解決に向けた改善策	・広報紙やホームページ等を活用した啓発活動を行うほか、児童虐待の進行及び未然防止のため関係機関と連携し活動していきます。【子ども家庭課】 ・要対協での情報共有を大切にし、そこで得た情報を早期に対応できるようにします。【指導課】						② R5年度の実績	・11月の虐待防止月間に南流山センターにパネル展示を行いました。今年度は、市民まつりに出展し、児童虐待防止のパンフレット等の啓発物を会場に参加した様々な年齢層の市民に配布し、周知しました。また、小中学校の校長会・教頭会に参加し、児童虐待対応について説明し、協力を依頼しました。 ・国、県から発出される通知について、学校内で共有し、必要に応じて学校だよりやホームページを通じて情報発信するよう、各学校に対して指導・助言を行いました。【指導課】								
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	子ども家庭課	A	・児童虐待の早期や未然防止を図るため、パネル展示、イベントに参加するなど啓発活動を実施しました。また、関係機関の会議にて児童虐待対応について説明し、協力を依頼しました。						④ 今後の課題	・未だに、関係機関に児童虐待に係る知識等が十分に周知されず、家庭への早期介入に至らないケースがあります。【子ども家庭課】 ・児童虐待が疑われる事案を早期に発見するとともに、事案を把握した際に適切な対応が徹底されるよう、引き続き学校や保護者等への普及啓発に努めていく必要があります。【指導課】						
	指導課	A	・児童虐待の早期発見・早期対応に繋がるよう、各学校に対して情報提供を行い、虐待対応に係る普及啓発に努めるとともに、虐待が疑われる事案を把握した場合には、速やかに関係機関と情報共有し、適切に対応しました。													
⑤ 課題解決のための改善策	・児童虐待の早期発見や未然防止を図るため啓発活動に努めると共に、関係機関との連携を強化するため、児童虐待防止や対応に係る知識・理解の向上を図ります。【子ども家庭課】 引き続き、虐待を発見しやすい立場にある教職員の「見る目」を養うとともに、学校において虐待が疑われる事案を把握した際には、速やかに関係機関と情報共有し、適切に対応するよう、指導・助言を行っていきます。【指導課】															

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★113	虐待予防と早期発見 (健康増進課・子ども家庭課・保育課)	<p>【健康増進課・子ども家庭課】相談、健診、訪問指導等あらゆる機会における児童虐待の予防と早期発見に努めます。また、必要な児童に対しては、関係機関と連携し、支援の強化を図ります。さらに、育児ストレスや産後うつなどにより、子育てに不安を抱える家庭や虐待の恐れのある家庭に対して、保健師等の家庭訪問や、ヘルパーの派遣により、育児負担の軽減等問題の解決を図ります。</p> <p>【保育課】保育所と関係機関が連携し、今後も未然防止に努めます。</p>											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
新規児童虐待受付件数 【子ども家庭課】		676	978	969	-	-							
養育支援家庭訪問(実数) 【健康増進課】		7	6	10	→	→	産後ケア利用者アンケートで、利用目的に対する達成が満足とやや満足の回答割合 【健康増進課】		91%	98%	98%	→	→
産後ケア利用者数(実数の合計) 【健康増進課】		22	57	58	22	22							
① 課題解決に向けた改善策	<p>関係機関と連携強化を図り、児童虐待の予防に努めます。引き続き妊産中から出産後も切れ目のない支援を実施し、より身近な地域で相談、支援が行えるよう、南流山センターに子育てでなんでも相談室(子育て世代包括支援センター)を設置し、保健センターと地区を分割して支援していきます。【健康増進課】</p> <p>児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】</p>					② R5年度の実績	<p>・健診や乳児家庭全戸訪問等で支援が必要な家庭を把握し、養育支援訪問等を実施し育児支援を行っています。【健康増進課】</p> <p>・新規児童虐待件数については、前年度と比較してほぼ横ばいで、依然として高止まりの状況にあります。複雑・困難で、高い専門性を求められるケースが増加しています。【子ども家庭課】</p> <p>・保育園からの情報提供を、虐待・DV防止対策室に繋ぎました。【保育課】</p>						
③ 「R5年度の取り組み内容」の達成度1の評価及び理由	健康増進課	B	関係機関と連携をしながら支援が必要と判断した家庭に対し、養育支援訪問を実施しました。			④ 今後の課題	<p>・要支援家庭が増加傾向にあるため、必要な時期に切れ目のない支援が実施できるよう、関係機関との連携の強化が必要です。【健康増進課】</p> <p>・引き続き、児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】</p>						
	子ども家庭課	B	児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭への適切な支援に向け、関係機関と家庭状況や支援方針について共有したほか、役割分担を実施しました。										
	保育課	B	保育園からの情報提供を、虐待・DV防止対策室に繋ぎました。										
⑤ 課題解決のための改善策	<p>支援が必要な方を早期に把握し、適切な情報提供や支援を実施するとともに、虐待予防の面から、保健師等の訪問、相談や健診などの各種母子保健事業等を通じて各関係機関との連携に努めます。【健康増進課】</p> <p>引き続き、児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】</p> <p>緊急で保育が必要な児童について関係機関と協議し、情報共有及び適切な保育の提供に努めます。【保育課】</p>												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★114	虐待に関する相談の充実 (子ども家庭課・文化芸術・生涯学習課・指導課)	<p>【子ども家庭課】職員等の専門性のスキルアップを図り、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談や指導を行いながら、緊急避難体制づくりや啓発事業を推進します。</p> <p>【文化芸術・生涯学習課青少年相談窓口については、関連団体等の連携に努めます。⇒虐待は対象外のため削除。</p> <p>【指導課】教育相談から得られる情報を関係機関と共有し、相談体制や啓発事業の充実を図ります。</p>											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
児童福祉司資格取得講習受講者数 【子ども家庭課】		2	1		2	2	児童福祉司任用資格取得者数 【子ども家庭課】		5	6		7	7
① 課題解決に向けた改善策	<p>研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるような職員の専門性やスキルアップに努めます。また、広報紙やホームページ等により、相談先を啓発します。【子ども家庭課】</p> <p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの情報共有を密にしながら教育相談を丁寧を実施するとともに、要保護児童対策地域協議会での情報を共有し、関係機関との連携を強化しながら適切に対応に努めます。【指導課】</p>					② R5年度の実績	<p>・県や民間団体が主催する研修・講習会に積極的に参加し、スキルアップを図りました。また、広報紙では市民に対して様々な相談先を案内しました。【子ども家庭課】</p> <p>・児童虐待の早期発見に繋がるよう、相談体制の充実に努めました。【指導課】</p>						
③ 「R5年度の取り組み内容」の達成度1の評価及び理由	子ども家庭課	A	職員の専門性のスキルアップを図り、市民への相談先を周知しました。			④ 今後の課題	<p>・令和7年4月のこども家庭センター設置に向け、職員の計画的な育成に努め、人事異動等によって質の低下を招くことがないよう、関係資格等の取得や研修会・講習会に参加するなど、常に職員の資質の向上に努める必要があります。【子ども家庭課】</p> <p>・児童虐待の早期発見・早期対応に繋がるよう、引き続き、相談体制の充実に努め、適切に対応していく必要があります。【指導課】</p>						
	指導課	A	学校現場をはじめ、流山小中学生専用なやみホットラインや教育相談等の相談対応において、児童生徒の声に注意深く耳を傾け、虐待の早期発見に努めるとともに、虐待が疑われる事案を把握した際には、速やかに関係機関に情報共有し、適切な対応を図りました。										
⑤ 課題解決のための改善策	<p>支援における課題について特化した研修・講習会に参加し、児童虐待に対応できるように努めます。【子ども家庭課】</p> <p>今後も児童生徒が発するSOSやサインを見逃さないよう、相談対応を丁寧に行うとともに、虐待が疑われる場合には、速やかに子ども家庭課等の関係部署・関係機関に情報共有し、適切な支援に繋げていきます。【指導課】</p>												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★115	児童虐待防止のための連携強化 (障害者支援課・健康増進課・児童発達支援センター・子ども家庭課・保育課・指導課)	児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心として、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
個別支援会議の開催【子ども家庭課】		60	63	50	↑	↑	児童の安全確認実施率(%) 【子ども家庭課】		99	99	99	↑	↑
要保護児童対策地域協議会への参加 【障害者支援課】		12	12	12	12	12	関係機関との連携強化 【障害者支援課】		↑	↑	↑	↑	↑
要保護児童対策地域協議会実務者会議等へ出席し関係機関との連携をとって情報共有を図ります【児童発達支援センター】		12	12	12	12	12	関係機関との情報共有を図り、児童とその家族への支援の強化【児童発達支援センター】		12	12	12	↑	↑
要保護児童対策地域協議会の参加回数 【健康増進課】		12	12	12	12	12							
子ども家庭課とのケース検討会議の回数 【健康増進課】		9	12	12	12	12							
① 課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 関係課と共に訪問支援を行うなど、家族全体を支援し、情報共有を行いながら必要なサービス等を導入しました。【障害者支援課】 児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会へ出席し、地域住民や医療機関、また、児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】 子育てに不安を抱える保護者の相談が迅速かつ適切に対応できるよう関係機関と連携、役割分担を図ります。【児童発達支援センター】 関係機関等へ要保護児童対策地域協議会の活動理解を深め、児童虐待に対して迅速な対応が行えるよう努めます。また、個別支援会議を積極的に活用し、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めることにより、適切な対応ができるように努めます。【指導課】 						② R5年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に引き続き、要保護児童対策地域協議会へ出席し情報共有を図りました。また、関係課と役割分担を行いながら支援しました。【障害者支援課】 児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会へ出席し、地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】 要保護児童対策地域協議会等へ参加し関係機関と情報を共有しました。また、子育てに不安を抱える保護者の相談に迅速かつ適切に対応できるよう、関係機関と連携しました。【児童発達支援センター】 保育園からの情報提供を、虐待・DV防止対策室に繋ぎました。【保育課】 児童生徒の生命を守ることを最優先に考え、関係機関との連携強化を図りました。【指導課】 					
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	障害者支援課	B	要保護児童対策地域協議会へ出席し情報共有を図るとともに、関係課と共に訪問支援を行いながら必要なサービス等を提案、導入しました。				④ 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの支援だけでなく、障害等が見込まれる家族等の継続的な支援が必要な場合が多く、家族全体の支援方針の共有が必要です。【障害者支援課】 児童虐待の対応件数は増加傾向にあるため、今後も関係機関と連携し、迅速かつ適切に支援を行う必要があります。【健康増進課】 複雑化する保護者の不安や悩みに適切に寄り添い対応できるように、関係機関連携とより緊密な連携を図る必要があります。【児童発達支援センター】 相談件数は高止まり、相談内容が複雑・多岐にわたっており、かつ、緊急性が高く虐待の重度なケースが増えている傾向にあるため、専門性を活かした相談対応が求められています。【子ども家庭課】 児童虐待の早期発見・早期対応に繋がるよう、引き続き、内外における連絡体制・連携体制の強化に努めていく必要があります。【指導課】 					
健康増進課	A	毎月1回開催の要保護児童対策地域協議会や子ども家庭課とのケース検討会議に参加し、関係機関との情報共有と連携強化に努めました。											
児童発達支援センター	A	要保護児童対策地域協議会等へ参加し関係のある家庭の情報共有を行いました。また不安を抱える保護者に適切な窓口を案内しました。											
子ども家庭課	A	児童虐待の早期や未然防止を図るため、要保護児童対策地域協議会での個別支援会議や研修会の開催、関係機関の会議等に積極的に参加し、連携を図りました。											
保育課	B	保育園からの情報提供を、虐待・DV防止対策室に繋ぎました。											
指導課	A	児童虐待の早期発見に繋がるよう、学校現場をはじめ、流山小中学生専用なやみホットラインや教育相談等間の連絡体制の強化に努めました。また、日頃から、子ども家庭課、児童相談所等との連携を大切に、要保護児童対策地域協議会等において情報共有を図るなど、連携体制の強化に努めました。											
⑤ 課題解決のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> 継続して会議等へ出席し、対象児童等に関する情報や支援方針を確認するとともに、連携して支援できる体制を維持します。【障害者支援課】 引き続き、医療機関や児童相談所、警察等の行政機関との連携強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】 関係機関と適切に連携し、各ご家庭への理解を深め対応します。また要保護児童対策地域協議会等へ参加し、関係課と迅速かつ適切に対応します。【児童発達支援センター】 引き続き、関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の機能や役割について周知を図るとともに、児童虐待に対応するため、関係機関との連携の強化を図ります。【子ども家庭課】 定例で開催される要保護児童対策地域協議会実務者会議にて各関係機関と情報交換、連携を図ります。【保育課】 今後も子ども家庭課、児童相談所、要保護児童対策地域協議会等の関係機関と緊密に連携・情報共有し、児童虐待への迅速・適切な対応に努めます。【指導課】 												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★116	社会的養育の推進 (子ども家庭課)	虐待等の様々な事情により保護者と暮らすことができない子どもを、できる限り家庭的な環境で養育するため、県と連携し里親制度の普及・啓発を行います。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
啓発活動の実施		2	2	2	↑	↑							
① 課題解決に向けた改善策	引き続き、10月の里親啓発月間には広報やポスター掲示により、里親制度の普及・啓発活動を行います。					② R5年度の実績	10月の里親啓発月間には広報紙への掲載しました。また、市民まつりに出展し、里親制度の啓発物を会場に参加した様々な年齢層の市民に配布し周知しました。						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A ・里親制度について、積極的な普及・啓発活動を行い、制度に関する理解を深めました。					④ 今後の課題	・里親制度について、普及・啓発活動を実施していますが、周囲の認知は未だに低く、制度に関する理解を深める必要があります。併せて、里親家庭によるショートステイの実施について、推進していく必要があります。						
⑤ 課題解決のための改善策	・広報やポスター掲示、市民向けイベントに積極的に参加し、引き続き里親制度についての普及・啓発に努めます。併せて、里親家庭によるショートステイについて適宜利用者に案内し、普及に努めます。												
(2)ひとり親家庭への支援の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
117	ひとり親家庭相談 (子ども家庭課)	母子父子自立支援員の専門性のスキルアップを図り、ひとり親家庭の悩みを解決し、自立を図られるよう母子・父子自立支援員等による相談を実施します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
相談件数		913	964	1,185	→	→							
① 課題解決に向けた改善策	・母子父子自立支援員の質の向上のため、千葉県等の研修に参加します。					② R5年度の実績	・母子・父子自立支援員が、児童扶養手当の申請時等に、ひとり親家庭の相談に対応し、自立を支援しました。また、ハローワークと連携し、職業相談・職業紹介など就労支援を行いました。						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	A ・母子・父子自立支援員が、児童扶養手当の申請時等に、ひとり親家庭の相談に対応し、自立を支援しました。また、ハローワークと連携し、職業相談・職業紹介など就労支援を行いました。					④ 今後の課題	・安心して相談できるようにするため、母子父子自立支援員の質を向上する必要があります。						
⑤ 課題解決のための改善策	・母子父子自立支援員の質の向上のため、千葉県等の研修に参加します。												
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
118	母子家庭等就労促進費用の助成(子ども家庭課)	母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成するとともに、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、4年間を限度として毎月一定額の給付金を支給します。また、安定した就業と自立のために高卒程度認定試験の合格を目指すひとり親家庭を対象として学び直し及び就労を支援するための給付金を支給します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
① 課題解決に向けた改善策	・母子家庭等就労促進費用の助成について、ホームページや現況届の通知等を活用し、周知を図っていきます。					② R5年度の実績	・母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成しました。(自立支援教育訓練給付金)また、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、毎月一定額の給付金を支給しました。(高等職業訓練促進給付金)						
③ 「R5年度の取り組み内容の達成度」の評価及び理由	B ・母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成しました。(自立支援教育訓練給付金)また、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、毎月一定額の給付金を支給しました。(高等職業訓練促進給付金)					④ 今後の課題	・母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格を取得するための助成があることを周知する必要があります。						
⑤ 課題解決のための改善策	・母子家庭等就労促進費用の助成について、ホームページや現況届の通知等を活用し、周知を図っていきます。												

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標													
119	ひとり親家庭等生活向上事業(子ども家庭課)	ひとり親家庭等であり、所得が少ない家庭の子どもに学習支援を行うことによって、経済的格差及び教育格差の解消を図ります。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
利用者数			115	122	120	↑	↑	学習の習慣が身についたと回答した児童数(%)	68.2	58.6	52.2	↑	↑		
協定塾数			65	64	67	↑	↑	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)	77.3	82.8	60.9	↑	↑		
①課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から、毎月の支援に加えて、夏期及び冬期の追加支援を行います。 引き続き、子どもの学習支援について、ホームページや現況届時を活用し、周知を図っていきます。 					② R5年度の実績			<ul style="list-style-type: none"> 対象者を中学校2年生及び中学校3年生とし、生活保護世帯、ひとり親世帯の子どもに学習環境の整備に努めました。 また、夏期講習・冬期講習の費用についても支援しました。 						
③「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者を中学校2年生及び中学校3年生とし、生活保護世帯、ひとり親世帯の子どもに学習環境の整備に努めました。 夏期講習・冬期講習の費用についても支援しました。 					④今後の課題			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習支援を利用いただくために、対象者への周知を児童扶養手当現況届の提出時等において、適宜事業説明を行う必要があります。 毎年度実施している児童・保護者に対する利用後アンケート等により制度拡充等の要望をいただいていることから、より効果的な学習環境を整備するため、支援対象者の範囲拡大等を検討する必要があります。 利用対象児童のために協力学習塾の増加に向けた検討も必要です。 						
⑤課題解決のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子どもの学習支援について、ホームページや児童扶養手当現況届時を活用し、事業の周知に努めていきます。 利用後アンケートの要望等を鑑み、より効果的な学習環境を整備するとともに、対象となる児童の学習意欲向上を図るため、支援対象者の範囲を拡大していきます。 協力学習塾の増加を目指し、協力内容や範囲についても検討を進めていきます。 														
(3)障害のある子どもがいる家庭への支援の充実															
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標													
120	相談体制の充実(障害者支援課・児童発達支援センター)	<p>【障害者支援課】障害を持つ児童の家族からの各種相談について、関係機関と連携を図りながら相談体制の充実に努めます。また、障害児相談支援事業を実施し、障害児のサービス等利用計画を適正に作成できるよう体制を整備します。</p> <p>【児童発達支援センター】相談支援サービスを利用希望している方の受け入れができるように体制を整備します。</p>													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
障害児相談支援事業所数【障害者支援課】			14	14	14	16	17	障害児支援利用計画作成者数【障害者支援課】	509	609	754	600	650		
障害児相談支援専門員(配置数)【児童発達支援センター】			3	3	3	→	→	障害児相談支援(計画相談実施件数)【児童発達支援センター】	544	601	607	→	→		
①課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 継続して既存の障害児通所事業所及び新規参入の事業者による障害児相談支援の実施について呼びかけ、事業実施を支援します。また、医療的ケア児等コーディネーターを配置し、医療的ケア児への相談支援を実施します。【障害者支援課】 電話回線を1台増やし、効率的に相談業務ができるようにしました。【児童発達支援センター】 その結果、相談員1人あたりの担当件数を増やすことができました。【児童発達支援センター】 					② R5年度の実績			<ul style="list-style-type: none"> 委託相談支援事業所の数を増加し、また、医療的ケア児等コーディネーターを配置することで、医療的ケア児への相談支援を実施しました。【障害者支援課】 新型コロナウイルスの影響で中止していた家庭訪問を再開しました。対面での面談をすることにより、円滑なケースワークにつながりました。【児童発達支援センター】 						
③「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害児相談支援事業所の増加および委託相談支援事業所の人員を増加することにより相談の受け入れ先を拡充しました。また、医療的ケア児コーディネーターを委託することにより、医療的ケア児への相談支援を行いました。 <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間600件の実施件数がありましたが、計画相談希望者の増加に伴い、契約締結に至らないケースがありました。 					④今後の課題			<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の伸びは著しく、計画作成数は増加していますが、セルフプラン率は減少していません。また、医療的ケアが必要な子どもに関する相談支援に対応する事業所が必要です。【障害者支援課】 相談支援専門員の増員を図るほか適切なサービス提供ができるよう、訪問用車両やシステム増設等、環境整備をすすめる必要があります。【児童発達支援センター】 						
⑤課題解決のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> セルフプラン率を減少するためにも、引き続き既存の障害児通所事業所及び新規参入の事業者による障害児相談支援の実施について呼びかけを行うとともに、医療的ケア児コーディネーターの増加を図ります。【障害者支援課】 計画相談を希望する多くの方にサービスが行き届くように、相談支援専門員の増員を図ります。また、訪問車を増やし、円滑な職務の遂行に努めます。【児童発達支援センター】 														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標													
121	就学相談・指導(指導課)	就学前児、就学児(小中)を対象に相談を受け面談をし、一人ひとりの個性や能力を伸ばすための適切な就学先の提供に努めます。また、医療、療育施設、福祉施設、保幼小中、特別支援学級と連携を図り、保護者への情報提供も行います。													
主な活動指標(事業実績)			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
就学相談件数			413	401	403	→	→	面談を重ね、本人・保護者の願いに添った就学支援につなげた割合	100	100	100	100	100		
①課題解決に向けた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度より実施している流山市就学説明会には昨年度を超える人数の方が参加されました。説明会の中で、保護者に担当職員を紹介することで安心して就学相談を受けていただけるようにしました。 					② R5年度の実績			<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度より、就学説明会に参加される人数が増えたことで、保護者の特別支援教育への関心が高まりつつあることがうかがえました。 						
③「R5年度取り組み内容の達成度」の評価及び理由	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学説明会で就学相談の流れについて丁寧に説明したことにより、保護者と連携して就学相談を進めることができ、本人・保護者の願いに寄り添った就学支援に繋げることができました。 					④今後の課題			<ul style="list-style-type: none"> 保護者の特別支援教育への関心が高まりつつあり、就学相談を希望する家庭が増えることにより、初回の面談・検査までに時間を要してしまうことが懸念されるため、引き続き丁寧な説明を心がけていきます。 						
⑤課題解決のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が不安にならないよう、就学相談の流れを十分に周知徹底するために、就学説明会の内容を吟味していきます。 														

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
★125	居宅訪問型児童発達支援 (児童発達支援センター)	通所による児童発達支援の利用が難しい障害児の居宅を訪問し療育支援を実施します。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
居宅訪問型児童発達支援利用実人数		0	0	0	→	→	延べ利用人数		0	0	0	→	→
① 課題解決に向けた改善策	・サービスを必要とする方に適切な情報が届けられるよう関係機関との連携を図っていきます。また、相談支援の中でサービス利用につなげていくように努めます。					② R5年度の実績	・希望者がいなかったため、実施していません。引き続き関係機関と連携し、対象児がいた場合は十分な検討を行います。						
③ 「R5年度 の取り組み内容の 達成度」の 評価及び理由	B ・通所による支援を希望する保護者が多く、居宅での支援提供はありませんでした。					④ 今後の課題	・サービスを必要としている方の情報収集に努め、迅速な利用開始を目指します。						
⑤ 課題解決のための改善策	・サービスを必要とする方の情報収集に努めます。また関係機関と連携し、必要な方に情報が行き届くようにします。												
(4)子どもの貧困対策の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標											
126	子どもの貧困対策 (子ども家庭課)	生活保護世帯、ひとり親世帯の子どもへの学習支援や日常生活を身に付けるための支援を行い、地域による子ども食堂等による支援と連携し、子どもが健全に育成される環境を整えながら、子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行います。											
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5実績	R5目標	R6目標
① 課題解決に向けた改善策	・子どもの貧困についてのアンケート等を実施するために、アンケート項目等を研究していきます。					② R5年度の実績	・子どもの貧困についてのアンケート等を実施するために、アンケート項目等を研究しました。また、子どもの貧困についてのアンケートの実施方法について、検討しました。						
③ 「R5年度 の取り組み内容の 達成度」の 評価及び理由	B ・子どもの貧困についてのアンケート等を実施するために、アンケート項目等を研究しました。また、子どもの貧困についてのアンケートの実施方法について、検討しました。 ・小学校5年生及び中学校2年生、その保護者として、「子どもの生活状況に関する実態調査」を実施することができました。					④ 今後の課題	・子どもが健全に育成される環境を整えながら子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行う必要があります。また、効果的な子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みについて、調査検討を進める必要があります。 ・行政だけでは把握しにくい要支援家庭の状況について、地域の民間団体(子ども食堂等)と連携していく必要があります。 ・子どもの生活状況に関する実態調査からみえる課題や必要な支援について、計画に位置付けていく必要があります。						
⑤ 課題解決のための改善策	・令和6年度は子どもの貧困についてのアンケート等を実施を検討します。また、効果的な子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みについて、調査検討を進めます。さらに、地域の状況を把握している市内の子ども食堂と連携を図り、貧困家庭の状況等を適宜把握に努め、見守り支援等を行います。 ・子どもの生活状況に関する実態調査結果から得られた課題や必要な支援について関係各課と情報共有し、子どもの貧困に関する事業の充実に努めていきます。												